

I&Iプラン21

市川市 第二次基本計画
第二次実施計画
(2014~2016年度)

評価のための報告書①

総合評価書(案)

ICHIKAWA

■ 目 次 ■

1	はじめに	P1
	1. 市川市総合計画の構成	P2
	2. 第二次実施計画の概要	P3
	3. 第二次実施計画の評価について	P4
2	基本計画評価	P5
	基本計画評価の見方	P6
	基本目標1 真の豊かさを感じるまち	P9
	基本目標2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち	P19
	基本目標3 安全で快適な魅力あるまち	P23
	基本目標4 人と自然が共生するまち	P33
	基本目標5 市民と行政がともに築くまち	P39
3	実施計画評価	P45
	実施計画評価の見方	P46
	基本目標1 真の豊かさを感じるまち	P49
	01 予防接種事業	P51
	02 児童虐待対策事業	P52
	03 子育てナビ事業	P53
	04 保育園整備計画事業	P54
	05 私立保育園等一時預かり及び特定保育事業	P56
	06 地域ケアシステム推進事業	P58
	07 障害者雇用事業	P59
	08 自立支援給付事業（介護給付費・訓練等給付費）	P60
	09 介護予防推進事業	P62
	10 市営住宅営繕事業	P64
	11 生活保護受給者就労支援事業	P65
	12 スポーツ指導者育成事業	P66
	13 コミュニティクラブ事業	P67
	14 家庭教育学級運営事業	P68
	15 校内塾・まなびくらぶ事業	P69
	16 学校支援実践講座事業	P70
	17 公民館主催講座活動事業	P71
	18 いちかわ市民アカデミー講座事業	P72
	19 雇用促進事業	P73
	20 シルバー人材センター事業	P74
	21 消費生活センター相談及び啓発事業	P75
	22 市川市DV対策事業	P76
	23 男女共同参画センター講座事業	P77
	24 平和啓発事業	P78

基本目標 2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち	P79
25 「市川の文化人展」等事業	P80
26 市民会館建替事業	P81
27 東山魁夷記念館管理運営事業	P82
28 花火大会運営費負担事業	P83
29 市民まつり運営費負担事業	P84
30 シティセールス事業（いちかわ観光・物産案内所運営事業）	P85
基本目標 3 安全で快適な魅力あるまち	P87
31 防災用品備蓄事業	P88
32 地域防災力強化事業	P89
33 都市基盤河川改修事業	P90
34 排水路整備事業	P91
35 排水施設整備事業	P92
36 防犯対策事業	P93
37 狭あい道路対策事業	P94
38 自転車安全利用等啓発事業	P95
39 人にやさしい道づくり重点地区整備事業	P96
40 コミュニティバス運行事業	P98
41 外環関連街路事業	P99
42 公共下水道計画策定事業	P100
43 下水道施設長寿命化対策事業	P101
44 アセットマネジメント推進事業	P102
45 公共下水道整備雨水事業	P104
46 公共下水道整備汚水事業	P106
47 耐震診断・改修助成事業	P108
48 あんしん住宅推進事業	P110
49 空き家対策事業	P111
50 庁舎整備事業	P112
51 公共施設マネジメント推進事業	P113
52 J R武蔵野線周辺調査事業	P114
53 道の駅整備事業	P115
54 中山参道地区街なみ環境整備事業	P116
55 都市景観形成事業	P117
56 ガーデニング・シティ いちかわ事業（景観）	P118
57 企業・産業間連携支援事業	P119
58 女性起業家支援事業	P120
59 都市農業振興支援事業	P122
60 市川漁港整備事業	P124

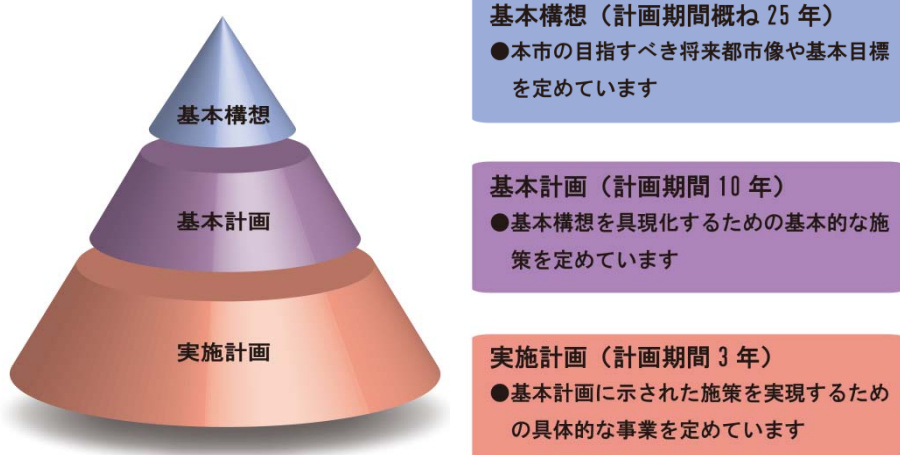
基本目標4 人と自然が共生するまち	・・・・・・・・・・	P125
61 自然環境推進事業	・・・・・・・・・・	P126
62 ガーデニング・シティ いちかわ事業（整備）	・・・・・・・・・・	P127
63 国分川調節池上部活用事業	・・・・・・・・・・	P128
64 三番瀬保全再生	・・・・・・・・・・	P129
65 住宅用太陽光発電システム設置助成事業	・・・・・・・・・・	P130
66 住宅用省エネルギー設備導入促進事業	・・・・・・・・・・	P131
67 大気常時監視整備事業	・・・・・・・・・・	P132
68 市民マナー条例推進事業	・・・・・・・・・・	P133
69 ごみ発生抑制等啓発事業	・・・・・・・・・・	P134
70 分別収集促進事業	・・・・・・・・・・	P135
基本目標5 市民と行政がともに築くまち	・・・・・・・・・・	P137
71 大学との連携	・・・・・・・・・・	P138
72 インターネット放送局運営事業	・・・・・・・・・・	P139
73 自治会総合支援事業	・・・・・・・・・・	P140
74 職員研修事業	・・・・・・・・・・	P142
75 民営化推進事業	・・・・・・・・・・	P143
76 総合市民相談・案内事業	・・・・・・・・・・	P144
77 納税環境整備事業	・・・・・・・・・・	P145
78 広域行政推進事業	・・・・・・・・・・	P146
79 個人番号制度に対応するための基幹系システム改修事業	・・・・・・・・・・	P147

1. 市川市総合計画の構成

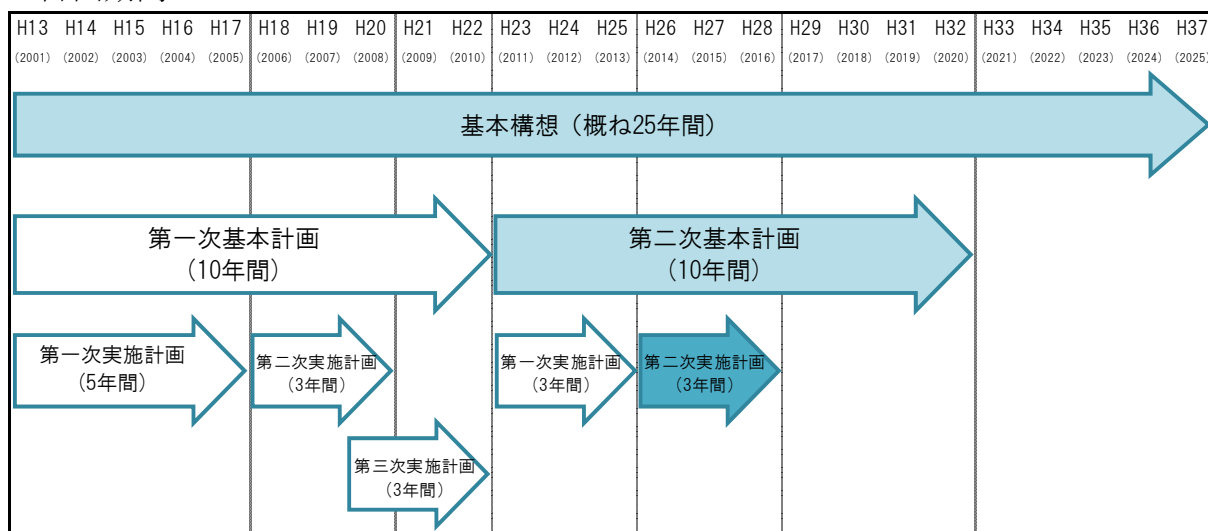
市川市総合計画は、基本構想が平成12年12月に市議会の議決を経て定められ、基本計画は平成13年3月に策定されました。基本構想は、「ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ」を将来都市像として定め、21世紀の第1・四半世紀（概ね2025年：平成37年）を目標年度としています。

また、基本計画は、基本構想を具現化するための基本的な施策を定めるもので、平成13年度（2001年度）から平成22年度（2010年度）の10年間を計画期間とする第一次基本計画のもと、これまでに第一次実施計画（計画期間2001～2005年度）、第二次実施計画（2006～2008年度）、第三次実施計画（2008～2010年度）を推進してきました。

現在は、平成23年度（2011年度）から平成32年度（2020年度）を計画期間とする第二次基本計画のもとで、施策を実現するための事業を定めた、第二次実施計画（計画期間2014～2016年度）を推進しています。



■ 計画期間



2. 第二次実施計画の概要

(1) 計画期間

第二次基本計画の計画期間は、平成 23 年度（2011 年度）から平成 32 年度（2020 年度）の 10 年間と定められています。

この第二次基本計画における第二次実施計画の計画期間としては、基本計画に示された施策の課題について社会的、経済的な変化に柔軟に対応しながら積極的に取り組んでいくため、平成 26 年度（2014 年度）から平成 28 年度（2016 年度）までの 3 年間としています。

(2) 実施計画事業

第二次基本計画については、「保健・医療」等の 45 の施策のもと、中分類 102、小分類 273 に体系化されています。

第二次実施計画は、この基本計画の体系を基に、79 事業を位置づけました。

事業の選定にあたっては、「第二次基本計画 第一次実施計画 総合評価」の結果を反映させるとともに、少子高齢化の進展、生産年齢人口の減少を踏まえた事業や、美しい景観を始めとした都市の魅力向上に向けた事業を選定しました。

なお、実施計画に位置づける事業は、基本計画に示された施策の課題を解決するためにもっとも有効な事業であることを基本として選定したものです。

(3) 数値目標等

第二次実施計画では、第一次実施計画（2011 年度～2013 年度）と同様に、実施計画事業ごとの達成度を測るために、事業活動の規模や事業の成果を示す指標を表した「数値目標等」を定めています。

3. 第二次実施計画の評価について

第二次実施計画の評価として、実施計画に位置付けた事業について、数値目標および計画事業費に対する達成状況の整理（自己評価）を行うとともに、市民意向調査によって事業および施策に対する満足度調査（外部評価）を行います。

この評価結果をまとめ、第二次実施計画終了時点における基本計画の評価（基本計画評価）と第二次実施計画に位置付けた各事業に関する評価（実施計画評価）を行うものとします。

（1）基本計画評価

基本計画評価として、第二次基本計画に掲げられた45の施策の大分類について、『市民意向調査結果』『事業費比較』をまとめ、基本目標ごとに施策の大分類の進行状況の評価を行います。

（2）実施計画評価

実施計画評価として、第二次実施計画に位置付けた79事業について、各事業ごとに『事業費比較』『数値目標等比較』『市民意向調査結果』のそれぞれを4段階にて評価を行います。

■市民意向調査について

- 調査名 市川市の市政に関する市民アンケート
- 調査地域 市全域
- 調査対象 市川市に在住する満20歳以上の男女3,000人
(平成28年7月1日時点・住民基本台帳より無作為抽出)
- 調査方法 郵送により、調査票の配布および無記名で回収
- 調査期間 平成28年7月15日～平成28年8月1日
- 有効回収数 対象者数 3,000人 (a)
有効回答数 712人 (b)
有効回答率 23.7% (b/a×100)

2 基本計画評価

■基本計画評価の見方

大分類	市民意向調査結果（（ ）内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位）			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
番号 施策名	○% (↑○%)	○% (↑○%)	○% (↓○%)	○% [○位]

■市民意向調査結果

■市川市の市政に関する市民アンケート

問2 市の施策や事業についてお伺いします。

【②施策の満足度】

実施計画事業の取り組み状況などを踏まえ、市のそれぞれの「施策」(分野)について、満足していますか？

(例)

【②施策の満足度】					
施策	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない 又は どちらとも いえない
保健・医療	○				

問3の1 今後、『真の豊かさを感じるまち』の実現にむけ、市が重点的に推進すべきと考える分野（施策）はどのような分野ですか。（3つまで回答欄に番号を記入）

(例)

回答欄	1 保健・医療（地域の医療環境整備、健康づくり、疾病や感染症の予防）	2 子育て（児童虐待防止、ひとり親支援、待機児童解消、地域の子育て支援）
	3 地域福祉（地域の支えあい、地域への参加と交流の体制づくり）	4 障害者福祉（障害者の就労支援、生活支援、自立のための医療支援）
	5 高齢者福祉（介護予防、高齢者の就労支援、在宅生活支援サービス）	6 社会保障・住まい（国民年金、国民健康保険、生活保護、市営住宅）
	7 スポーツ（スポーツ施設の整備、スポーツ指導者の育成）	8 子どもの教育（学校教育、家庭教育、放課後保育クラブ）
	9 生涯学習（生涯学習機会の提供、図書館、公民館）	10 雇用・労働（就労のための相談支援、就労機会の拡充）
	11 消費生活（消費者への情報提供、消費者被害の相談）	12 人権・男女共同参画（ワークライフバランスの推進、DV等の被害救済）
	13 平和（平和啓発活動）	

○満足・不満・わからない又はどちらともいえない

：市川市の市政に関する市民アンケート 問2 【②施策の満足度】において、満足は『満足』『やや満足』と回答した割合、不満は『不満』『やや不満』と回答した割合、わからない又はどちらともいえないは『わからない又はどちらともいえない』と回答した割合。また、（ ）内は、第一次実施計画を評価するために実施した市民意向調査結果からの増減（↑は増、↓は減）。

○今後重点すべき施策

：市川市の市政に関する市民アンケート 問3において、市が重点的に推進すべきと考える分野（施策）として回答した割合。また、[○位]は、基本目標ごとの調査結果の順位。

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	事業費 比較	数値目標 等比較	市民意向 調査結果
00,000	00,000	00.0%	事業番号 事業名	A	A	A

■事業費

○計画額（千円）

：第二次実施計画に記載されている3年間の事業費を施策の大分類ごとに合計した金額

○実績額（千円）

：実施計画事業にかかる平成26,27年度は決算額、平成28年度は当初予算額を施策の大分類ごとに合計した金額

○執行率

：実績額／計画額×100%

■（参考）実施計画事業 達成状況等

○事業費比較

：各実施計画事業について、事業費の計画と実績を比較し、4段階（A、B、C、D）で評価を表記したもの。※詳細については、3 実施計画評価 P45を参照。

○数値目標等比較

：各実施計画事業について、数値目標等の計画と実績を比較し、4段階（A、B、C、D）で評価を表記したもの。※詳細については、3 実施計画評価 P45を参照。

○市民意向調査結果

：各実施計画事業について、『市川市の市政に関する市民アンケート（平成28年度） 問2【①実施計画事業の取り組み状況】』の調査結果から、4段階（A、B、C、D）で評価を表記したもの。※詳細については、3 実施計画評価 P45を参照。

	事業費比較	数値目標等比較	市民意向調査結果
A	90%以上	90点以上	79事業の平均+10ポイント以上
B	90%未満 80%以上	90点未満 80点以上	79事業の平均以上 79事業の平均+10ポイント未満
C	80%未満 70%以上	80点未満 70点以上	79事業の平均-10ポイント以上 79事業の平均未満
D	70%未満	70点未満	79事業の平均-10ポイント未満

基本目標 1 真の豊かさを感じるまち

基本目標 1 真の豊かさを感じるまち

施策の方向 1

健康で安心して暮らせる、地域福祉の充実したまちをつくります

- (大分類) 1 保健・医療
- (大分類) 2 子育て
- (大分類) 3 地域福祉
- (大分類) 4 障害者福祉
- (大分類) 5 高齢者福祉
- (大分類) 6 社会保障・住まい
- (大分類) 7 スポーツ

施策の方向 2

豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもを育てます

- (大分類) 8 子どもの教育

施策の方向 3

生きがいを見いだし、いきいきとした生涯学習社会をつくります

- (大分類) 9 生涯学習

施策の方向 4

誰もが安心して働くことができる環境をつくります

- (大分類) 10 雇用・労働
- (大分類) 11 消費生活

施策の方向 5

人権を尊重し、世界平和に貢献します

- (大分類) 12 人権・男女共同参画
- (大分類) 13 平和

■ 施策の状況

大分類	市民意向調査結果 (()内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位)			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
1 保健・医療	72.6% (↑11.3%)	20.9% (↑3.3%)	6.4% (↓14.7%)	52.8% [1位]
2 子育て	47.9% (↑8.3%)	41.1% (↑11.0%)	11.0% (↓19.3%)	48.0% [2位]
3 地域福祉	64.7% (↑22.7%)	23.9% (↓2.8%)	11.4% (↓19.9%)	16.0% [7位]
4 障害者福祉	63.0% (↑25.3%)	24.8% (↓2.8%)	12.1% (↓22.7%)	10.8% [8位]
5 高齢者福祉	60.4% (↑23.9%)	28.9% (↓5.4%)	10.7% (↓18.5%)	42.6% [3位]
6 社会保障・住まい	44.0% (↓3.4%)	39.9% (↑13.1%)	16.1% (↓9.7%)	33.6% [4位]
7 スポーツ	35.0% (↓15.7%)	50.4% (↑23.2%)	14.5% (↓7.6%)	5.8% [11位]
8 子どもの教育	67.1% (↑17.9%)	20.9% (↓0.8%)	11.9% (↓17.2%)	28.1% [5位]

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	事業費 比較	数値目標 等比較	市民意向 調査結果
4,500,769	3,843,761	85.4%	01 予防接種事業	B	B	A
1,444,686	1,908,436	132.1%	02 児童虐待対策事業	A	A	B
			03 子育てナビ事業	A	A	B
			04 保育園整備計画事業	A	A	D
			05 私立保育園等一時預かり 及び特定保育事業	B	D	D
41,775	44,493	106.5%	06 地域ケアシステム推進事業	A	A	B
13,089,058	12,109,491	92.5%	07 障害者雇用事業	A	A	B
			08 自立支援給付事業 (介護給付費・訓練等給付費)	A	A	B
202,329	154,114	76.2%	09 介護予防推進事業	C	A	C
814,044	610,846	75.0%	10 市営住宅営繕事業	C	D	D
			11 生活保護受給者就労支援事業	A	A	C
6,465	4,960	76.7%	12 スポーツ指導者育成事業	C	D	D
65,625	63,636	97.0%	13 コミュニティクラブ事業	B	A	A
			14 家庭教育学級運営事業	A	A	A
			15 校内塾・まなびくらぶ事業	A	A	A
			16 学校支援実践講座事業	B	A	B

※事業費の実績額は、平成 26, 27 年度は決算額、平成 28 年度は当初予算額の計

大分類	市民意向調査結果 (()内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位)			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
9 生涯学習	68.7% (↑9.1%)	20.1% (↑1.6%)	11.1% (↓10.8%)	10.5% [9位]
10 雇用・労働	58.6% (↑27.7%)	30.8% (↓11.8%)	10.6% (↓15.9%)	21.9% [6位]
11 消費生活	66.9% (↑15.7%)	20.8% (↓0.9%)	12.3% (↓14.8%)	8.7% [10位]
12 人権・男女共同参画	67.1% (↑22.9%)	19.9% (↓2.6%)	13.0% (↓20.4%)	2.7% [13位]
13 平和	65.0% (↑11.4%)	20.4% (↑1.5%)	14.6% (↓12.9%)	4.4% [12位]
				合計

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	事業費 比較	数値目標 等比較	市民意向 調査結果
35,067	31,114	88.7%	17 公民館主催講座活動事業	B	A	A
			18 いちかわ市民アカデミー 講座事業	A	A	A
122,712	141,216	115.1%	19 雇用促進事業	A	B	D
			20 シルバー人材センター事 業	A	A	B
44,661	50,254	112.5%	21 消費生活センター相談及 び啓発事業	A	A	B
41,644	43,186	103.7%	22 市川市DV対策事業	A	A	B
			23 男女共同参画センター講 座事業	A	A	A
13,460	13,358	99.2%	24 平和啓発事業	A	A	B
20,422,295	19,018,865	93.1%				

※事業費の実績額は、平成 26, 27 年度は決算額、平成 28 年度は当初予算額の計

■ 市民意向調査結果

【満足度の傾向】

基本目標 1 に位置付けられた大分類の施策に対する「満足している」割合は、平成 25 年度におこなった前回調査よりも『6 社会保障・住まい』『7 スポーツ』を除き、概ね 10 ポイント以上上昇する結果となった。

このうち『3 地域福祉』『4 障害者福祉』『5 高齢者福祉』『10 雇用・労働』『12 人権・男女共同』において、「満足している」割合が 20 ポイント以上上昇しており、事業の推進等によって施策に対する市民の満足度が向上していることが伺える。

また、施策に対する「満足している」割合は、概ね 60%以上となったが、『2 子育て』『6 社会保障・住まい』『7 スポーツ』において 30~40%代となり、全体の満足度と比較して低い傾向となった。

【今後重点的に推進すべき施策】

基本目標 1 の達成にむけ、今後重点的に推進すべき施策としては、『1 保健・医療』『2 子育て』『5 高齢者福祉』の順に高く、推進すべきという回答が 40%以上となった。

特に、『2 子育て』については、現在の満足度が約 48%と全体より低い結果となったことから、今後さらに推進が必要という市民の意向があることが確認できた。

一方で、『1 保健・医療』については、現在の満足度が約 73%と非常に高い結果となっているが、今後さらに推進すべきという市民の意向もあることが分かった。

■事業費

【全体の傾向】

基本目標 1 全体での執行率は、93.1%と概ね計画通りの執行となった。

このうち『2 子育て』において執行率 132.1%と、計画を大きく超える事業費により事業が推進された。

一方で、『5 高齢者福祉』『6 社会保障・住まい』『7 スポーツ』において執行率が 75%前後と、計画を下回った。

【事業費が高くなった施策】

『2 子育て』において、待機児童対策として、当初の計画を大きく上回る定員を確保するよう保育園の整備を行ったことなどから、事業費が当初の計画を大きく上回った。

【事業費が低くなった施策】

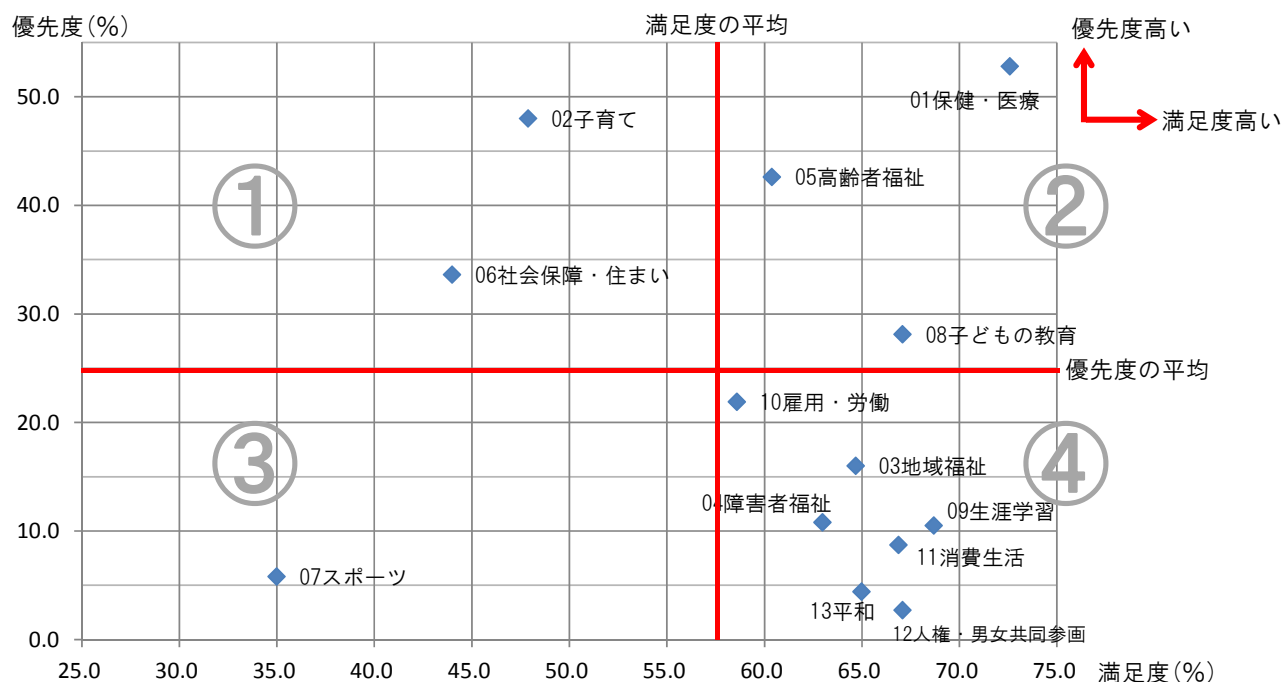
『5 高齢者福祉』において、介護予防推進事業として行っていたものが、介護保険法の改正により、二次予防事業（通所および訪問介護予防事業）を廃止し、組み換えたこと、

また、『6 社会保障・住まい』において、市営住宅の営繕を緊急性や老朽化の程度を勘案し実施したこと、

また、『7 スポーツ』において、スポーツ指導者の育成にかかる講習会の参加者が当初の見込みに到達しなかったことなどから、事業費が当初の計画を下回った。

■ 次期実施計画策定にむけて考慮すべきポイント

図1 市民意向調査結果から 施策の満足度×今後重点すべき施策（優先度）



■ 施策の満足度×今後重点すべき施策 プロットエリアの見方

市民意向調査の結果、45の施策の大分類について、満足度および優先度（今後重点すべき）の平均値を基準とし、各施策が満足度および優先度が、平均に対し、どのような位置づけとなっているかプロットしたもの

- 満足度 45の施策の大分類について、満足と回答した割合の平均値 = 57.8%
- 優先度 45の施策の大分類について、今後重点すべきと回答した割合の平均値 = 24.5%

【エリア①（現時点で施策の満足度が低く、今後の優先度が高い）】

『2 子育て』については、第二次実施計画において、保育園整備を中心に事業を推進しており、この3年間で満足度が向上してはいるが、それでも現在の満足度は低く、また、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向も高い結果となった。

このため、第三次実施計画では、さらに重点的に、事業を推進していく必要があるといえる。

『6 社会保障・住まい』については、第二次実施計画において事業費の執行が計画を下回ったこと、また、事業が計画どおり達成できなかったことなどもあり、現在の満足度は、前回調査よりも低下し、全体の満足度と比較して低い結果となった。

また、今後重点的に推進すべきという市民の意向は比較的高いことから、第三次実施計画では、引き続き、計画にもとづき着実に推進する必要があるといえる。

【エリア②（現時点で施策の満足度は高いが、今後の優先度も高い）】

『1 保健・医療』『5 高齢者福祉』『8 子どもの教育』については、現在の満足度は比較的高い結果となっているが、一方で、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向も高い結果となった。少子高齢化の進展に備え、事業の充実を図っていく必要があるといえる。

【エリア③（現時点で施策の満足度が低い、今後の優先度も低い）】

『7 スポーツ』については、第二次実施計画において事業費の執行が計画を下回ったこと、また、事業が計画どおり達成できなかったことなどもあり、現在の満足度は、前回調査よりも低下し、全体の満足度と比較して低い結果となった。

一方で、今後重点的に推進すべきという市民の意向は低いことから、市民ニーズや行政課題への対応を見極めながら事業展開を検討していく必要があるといえる。

【エリア④（現時点で施策の満足度が高いので、今後の優先度が低い）】

『11 消費生活』『12 人権・男女共同参画』『13 平和』については、現在の満足度が高いこともあって、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向が低い施策となった。

<p>■基本目標 1 真の豊かさを感じるまち 3カ年総合評価</p> <p>『真の豊かさを感じるまち』の実現に向けた、第二次実施計画による3年間の取り組みでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費の執行は、多くの施策分野で計画どおりとなり、基本目標全体でもほぼ計画どおりの執行となった。 ・市民満足度は、事業の推進によって、第一次実施計画終了時点よりも概ね向上が図られた。 ・今後は、少子高齢化の進展を受け、『子育て』の分野を特に重点的に取り組む必要があるとともに、『社会保障・住まい』『保健・医療』『高齢者福祉』『子どもの教育』の分野については、引き続き着実に推進していく必要がある。
--

基本目標 2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち

基本目標 2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち

施策の方向 1

芸術・文化を身近に感じるまちをつくります

(大分類) 1 4 芸術・文化

施策の方向 2

文化的資産や伝統文化をまちの活性化に活かします

(大分類) 1 5 文化的資産

施策の方向 3

暮らしの中で「まちの文化」を育みます

(大分類) 1 6 文化の創造

■ 施策の状況

大分類	市民意向調査結果 (()内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位)			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
14 芸術・文化	72.3% (↑17.6%)	16.8% (↓0.7%)	11.0% (↓16.8%)	33.7% [2位]
15 文化的資産	45.0% (↓9.5%)	41.3% (↑23.5%)	13.7% (↓14.0%)	24.0% [3位]
16 文化の創造	71.7% (↑13.4%)	20.5% (↑0.8%)	7.8% (↓14.3%)	36.8% [1位]
				合計

■ 市民意向調査結果

【満足度の傾向】

基本目標 2 に位置付けられた大分類の施策に対する「満足している」割合は、全体的に高く、特に『14 芸術・文化』『16 文化の創造』については、70%以上と非常に高い傾向となった。

さらに、『14 芸術・文化』『16 文化の創造』については、平成 25 年度におこなった前回調査よりも概ね 10 ポイント以上上昇する結果となった。

【今後重点的に推進すべき施策】

基本目標 2 の達成にむけ、今後重点的に推進すべき施策としては、『16 文化の創造』が最も高くなった。

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	事業費 比較	数値目標 等比較	市民意向 調査結果
1,848,666	1,836,451	99.3%	25「市川の文化人展」等事業	A	A	A
			26 市民会館建替事業	A	A	A
252,532	242,250	95.9%	27 東山魁夷記念館管理運営 事業	A	C	D
134,000	126,661	94.5%	28 花火大会運営費負担事業	A	A	A
			29 市民まつり運営費負担事 業	A	B	B
			30 シティセールス事業 (いちかわ観光・物産案内所運営事業)	D	A	C
2,235,198	2,205,362	98.7%				

※事業費の実績額は、平成 26, 27 年度は決算額、平成 28 年度は当初予算額の計

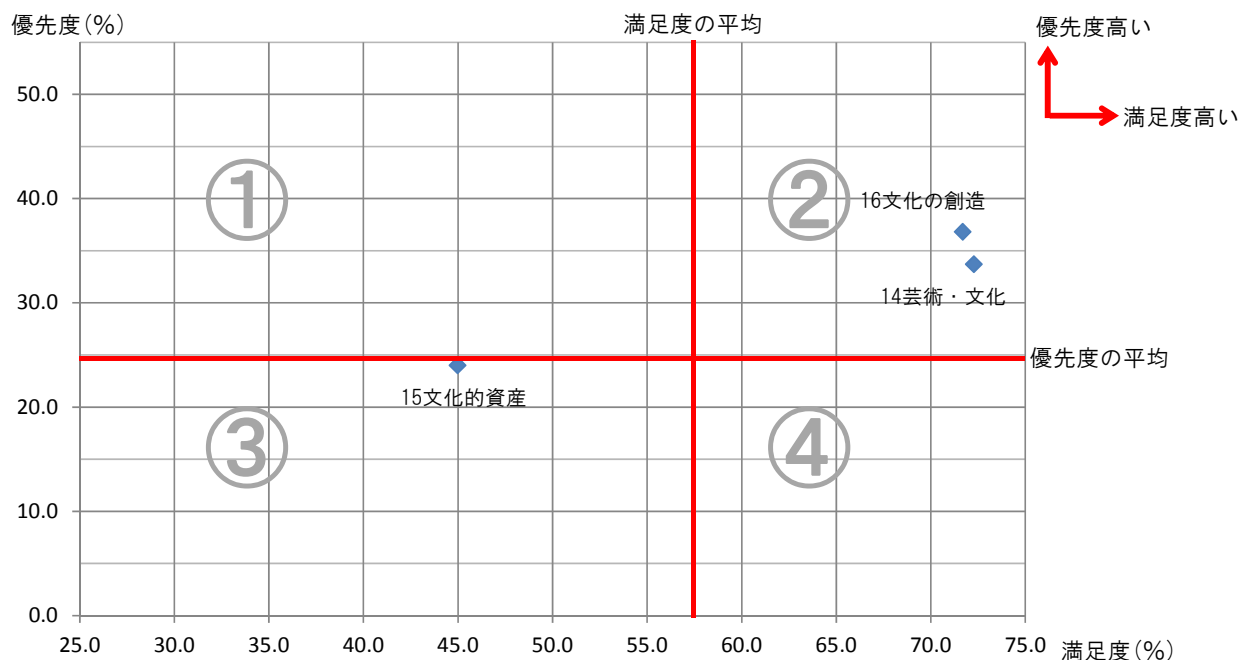
■ 事業費

【全体の傾向】

基本目標 2 全体での執行率は、98.7%と計画通りの執行となり、このうちすべての施策の大分類において、同様に執行率 95%前後と概ね計画通りとなった。

■ 次期実施計画策定にむけて考慮すべきポイント

図 2 市民意向調査結果から 施策の満足度×今後重点すべき施策（優先度）



■ 施策の満足度×今後重点すべき施策 プロットエリアの見方

市民意向調査の結果、45の施策の大分類について、満足度および優先度（今後重点すべき）の平均値を基準とし、各施策が満足度および優先度が、平均に対し、どのような位置づけとなっているかプロットしたもの

○満足度 45の施策の大分類について、満足と回答した割合の平均値 = 57.8%

○優先度 45の施策の大分類について、今後重点すべきと回答した割合の平均値 = 24.5%

【エリア②（現時点で施策の満足度は高いが、今後の優先も高い）】

基本目標2に位置付けられた大分類の施策については、計画どおり事業を推進することができたこともあり、概ね満足度が高い傾向となった。

その中でも、『16 文化の創造』については、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向があることから、新たなまちの文化をつくり、その魅力を発信していく事業などを第三次実施計画で推進していく必要があるといえる。

■ 基本目標 2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち 3 カ年総合評価

『彩り豊かな文化と芸術を育むまち』の実現に向けた、第二次実施計画による3年間の取り組みでは、

- ・ 事業費の執行は、全ての施策分野で計画どおりとなった。
- ・ 市民満足度は、全ての施策分野において、現在高い状況にある。
- ・ 今後は、基本目標の実現に向けた取り組み状況が良好ななか、新たな『文化の創造』の取り組みへの市民の期待が高くなっている。

基本目標 3 安全で快適な魅力あるまち

基本目標 3 安全で快適な魅力あるまち

施策の方向 1

安全で安心して暮らせるまちをつくります

- (大分類) 1 7 危機管理・消防
- (大分類) 1 8 治水
- (大分類) 1 9 防犯
- (大分類) 2 0 交通安全

施策の方向 2

快適な暮らしを支え、質の高い都市基盤整備を進めます

- (大分類) 2 1 ユニバーサルデザイン
- (大分類) 2 2 道路・交通
- (大分類) 2 3 下水道
- (大分類) 2 4 住宅・住環境
- (大分類) 2 5 公共施設

施策の方向 3

自然、歴史、社会環境などを活かして、バランスのとれた魅力ある土地利用を図ります

- (大分類) 2 6 土地利用
- (大分類) 2 7 景観

施策の方向 4

産業を振興し、活力あるまちをつくります

- (大分類) 2 8 商工業
- (大分類) 2 9 都市農業
- (大分類) 3 0 水産業

■ 施策の状況

大分類	市民意向調査結果 (()内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位)			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
17 危機管理・消防	60.1% (↑14.1%)	33.3% (↑0.3%)	6.6% (↓14.4%)	51.1% [1位]
18 治水	65.2% (↑11.6%)	26.5% (↓0.7%)	8.4% (↓10.8%)	30.1% [4位]
19 防犯	62.7% (↑13.1%)	30.6% (↓5.6%)	6.7% (↓7.5%)	50.3% [2位]
20 交通安全	32.8% (↓9.0%)	60.5% (↑18.7%)	6.7% (↓9.7%)	29.6% [5位]
21 エンバーサルデザイン	54.5% (↑3.7%)	37.8% (↑9.2%)	7.6% (↓13.0%)	12.5% [7位]
22 道路・交通	43.2% (↓0.1%)	46.8% (↑8.9%)	10.0% (↓8.8%)	32.0% [3位]
23 下水道	53.9% (↑0.4%)	36.1% (↑11.2%)	9.9% (↓11.7%)	19.4% [6位]

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	事業費 比較	数値目標 等比較	市民意向 調査結果
71,925	43,356	60.3%	31 防災用品備蓄事業	D	A	C
			32 地域防災力強化事業	B	A	C
1,458,905	1,315,875	90.2%	33 都市基盤河川改修事業	A	A	A
			34 排水路整備事業	A	A	B
			35 排水施設整備事業	C	A	B
24,465	20,777	84.9%	36 防犯対策事業	B	A	B
104,415	75,752	72.5%	37 狭あい道路対策事業	D	C	D
			38 自転車安全利用等啓発事業	A	A	D
258,400	283,839	109.8%	39 人にやさしい道づくり重点地区整備事業	A	A	D
1,193,837	286,597	24.0%	40 コミュニティバス運行事業	B	A	B
			41 外環関連街路事業	D	D	D
24,429,944	23,102,992	94.6%	42 公共下水道計画策定事業	C	A	B
			43 下水道施設長寿命化対策事業	C	A	B
			44 アセットマネジメント推進事業	B	A	B
			45 公共下水道整備雨水事業	A	D	D
			46 公共下水道整備汚水事業	A	A	B

※事業費の実績額は、平成 26, 27 年度は決算額、平成 28 年度は当初予算額の計

大分類	市民意向調査結果 (()内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位)			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
24 住宅・住環境	40.5% (↓5.7%)	48.1% (↑17.8%)	11.4% (↓12.1%)	11.7% [8位]
25 公共施設	61.1% (↑8.1%)	25.4% (↑2.5%)	13.5% (↓10.6%)	9.0% [10位]
26 土地利用	55.5% (↑11.6%)	27.8% (↑0.5%)	16.7% (↓12.1%)	11.1% [9位]
27 景観	65.7% (↑15.4%)	23.3% (↓0.3%)	11.0% (↓15.1%)	8.6% [11位]
28 商工業	40.4% (↓6.4%)	40.4% (↑16.9%)	19.2% (↓10.5%)	7.4% [13位]
29 都市農業	53.4% (↑4.3%)	31.3% (↑8.1%)	15.4% (↓12.3%)	7.9% [12位]
30 水産業	61.3% (↑19.6%)	20.2% (↓3.5%)	18.5% (↓16.1%)	1.5% [14位]
				合計

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	事業費 比較	数値目標 等比較	市民意向 調査結果
128,554	102,849	80.0%	47 耐震診断・改修助成事業	D	A	C
			48 あんしん住宅推進事業	A	A	B
			49 空き家対策事業	D	D	D
7,445,689	9,084,381	122.0%	50 庁舎整備事業	A	A	B
			51 公共施設マネジメント推進事業	C	A	A
568,000	559,478	98.5%	52 J R 武蔵野線周辺調査事業	A	A	B
			53 道の駅整備事業	A	A	C
36,230	43,452	119.9%	54 中山参道地区街なみ環境整備事業	A	A	A
			55 都市景観形成事業	A	A	B
			56 ガーデニング・シティいちかわ事業（景観）	A	A	B
37,482	27,100	72.3%	57 企業・産業間連携支援事業	A	A	B
			58 女性起業家支援事業	D	D	D
74,920	70,432	94.0%	59 都市農業振興支援事業	A	B	C
353,000	442,348	125.3%	60 市川漁港整備事業	A	A	B
36,185,766	35,459,228	98.0%				

※事業費の実績額は、平成 26, 27 年度は決算額、平成 28 年度は当初予算額の計

■ 市民意向調査結果

【満足度の傾向】

基本目標3に位置付けられた大分類の施策に対する「満足している」割合は、平成25年度におこなった前回調査よりも『20 交通安全』『24 住宅・住環境』『28 商工業』を除き、ほぼ横ばいまたは上昇する結果となった。

また、『20 交通安全』『22 道路・交通』『24 住宅・住環境』『28 商工業』において30～40%代となり、全体の満足度と比較して低い傾向となった。

【今後重点的に推進すべき施策】

基本目標3の達成にむけ、今後重点的に推進すべき施策としては、『17 危機管理・消防』『19 防犯』『22 道路・交通』『18 治水』の順に高く、推進すべきという回答が30%以上となった。

特に、『17 危機管理・消防』『19 防犯』については、現在の施策の満足度が約60%以上と比較的に高い結果となっているが、一方で、推進すべきという回答も50%以上と非常に高い。

『18 治水』についても同様の傾向が伺えた。

■ 事業費

【全体の傾向】

基本目標3全体での執行率は、98.0%と計画通りの執行となった。

このうち『25 公共施設』において執行率122.0%、『27 景観』において執行率119.9%、『30 水産業』において執行率125.3%と、計画を大きく超える事業費となった。

一方で、『17 危機管理・消防』において執行率60.3%、『20 交通安全』において執行率72.5%、『22 道路・交通』において執行率24.0%、『28 商工業』において執行率72.3%と、計画を大きく下回った。

【事業費が高くなった施策】

『25 公共施設』において、市役所本庁舎の整備にかかる基金の積み立てを当初の予定を超えて行い将来負担の軽減を図る一方で、建設工事の進捗にあわせて前払い金の支払い等を行い、当初の計画より前倒しで支出したこと、

また、『27 景観』において、中山参道地区の街なみ環境を整備するために修景費用の一部補助をおこなったが、補助限度額の高い建築物が当初の想定よりも多かったこと、

また、『30 水産業』において、市川漁港の実施設計を行った結果、当初予定していた施設の構造を変更して工事を行う必要が生じたことなどから、事業費が当初の計画を大きく上回った。

【事業費が低くなった施策】

『17 危機管理・消防』において、防災用品の備蓄を推進し、当初の計画した備蓄量を確保しながら備蓄品目の精査を行ったこと、

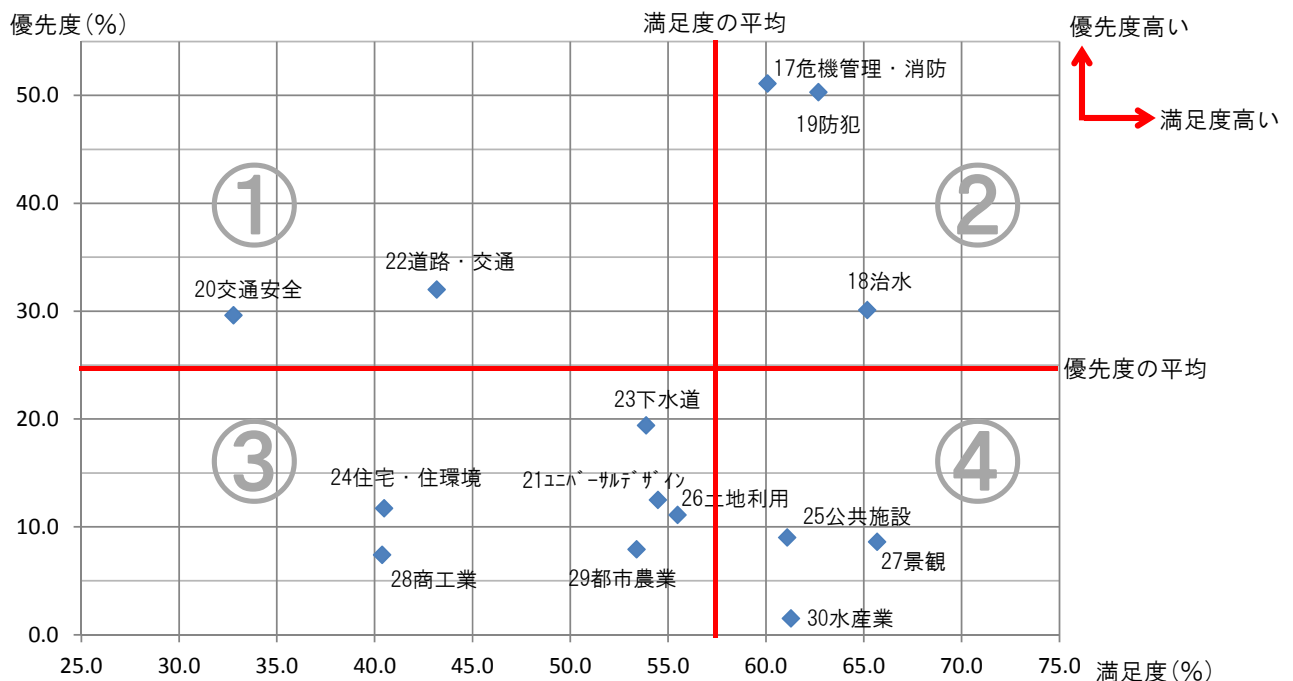
また、『20 交通安全』において、狭あい道路の拡幅による安全性の向上を推進したが、拡幅用地の寄付申請件数が当初の見込みを下回ったこと、

また、『22 道路・交通』において、外環関連街路整備のため用地の購入を行ったが、土地開発公社が代行買収し、その費用を平成 29 年度以降に償還することになったこと、

また、『28 商工業』において、女性をはじめ起業家に対する女性等創業支援補助金の支給をおこなったが、当初の見込みより採択基準を満たす事業が少なかったことなどから、事業費が当初の計画を下回った。

■ 次期実施計画策定にむけて考慮すべきポイント

図 3 市民意向調査結果から 施策の満足度×今後重点すべき施策（優先度）



■施策の満足度×今後重点すべき施策 プロットエリアの見方

市民意向調査の結果、45の施策の大分類について、満足度および優先度（今後重点すべき）の平均値を基準とし、各施策が満足度および優先度が、平均に対し、どのような位置づけとなっているかプロットしたもの

- 満足度 45の施策の大分類について、満足と回答した割合の平均値 = 57.8%
- 優先度 45の施策の大分類について、今後重点すべきと回答した割合の平均値 = 24.5%

【エリア①（現時点で施策の満足度が低く、今後の優先が高い）】

『20 交通安全』『22 道路・交通』については、現在の満足度が低く、また、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向が高い結果となっている。都市基盤については、道路整備を中心に、引き続き、着実に推進する必要があるといえる。

【エリア②（現時点で施策の満足度は高いが、今後の優先も高い）】

『17 危機管理・消防』『18 治水』『19 防犯』については、現在の市民満足度は比較的高い結果となっているが、一方で、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向も高い結果となった。安全で安心して暮らせるまちづくりに対する市民のニーズは高く、今後とも必要な事業を推進すべき分野といえる。

【エリア③（現時点で施策の満足度が低い、今後の優先度も低い）】

『24 住宅・住環境』『28 商工業』については、第二次実施計画において事業費の執行が計画を下回ったこと、また、事業が計画どおり達成できなかったことなどもあり、現在の満足度は、前回調査よりも低下し、全体の満足度と比較して低い結果となった。

しかし、今後重点的に推進すべきという市民の意向は低いことから、市民ニーズや行政課題への対応を見極めながら事業展開を検討していく必要があるといえる。

【エリア④（現時点で施策の満足度が高いので、今後の優先度が低い）】

『30 水産業』については、現在の満足度が高いこともあって、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向が低い施策となった。

■基本目標 3 安全で快適な魅力あるまち 3 カ年総合評価

『安全で快適な魅力あるまち』の実現に向けた、第二次実施計画による3年間の取り組みでは、

- ・事業費の執行は、基本目標全体ではほぼ計画どおりとなったが、『危機管理・消防』『交通安全』『道路・交通』『商工業』では、計画を下回った。
- ・市民満足度は、第一次実施計画終了時点から上昇または横ばいとなっているが、『交通安全』『道路・交通』『住宅・住環境』『商工業』の満足度は低くなっている。
- ・今後は、都市基盤のなかでも『交通安全』『道路・交通』の分野を引き続き着実に推進していく必要がある。また、安全で安心して暮らせるまちづくりに対する市民のニーズは高く、『危機管理・消防』『治水』『防犯』の分野については、必要な事業を推進していく必要がある。

基本目標 4 人と自然が共生するまち

基本目標 4 人と自然が共生するまち

施策の方向 1

自然を大切にし、やすらぎと潤いのあるまちをつくれます

(大分類) 3 1 自然環境

(大分類) 3 2 公園・緑地

(大分類) 3 3 河川・水辺

施策の方向 2

環境への負荷の少ないまちをつくれます

(大分類) 3 4 地球環境

(大分類) 3 5 生活環境

施策の方向 3

廃棄物の発生を抑制し資源循環型のまちをつくれます

(大分類) 3 6 資源循環型社会

■ 施策の状況

大分類	市民意向調査結果 (()内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位)			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
31 自然環境	63.9% (↑14.1%)	22.5% (↑0.5%)	13.5% (↓14.7%)	22.5% [5位]
32 公園・緑地	52.8% (↑3.1%)	37.1% (↑12.0%)	10.1% (↓15.0%)	42.3% [2位]
33 河川・水辺	59.6% (↑10.9%)	24.1% (↑0.9%)	16.3% (↓11.8%)	25.1% [3位]
34 地球環境	29.1% (↓13.1%)	56.5% (↑26.0%)	14.5% (↓12.7%)	18.4% [6位]
35 生活環境	59.3% (↑10.9%)	32.2% (↑3.0%)	8.7% (↓13.8%)	54.1% [1位]
36 資源循環型社会	66.2% (↑0.9%)	26.6% (↑8.2%)	7.2% (↓9.2%)	23.3% [4位]
				合計

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	事業費 比較	数値目標 等比較	市民意向 調査結果
8,101	5,361	66.2%	61 自然環境推進事業	D	A	B
320,436	284,244	88.7%	62 ガーデニング・シティ いちかわ事業（整備）	C	D	D
			63 国分川調節池上部活用事 業	A	A	A
0	0	-	64 三番瀬保全再生	—	A	B
103,296	74,415	72.0%	65 住宅用太陽光発電システ ム設置助成事業	D	D	D
			66 住宅用省エネルギー設備 導入促進事業	A	D	D
164,188	160,727	97.9%	67 大気常時監視整備事業	A	A	A
			68 市民マナー条例推進事業	A	A	C
6,198,651	6,378,150	102.9%	69 ごみ発生抑制等啓発事業	A	A	B
			70 分別収集促進事業	A	A	B
6,794,672	6,902,897	101.6%				

※事業費の実績額は、平成 26, 27 年度は決算額、平成 28 年度は当初予算額の計

■ 市民意向調査結果

【満足度の傾向】

基本目標4に位置付けられた大分類の施策に対する「満足している」割合は、『34 地球環境』を除き、50%以上となり、平成25年度におこなった前回調査よりも上昇する結果となった。

『34 地球環境』については、「満足している」割合が約30%と低く、前回調査よりも約13ポイント下降している。

【今後重点的に推進すべき施策】

基本目標4の達成にむけ、今後重点的に推進すべき施策としては、『35 生活環境』『32 公園・緑地』の順に高く、推進すべきという回答が約40%以上となった。

特に、『35 生活環境』については、現在の満足度が約60%と比較的に高い結果となっているが、今後さらに推進すべきという市民の意向もあることが分かった。

一方で、『34 地球環境』については、現在の満足度が約30%と低いものの、今後推進すべきという回答は約18%と低い。現状では、満足度が低い一方で、今後の推進が必要という市民の意向は高くないということが確認できた。

■ 事業費

【全体の傾向】

基本目標4全体での執行率は、101.6%と概ね計画通りの執行となった。

このうち『31 自然環境』において執行率66.2%、『34 地球環境』において執行率72.0%と、計画を下回った。

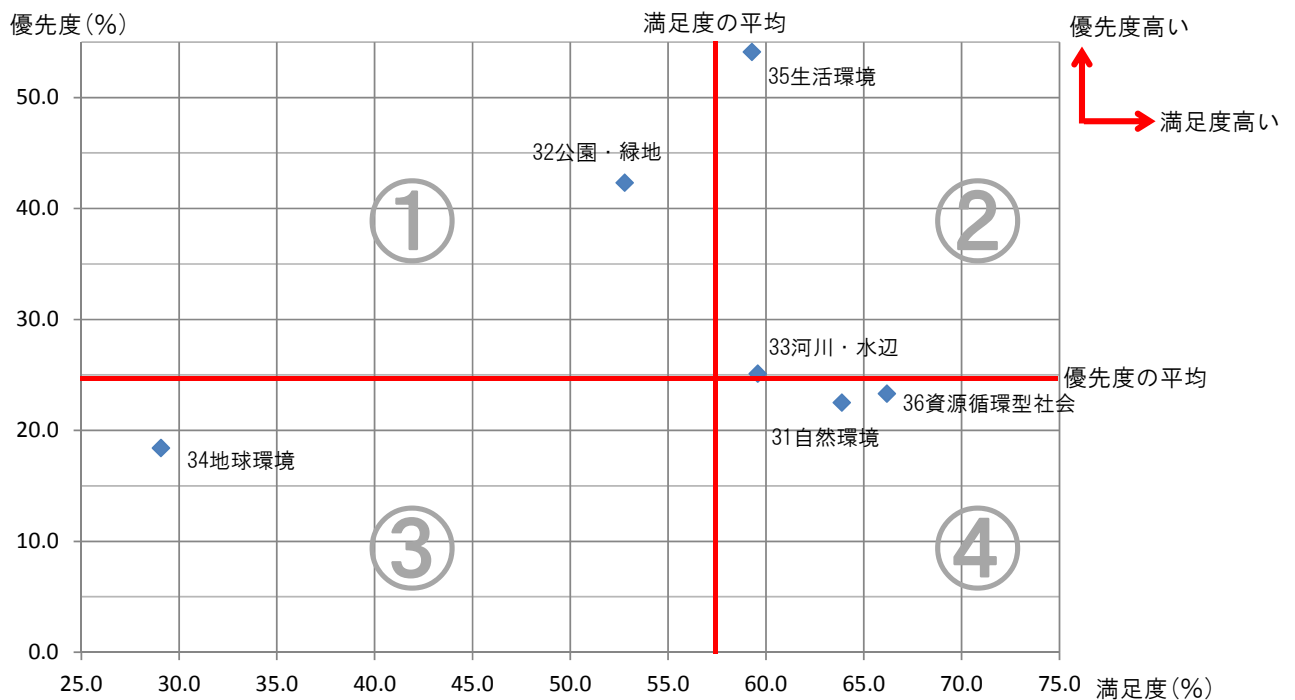
【事業費が低くなった施策】

『31 自然環境』において、生物多様性の保全などを目的として、自然環境の実態把握とモニタリング調査を行ったが、当初予定していた調査方法などを精査したこと、

また、『34 地球環境』において、住宅用太陽光発電システムの設置助成をおこなったが、国による補助事業の受付が平成25年度で終了となったこと、また消費税の引き上げの影響などにより、申請件数が当初の見込みに到達しなかったことなどから、事業費が当初の計画を下回った。

■ 次期実施計画策定にむけて考慮すべきポイント

図 4 市民意向調査結果から 施策の満足度×今後重点すべき施策（優先度）



■ 施策の満足度×今後重点すべき施策 プロットエリアの見方

市民意向調査の結果、45の施策の大分類について、満足度および優先度（今後重点すべき）の平均値を基準とし、各施策が満足度および優先度が、平均に対し、どのような位置づけとなっているかプロットしたもの

○満足度 45の施策の大分類について、満足と回答した割合の平均値 = 57.8%

○優先度 45の施策の大分類について、今後重点すべきと回答した割合の平均値 = 24.5%

【エリア①（現時点で施策の満足度が低く、今後の優先が高い）】

『32 公園・緑地』については、第二次実施計画で位置付けた事業が計画どおり達成できなかったことなどもあり、現在の満足度が低く、また、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向が高い結果となっている。公園・緑地の整備にかかる市民のニーズを的確に把握しながら、事業を進めていく必要があるといえる。

【エリア②（現時点で施策の満足度は高いが、今後の優先も高い）】

『35 生活環境』については、現在の満足度は比較的高い結果となっているが、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向は高い結果となった。市民の意向を踏まえながら、引き続き、事業の充実を図っていく必要があるといえる。

【エリア③（現時点で施策の満足度が低い、今後の優先度も低い）】

『34 地球環境』については、第二次実施計画において事業費の執行が計画を下回ったこと、また、事業が計画どおり達成できなかったことなどもあり、現在の満足度は、前回調査よりも低下し、全体の満足度と比較して低い結果となった。

しかし、今後重点的に推進すべきという市民の意向は低いことから、市民ニーズや行政課題への対応を見極めながら事業展開を検討していく必要があるといえる。

■基本目標4 人と自然が共生するまち 3カ年総合評価

『人と自然が共生するまち』の実現に向けた、第二次実施計画による3年間の取り組みでは、

- ・事業費の執行は、多くの施策分野で計画どおりとなり、基本目標全体でもほぼ計画どおりの執行となった。
- ・市民満足度は、事業の推進によって、第一次実施計画終了時点よりも概ね向上が図られた。
- ・今後は、市民のニーズを把握しながら『公園・緑地』『生活環境』の分野について充実を図っていく必要がある。

基本目標5 市民と行政がともに築くまち

基本目標5 市民と行政がともに築くまち

施策の方向1

市民と行政とのパートナーシップのもとでまちをつくります

(大分類) 3 7 協働・市民参加

(大分類) 3 8 情報の発信・提供

施策の方向2

まちづくりのための新しいコミュニティをつくります

(大分類) 3 9 地域コミュニティ・市民活動

施策の方向3

分権時代にふさわしい行財政運営を推進します

(大分類) 4 0 政策展開

(大分類) 4 1 行政体制

(大分類) 4 2 窓口・相談機能

(大分類) 4 3 財政運営

(大分類) 4 4 広域行政

施策の方向4

情報通信技術を市民生活の向上に活かします

(大分類) 4 5 情報化

■ 施策の状況

大分類	市民意向調査結果 (()内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位)			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
37 協働・市民参加	65.3% (↑12.7%)	14.7% (↓4.1%)	20.0% (↓8.6%)	25.7% [6位]
38 情報の発信・提供	63.5% (↑4.7%)	19.0% (↑4.5%)	17.4% (↓9.3%)	39.9% [2位]
39 地域コミュニティ・市民活動	39.6% (↓13.9%)	44.7% (↑20.2%)	15.7% (↓6.4%)	30.3% [4位]
40 政策展開	59.8% (↑11.5%)	20.5% (↑3.1%)	19.8% (↑14.5%)	16.6% [8位]
41 行政体制	59.7% (↑17.5%)	19.6% (↓3.7%)	20.6% (↓13.9%)	34.8% [3位]
42 窓口・相談機能	69.8% (↑10.9%)	17.3% (↓1.8%)	13.0% (↓8.9%)	47.3% [1位]
43 財政運営	72.8% (↑19.5%)	16.1% (↓1.0%)	11.2% (↓18.4%)	26.8% [5位]
44 広域行政	63.6% (↑13.1%)	17.3% (↑1.2%)	19.2% (↓14.3%)	13.1% [9位]
45 情報化	56.4% (↓1.5%)	25.8% (↑10.5%)	17.7% (↓9.0%)	19.7% [7位]
				合計

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	事業費 比較	数値目標 等比較	市民意向 調査結果
0	0	-	71 大学との連携	-	A	A
5,538	4,935	89.1%	72 インターネット放送局運営事業	B	A	B
3,000	1,764	58.8%	73 自治会総合支援事業	D	C	D
37,266	33,569	90.1%	74 職員研修事業	A	A	B
0	0	-	75 民営化推進事業	-	A	B
45,060	36,412	80.8%	76 総合市民相談・案内事業	B	A	A
287,454	297,002	103.3%	77 納税環境整備事業	A	A	A
450	450	100.0%	78 広域行政推進事業	A	A	A
451,778	421,113	93.2%	79 個人番号制度に対応するための基幹系システム改修事業	A	A	B
830,546	795,245	95.7%				

※事業費の実績額は、平成 26, 27 年度は決算額、平成 28 年度は当初予算額の計

■ 市民意向調査結果

【満足度の傾向】

基本目標5に位置付けられた大分類の施策に対する「満足している」割合は、『39 地域コミュニティ・市民活動』『45 情報化』を除き、約60%と比較的高く、平成25年度におこなった前回調査よりも概ね10ポイント以上上昇する結果となった。

なお、『39 地域コミュニティ・市民活動』については、「満足している」割合が約40%と低く、前回調査よりも約14ポイント下降している。

【今後重点的に推進すべき施策】

基本目標5の達成にむけ、今後重点的に推進すべき施策としては、『42 窓口・相談機能』『38 情報の発信・提供』の順に高く、推進すべきという回答が約40%以上となった。

また、『39 地域コミュニティ・市民活動』については、現在の満足度が約40%と全体より低い結果となったことから、今後重点的に推進すべきという回答も約30%と比較的高い結果となった。

■ 事業費

【全体の傾向】

基本目標5全体での執行率は、95.7%と概ね計画通りの執行となった。

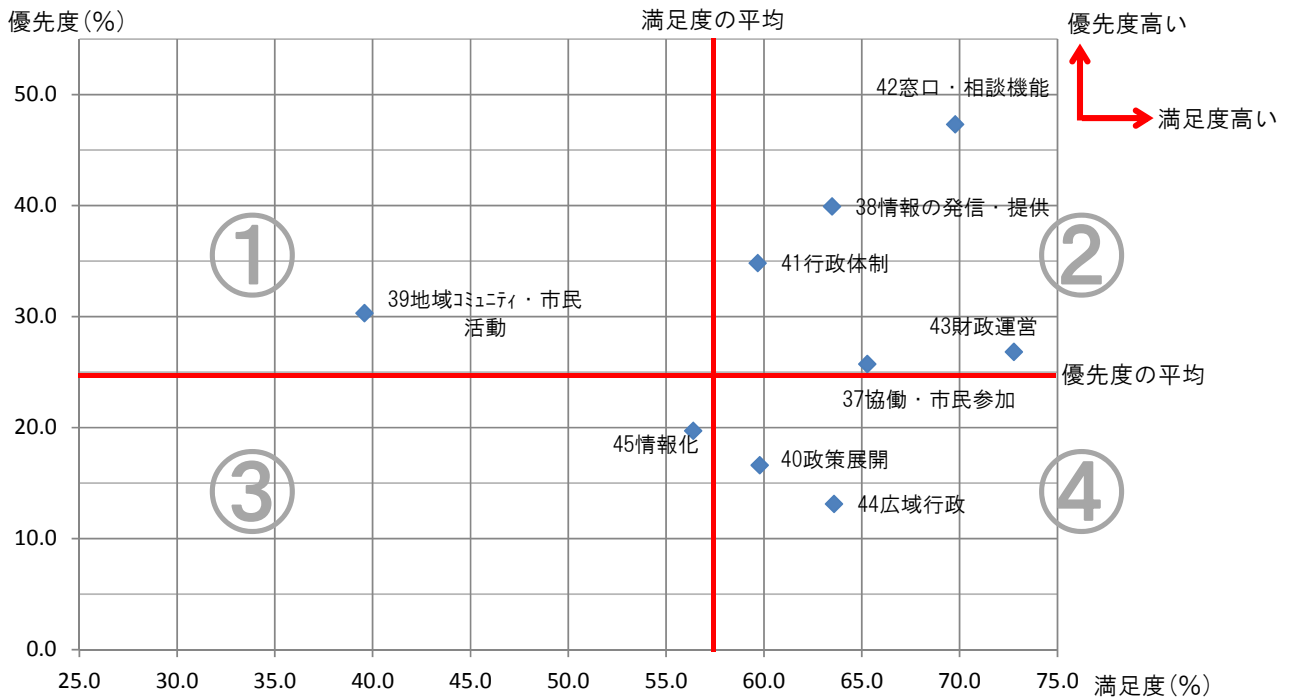
このうち『39 地域コミュニティ・市民活動』において、執行率が58.8%と、計画を大きく下回った。

【事業費が低くなった施策】

『39 地域コミュニティ・市民活動』において、自治会加入促進のため経費を精査したことなどから、事業費が当初の計画を大きく下回った。

■ 次期実施計画策定にむけて考慮すべきポイント

図5 市民意向調査結果から 施策の満足度×今後重点すべき施策（優先度）



■ 施策の満足度×今後重点すべき施策 プロットエリアの見方

市民意向調査の結果、45の施策の大分類について、満足度および優先度（今後重点すべき）の平均値を基準とし、各施策が満足度および優先度が、平均に対し、どのような位置づけとなっているかプロットしたもの

- 満足度 45の施策の大分類について、満足と回答した割合の平均値 = 57.8%
- 優先度 45の施策の大分類について、今後重点すべきと回答した割合の平均値 = 24.5%

【エリア①（現時点で施策の満足度が低く、今後の優先が高い）】

『39 地域コミュニティ・市民活動』については、第二次実施計画において事業費の執行が計画を下回ったこと、また、事業が計画どおり達成できなかったことなどもあり、市民の満足度が低く、また、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向も高い結果となった。このため、第三次実施計画では、さらに、重点的に、事業を推進していく必要があるといえる。

【エリア②・エリア④】

『39 地域コミュニティ・市民活動』を除き、基本目標5に位置付けられた大分類の施策については、計画どおり事業を推進することができたこともあり、全般的に満足度が約60%以上と高い傾向となった。

■基本目標5 市民と行政がともに築くまち 3カ年総合評価

『市民と行政がともに築くまち』の実現に向けた、第二次実施計画による3年間の取り組みでは、

- ・事業費の執行は、多くの施策分野で計画どおりとなり、基本目標全体でもほぼ計画どおりの執行となった。
- ・市民満足度は、『地域コミュニティ・市民活動』を除き、第一次実施計画終了時点よりも向上が図られ、全体的に高い。
- ・今後は、『地域コミュニティ・市民活動』を重点的に取り組む必要がある。

3 実施計画評価

■実施計画評価の見方

大分類	第二次基本計画の大分類を記載	中分類	第二次基本計画の中分類を記載
小分類	第二次基本計画の小分類を記載		
事業名 (所管部署)	番号 事業名		(部名 課名)
事業概要	(平成 28 年度末までに実施予定となっている事業の概要を記述しています)		
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度
	計画 (第二次実施計画に記載されている事業内容を転載)	(同左)	(同左)
実績 (計画の事業内容に対して、実際に行った事業の内容を記載)	(同左)	(同左)	(同左)
事業費	計画 000,000 千円 (第二次実施計画に記載のもの)	000,000 千円 (同左)	000,000 千円 (同左)
	実績 000,000 千円 (H26 年度決算額)	000,000 千円 (H27 年度決算額)	000,000 千円 (H28 年度当初予算額)
数値目標等	利用者数 (第二次実施計画に記載されている事業の状況が把握できるアウトプット指標)		
	計画 ○人 (第二次実施計画に記載のもの)	○人 (同左)	○人 (同左)
実績 ○人 (平成 26 年度実績値)	○人 (平成 27 年度実績値)	○人 (平成 28 年度見込み)	
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) A (000,000) 千円 / (000,000) 千円 = 00.0%		
	■数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) A (000 人) / (000 人) × 100 = 00 点		
市民意向調査結果	■事業の取組状況 A		
	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>		

■ 達成状況等について

実施計画事業の達成状況については、実施計画に記載されている3年間の事業費および数値目標等について計画値と実績の比較を行うことで、評価を行いました。

なお、事業費および数値目標等の達成状況は、ともにA～Dによる4段階により表記しています。

(1) 事業費比較

$$\text{事業費比較} = \frac{\text{3年間の実績の事業費合計 (千円)}}{\text{3年間の計画の事業費合計 (千円)}} \times 100 (\%) \quad ※1$$

※小数点第二位を四捨五入

(2) 数値目標等比較

$$\text{数値目標等比較} = \frac{\text{実績の数値}^{※1}}{\text{計画数値目標}^{※1}} \times 100 (\text{点}) \quad ※2$$

※1 実績の数値および計画数値目標は、指標によって『3年間の合計』『3年間の平均』『平成28年度末の計画値または実績見込み』のいずれかとしている。

※2 小数点第一位を四捨五入

(3) 4段階評価の表記について

	事業費比較	数値目標等比較
A	90%以上	90点以上
B	90%未満 80%以上	90点未満 80点以上
C	80%未満 70%以上	80点未満 70点以上
D	70%未満	70点未満

■ 市民意向調査結果について

実施計画事業に対する市民意向調査結果については、『市川市の市政に関する市民アンケート(平成28年度) 問2【①実施計画事業の取り組み状況】』の調査結果を、A～Dによる4段階で表記しています。

(1) 事業の取組状況

$$\text{事業の取組状況} = \text{市民アンケートの『期待以上』 + 『期待通り』の割合}^{※}$$

$$\begin{aligned} \text{事業の取組状況} &= 68.1\%^{※} \\ \text{79事業の平均} & \end{aligned}$$

※小数点第二位を四捨五入

(2) 4段階評価の表記について

事業の取組状況	
A	79事業の平均+10ポイント以上
B	79事業の平均以上 79事業の平均+10ポイント未満
C	79事業の平均-10ポイント以上 79事業の平均未満
D	79事業の平均-10ポイント未満

■市川市の市政に関する市民アンケート

問2 市の施策や事業についてお伺いします。

【①実施計画事業の取り組み状況】

「実施計画事業」の取り組み状況について、別冊「3年間のふりかえり」をご覧ください、どのように感じましたか？

(例)

【①実施計画事業の取り組み状況】						
ふりかえり		実施計画事業	期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ
頁	No.					
P5	O1	予防接種事業		○		

基本目標1 真の豊かさを感じるまち

大分類	01 保健医療	中分類	公衆衛生の推進	
小分類	感染症の予防			
事業名 (所管部署)	01 予防接種事業 (保健部 保健センター疾病予防課)			
事業概要	<p>感染症の発生及びまん延を予防するため、定期予防接種及び任意予防接種である流行性耳下腺炎の予防接種を実施した。</p> <p>平成 26 年 7 月からは 65 歳以上の方を対象とした高齢者肺炎球菌、10 月からは生後 1 歳、2 歳の方を対象とした水痘の予防接種を開始した。</p>			
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度	
	<p>計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期予防接種 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒブ ・小児用肺炎球菌 ・4 種混合 ・三種混合 ・ポリオ ・BCG ・水痘 ・麻しん風しん ・日本脳炎 ・二種混合 ・子宮頸がん ・高齢者インフルエンザ[※] ・高齢者肺炎球菌 ○任意予防接種 <ul style="list-style-type: none"> ・流行性耳下腺炎 	同左	同左	
	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期予防接種 件 ・ヒブ 17,149 ・小児用肺炎球菌 17,086 ・4 種混合 16,754 ・三種混合 458 ・ポリオ 2,327 ・BCG 4,247 ・水痘 8,158 ・麻しん風しん 7,632 ・日本脳炎 14,293 ・二種混合 2,544 ・子宮頸がん 35 ・高齢者インフルエンザ[※] 49,804 ・高齢者肺炎球菌 33,443 ○任意予防接種 ・流行性耳下腺炎 4,377 	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期予防接種 件 ・ヒブ 17,386 ・小児用肺炎球菌 17,432 ・4 種混合 17,218 ・三種混合 29 ・ポリオ 646 ・BCG 4,327 ・水痘 8,640 ・麻しん風しん 7,861 ・日本脳炎 13,708 ・二種混合 2,517 ・子宮頸がん 16 ・高齢者インフルエンザ[※] 49,986 ・高齢者肺炎球菌 3,886 ○任意予防接種 ・流行性耳下腺炎 4,652 	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期予防接種 ・ヒブ ・小児用肺炎球菌 ・4 種混合 ・三種混合 ・ポリオ ・BCG ・水痘 ・麻しん風しん ・日本脳炎 ・二種混合 ・子宮頸がん ・高齢者インフルエンザ[※] ・高齢者肺炎球菌 ○任意予防接種 ・流行性耳下腺炎 	
事業費	計画	1,447,616 千円	1,500,256 千円	1,552,897 千円
	実績	1,386,289 千円	1,215,890 千円	1,241,582 千円
数値目標等	予防接種の接種率（予防接種者／予防接種対象者）（年間）			
	計画	55%	57%	59%
	実績	53%	47%	50%
達成状況等	<p>■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計)</p> <p>B (3,843,761) 千円 / (4,500,769) 千円 = 85.4%</p>			
	<p>■数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計)</p> <p>B (150%) / (171%) × 100 = 88 点</p>			
市民意向調査結果	<p>■事業の取組状況</p> <p>A</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

大分類	02 子育て	中分類	子どもの権利保障と配慮を要する 子どもの支援									
小分類	虐待防止・対応のための取り組みの充実											
事業名 (所管部署)	02 児童虐待対策事業 (こども政策部 子育て支援課)											
事業概要	児童虐待防止のため、子ども家庭総合支援センターにおいて、子育て家庭等からの相談や虐待通報などに対応した。また、虐待の予防や回復を目指すため、親力スキルアップ講座を実施した。											
年度ごとの 事業内容		26年度	27年度	28年度								
	計画	○家庭児童相談や養育困難家庭への支援の充実 ○関連機関との連携の強化 ・教育関係・小児科医等への相談活動の周知 ・要保護児童対策地域協議会の充実 ○虐待予防のための周知・教育の充実 ・親力スキルアップ講座の実施	同左	同左								
	実績	○計画通り事業を実施 ・児童虐待相談件数 (年間・延べ) 4,230件	○計画通り事業を実施 ・児童虐待相談件数 (年間・延べ) 4,574件	○計画通り事業を実施								
事業費	計画	9,883千円	9,883千円	9,883千円								
	実績	9,722千円	12,646千円	12,566千円								
数値目標等	親力スキルアップ講座の参加者数 (年間・延べ)											
	計画	160人	180人	200人								
	実績	247人	235人	296人								
達成状況等	■事業費比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) (34,934)千円 / (29,649)千円 = 117.8%										
	■数値目標等比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) (778人) / (540人) × 100 = 144点										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B	<table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>期待通り</td> <td>足りない</td> <td>やり過ぎ</td> </tr> <tr> <td>4.2%</td> <td>71.1%</td> <td>23.3%</td> <td>1.4%</td> </tr> </table>			期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	4.2%	71.1%	23.3%	1.4%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ									
4.2%	71.1%	23.3%	1.4%									

大分類	02 子育て	中分類	地域における子育て支援								
小分類	子育て相談・情報提供の充実										
事業名 (所管部署)	03 子育てナビ事業 (こども政策部 子育て支援課)										
事業概要	就学前親子に適した教育・保育施設の選択や子育てを支援するための窓口を、子育て支援課に設置し、必要な情報の提供、助言を行った。										
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度								
	計画	実績	実績								
計画	<ul style="list-style-type: none"> 教育・保育施設の情報収集提供 各家庭に必要な施設の情報提供 (子育てライフプランの提案) 講座開催 (出張子育てナビ) 	同左	同左								
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○計画通り事業を実施 支援実績 窓口 4,079件 電話 205件 出張子育てナビ 406件 合計 4,690件 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画通り事業を実施 支援実績 窓口 5,162件 電話 469件 出張子育てナビ 699件 合計 6,330件 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画通り事業を実施 支援の実施 窓口 電話 出張子育てナビ 								
事業費	計画	2,300千円	2,300千円	2,300千円							
	実績	2,198千円	2,346千円	3,841千円							
数値目標等	支援件数(年間・延べ)										
	計画	1,500件	1,550件	1,600件							
実績	4,690件	6,330件	6,500件								
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (8,385)千円 / (6,900)千円 = 121.5%										
	■数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) A (17,520件) / (4,650件) × 100 = 377点										
	幼稚園や保育園の相談が出来る窓口として、平成26年度に事業を開始し、市民に周知され利用者数も増えたことから、これに対応するため相談員の増員を図ったため、事業費が計画額を上回った。										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 <table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>6.6%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>68.8%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>23.8%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>0.8%</td> </tr> </table>			期待以上	6.6%	期待通り	68.8%	足りない	23.8%	やり過ぎ	0.8%
期待以上	6.6%										
期待通り	68.8%										
足りない	23.8%										
やり過ぎ	0.8%										

大分類	02 子育て	中分類	地域における子育て支援	
小分類	待機児童解消			
事業名 (所管部署)	04 保育園整備計画事業 (こども政策部 こども施設計画課)			
事業概要	待機児童解消のための保育サービスの充実を図るため、社会福祉法人等が国の交付金を受け、実施する施設整備事業に対して、その経費の一部を補助した。			
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度	
	計画	○7 施設創設 ○1 施設定員変更	○3 施設創設 ○1 施設定員変更	○3 施設創設
	実績	<p>○7 施設創設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありのみ保育園 定員 90 人 ・グローバルキッズ南行徳園 定員 90 人 ・保育ルームフェリーチェ 京成八幡園 定員 39 人 ・保育ルームフェリーチェ 行徳園 定員 30 人 ・保育ルームフェリーチェ 新南行徳園 定員 30 人 ・キッド・ステイ妙典保育園 定員 165 人 ・つばさ保育園 定員 69 人 <p>○1 施設定員変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学館アカデミーいちかわ 南保育園 定員 45→57 人 	<p>○11 施設創設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北国分駅前しゃりっこ 保育園 定員 36 人 ・ひまわりキッズ保育園 定員 72 人 ・Milky Way International Nursery School 市川校 定員 36 人 ・K' s garden 真間駅前 定員 30 人 ・リ-ポ-ピ-ンズ市川ルーム 定員 60 人 ・若葉インターナショナル幼保園 行徳園 定員 60 人 ・ゆう保育園 定員 36 人 ・キャリー保育園本八幡 定員 45 人 ・聖和保育園 定員 44 人 ・すみれキッズアカデミー 定員 64 人 ・そらまめ保育園市川大野 定員 60 人 <p>○3 施設定員変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学館アカデミーいちかわ 南保育園 定員 57→69 人 ・風の谷こども園 (保育所部分) 定員 64→69 人 ・K' s garden 真間駅前 定員 30→41 人 	<p>○9 施設創設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認可保育園整備 新築整備 1 施設 (84 名) 増改築整備 2 施設 (20 名) 賃貸物件による整備 4 施設 (240 名) ・小規模保育事業実施施設整備 2 施設 (36 名)

事業費	計画	484,815 千円	312,500 千円	290,500 千円										
	実績	598,174 千円	262,612 千円	738,101 千円										
数値目標等	保育園の定員数（増分）（年間・延べ）													
	計画	495 人	192 人	180 人										
	実績	525 人	571 人	380 人										
達成状況等	■ 事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (1,598,887) 千円 / (1,087,815) 千円 = 147.0%													
	■ 数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) A (1,476 人) / (867 人) × 100 = 170 点													
<p>待機児童の状況を勘案し、保育園等の整備数を増やし、当初計画した定員から大幅に増員を図ったことから、事業費が計画額を上回った。</p>														
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 D	<table border="1"> <caption>事業の取組状況調査結果</caption> <thead> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期待以上</td> <td>6.6%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>47.7%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>44.2%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>1.4%</td> </tr> </tbody> </table>			取組状況	割合	期待以上	6.6%	期待通り	47.7%	足りない	44.2%	やり過ぎ	1.4%
取組状況	割合													
期待以上	6.6%													
期待通り	47.7%													
足りない	44.2%													
やり過ぎ	1.4%													

大分類	02 子育て	中分類	地域における子育て支援
小分類	多様なニーズに応じた保育サービスの充実		
事業名 (所管部署)	05 私立保育園等一時預かり事業 (こども政策部 こども施設運営課)		
事業概要	<p>保護者の傷病、出産、育児疲労の解消や保育園入園要件に満たない就労等で、子どもの保育が一時的断続的に困難になる場合、保育園で子どもを預かる一時預かりを実施した。</p> <p>なお、特定保育については、「子ども・子育て支援新制度」となり、対象者が「保育短時間」の区分で保育所への入所の申込みができるようになったことから、平成27年度より廃止となった。</p>		
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度
	<p>計画</p> <p>○一時預かり事業実施 ○特定保育事業実施</p>	同左	同左
実績	<p>○一時預かり・特定保育事業実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国府台保育園 ・行徳あけぼの保育園 ・つくし保育園 ・愛泉保育園 ・百合台保育園 ・原木保育園 ・柏井保育園 ・花の子保育園 ・わたぐも保育園 ・すえひろ保育園 ・さくらんぼ保育園 ・かいづか保育園 ・うみかぜ保育園 ・キッド・ステイ南行徳保育園 ・eー保育園 ・風の谷保育園 ・市川キッズステーション ・市川大野ナーサリースクール ・広尾みらい保育園 ・あじさい保育園 ・キッド・ステイ原木中山保育園 ・市川どろんこ保育園 ・こうぜん保育園市川 ・ありのみ保育園 ・湊新田保育園 <p>・年度延利用児童数 12,081人(平均483人)</p>	<p>○一時預かり事業実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国府台保育園 ・行徳あけぼの保育園 ・愛泉保育園 ・百合台保育園 ・原木保育園 ・柏井保育園 ・すえひろ保育園 ・さくらんぼ保育園 ・かいづか保育園 ・うみかぜ保育園 ・eーこども園 ・風の谷こども園 ・市川キッズステーション ・市川大野ナーサリースクール ・広尾みらい保育園 ・あじさい保育園 ・市川どろんこ保育園 ・こうぜん保育園市川 ・ありのみ保育園 ・湊新田保育園 <p>・年度延利用児童数 12,064人(平均603人)</p>	<p>○一時預かり事業実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国府台保育園 ・行徳あけぼの保育園 ・愛泉保育園 ・百合台保育園 ・原木保育園 ・柏井保育園 ・さくらんぼ保育園 ・かいづか保育園 ・eーこども園 ・風の谷こども園 ・市川キッズステーション ・市川大野ナーサリースクール ・広尾みらい保育園 ・あじさい保育園 ・市川どろんこ保育園 ・こうぜん保育園市川 ・ありのみ保育園

事業費	計画	102,667千円	106,774千円	110,881千円										
	実績	89,098千円	88,553千円	87,890千円										
数値目標等	施設数（年度末）													
	計画	25園	26園	27園										
	実績	27園	20園	17園										
達成状況等	■ 事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) B (265,541)千円 / (320,322)千円 = 82.9%													
	■ 数値目標等比較 (28年度末の実績見込み) / (28年度末の計画) D (17園) / (27園) × 100 = 63点													
	待機児童の状況を勘案し、一時預かり事業から通常保育に重点がおかれ、一部の園において一時預かり事業を休止したことなどから、当初計画した実施園の数を下回った。													
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 D <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期待以上</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>27.0%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>70.6%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>1.6%</td> </tr> </tbody> </table>				取組状況	割合	期待以上	0.8%	期待通り	27.0%	足りない	70.6%	やり過ぎ	1.6%
取組状況	割合													
期待以上	0.8%													
期待通り	27.0%													
足りない	70.6%													
やり過ぎ	1.6%													

大分類	03 地域福祉	中分類	地域への参加と交流の体制づくり	
小分類	身近な支援体制づくり			
事業名 (所管部署)	06 地域ケアシステム推進事業 (福祉部 地域支えあい課)			
事業概要	地域の安心と信頼の向上のため、市内 14 の地区社会福祉協議会が中心に取り組んでいる地域ケアシステムにおける活動拠点の整備を行うほか、拠点での相談事業及びサロン事業に対して、補助金を交付した。			
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度	
	計画	同左	同左	
実績	<p>○地区社会福祉協議会による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談事業 ・サロン活動 <p>○計画通り事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアシステム拠点 <p>北部地区 国府台、国分、曾谷、大柏、宮久保・下貝塚</p> <p>中部地区 市川第一、市川第二、真間、菅野・須和田、八幡、市川東部、信篤・二俣</p> <p>南部地区 行徳、南行徳</p> <p>○地域課題の共有・解決に向けた検討のための各種会議等の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア推進会議 66 回 ・相談員会議 98 回 ・サロン開催回数 2,163 回 ・サロン参加者 39,697 人 ・拠点来初者数 20,806 人 	<p>○計画通り事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアシステム拠点 <p>北部地区 国府台、国分、曾谷、大柏、宮久保・下貝塚</p> <p>中部地区 市川第一、市川第二、真間、菅野・須和田、八幡、市川東部、信篤・二俣</p> <p>南部地区 行徳、南行徳</p> <p>○地域課題の共有・解決に向けた検討のための各種会議等の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア推進会議 69 回 ・相談員会議 96 回 ・サロン開催回数 2,203 回 ・サロン参加者 39,374 人 ・拠点来初者数 22,476 人 	<p>○計画通り事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアシステム拠点 <p>北部地区 国府台、国分、曾谷、大柏、宮久保・下貝塚</p> <p>中部地区 市川第一、市川第二、真間、菅野・須和田、八幡、市川東部、信篤・二俣</p> <p>南部地区 行徳、南行徳(第一、第二)</p> <p>○地域課題の共有・解決に向けた検討のための各種会議等の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア推進会議 ・相談員会議 ・サロン 	
事業費	計画	13,925 千円	13,925 千円	13,925 千円
	実績	13,400 千円	15,828 千円	15,265 千円
数値目標等	地域ケアの会議等(拠点・サロン・各種会議)開催数(年間)			
	計画	4,700 回	4,800 回	4,800 回
実績	5,669 回	5,583 回	4,800 回	
達成状況等	■事業費比較 A	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) (44,493) 千円 / (41,775) 千円 = 106.5%		
	■数値目標等比較 A	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) (16,052 回) / (14,300 回) × 100 = 112 点		
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B	<p>4.6% 71.1% 20.0% 4.3%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>		

大分類	04 障害者福祉	中分類	社会参加の促進
小分類	就労支援		
事業名 (所管部署)	07 障害者雇用事業 (総務部 人事課、生涯学習部 教育総務課)		
事業概要	障害者の就労を支援するため、障害者が一定期間、市の職員として勤務することができる「チャレンジドオフィスいちかわ」を実施した。		
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度
	計画	同左	同左
	○市役所 ・事務補助・作業補助 (4名) ○須和田の丘支援学校 ・学習補助・施設管理補助 (1名)		
	○計画通り事業を実施	○計画通り事業を実施	○計画通り事業を実施
事業費	計画	10,656千円	10,656千円
	実績	10,062千円	9,935千円
数値目標等	チャレンジドオフィスいちかわ採用人数(年間)		
	計画	5人	5人
	実績	5人	5人
達成状況等	■事業費比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) (30,715)千円 / (31,968)千円 = 96.1%	
	■数値目標等比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) (15人) / (15人) × 100 = 100点	
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B	<p>期待以上 期待通り 足りない やり過ぎ</p>	

大分類	04 障害者福祉	中分類	生活支援の充実	
小分類	福祉サービスの充実			
事業名 (所管部署)	08 自立支援給付事業 (介護給付費・訓練等給付費) (福祉部 障害者支援課)			
事業概要	障害者の自立した生活を支援するため、障害者が指定障害福祉サービス事業者から身近の介護や就労のための訓練などのサービスを受けた場合に、介護給付費又は訓練等給付費を支給した。			
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度	
	<p>計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護給付費 <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護 ・重度訪問介護 ・行動援護 ・同行援護 ・療養介護 ・生活介護 ・短期入所 ・施設入所支援 ○訓練等給付費 <ul style="list-style-type: none"> ・自立訓練 ・就労移行支援 ・就労継続支援 ・共同生活援助 	同左	同左	
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○介護給付費 延べ <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護 5,881人 ・重度訪問介護 274人 ・行動援護 150人 ・同行援護 847人 ・療養介護 132人 ・生活介護 8,181人 ・短期入所 669人 ・共同生活介護 133人 ・施設入所支援 2,550人 ○訓練等給付費 <ul style="list-style-type: none"> ・自立訓練 943人 ・就労移行支援 1,655人 ・就労継続支援 4,809人 ・共同生活援助 1,873人 合計 28,097人	<ul style="list-style-type: none"> ○介護給付費 延べ <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護 6,340人 ・重度訪問介護 289人 ・行動援護 155人 ・同行援護 920人 ・療養介護 160人 ・生活介護 8,436人 ・短期入所 833人 ・施設入所支援 2,559人 ○訓練等給付費 <ul style="list-style-type: none"> ・自立訓練 833人 ・就労移行支援 1,691人 ・就労継続支援 5,213人 ・共同生活援助 2,085人 合計 29,514人	<ul style="list-style-type: none"> ○介護給付費 <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護 ・重度訪問介護 ・行動援護 ・同行援護 ・療養介護 ・生活介護 ・短期入所 ・施設入所支援 ○訓練等給付費 <ul style="list-style-type: none"> ・自立訓練 ・就労移行支援 ・就労継続支援 ・共同生活援助 	
事業費	計画	3,571,507千円	4,454,540千円	5,031,043千円
	実績	3,832,952千円	4,114,153千円	4,131,671千円
数値目標等	サービスの利用者数 (年間・延べ)			
	計画	26,630人	32,390人	35,987人
実績	28,097人	29,514人	29,250人	
達成状況等	■事業費比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) (12,078,776)千円 / (13,057,090)千円 = 92.5%		
	■数値目標等比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) (86,861人) / (95,007人) × 100 = 91点		
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B	<p>期待以上 5.5% 期待通り 69.2% 足りない 21.5% やり過ぎ 3.8%</p>		

大分類	05 高齢者福祉	中分類	介護予防と生きがいがづくりの充実	
小分類	介護予防の充実			
事業名 (所管部署)	09 介護予防推進事業 (福祉部 地域支えあい課)			
事業概要	<p>高齢者が要介護状態となることを予防するため、一次予防事業では、心身機能の維持・向上を図る「いきいき健康教室」を実施し、二次予防事業では、運動機能の向上や生活機能の改善を図る介護予防教室を実施するとともに、教室への通所が困難な高齢者に対しては、居宅への訪問を行った。</p> <p>なお、介護保険法改正によって、平成 28 年度から介護予防事業について事業の組み換えが行われた。</p>			
年度ごとの事業内容		26 年度	27 年度	28 年度
	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○一次予防事業 ・いきいき健康教室 ○二次予防事業 ・通所型介護予防事 ・訪問型介護予防事業 	同左	同左
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○一次予防事業 ・いきいき健康教室 A 延参加人数 57,599 人 ・いきいき健康教室 B 延参加人数 15,405 人 ・いきいき健康教室 C 延参加人数 6,343 人 ・高齢者ミニデイセンター 延参加人数 1,359 人 合計 80,706 人 ○二次予防事業 ・二次予防対象者把握事業 該当者 11,107 人 ・通所型介護予防事 (委託) 実施箇所 7 箇所 実施回数 252 回 延参加人数 2,596 人 (直営) 実施箇所 1 箇所 実施回数 41 回 延参加人数 399 人 ・訪問型介護予防事業 訪問回数 162 回 訪問者数 65 人 	<ul style="list-style-type: none"> ○一次予防事業 ・いきいき健康教室 A 延参加人数 58,078 人 ・いきいき健康教室 B 延参加人数 16,775 人 ・いきいき健康教室 C 延参加人数 7,057 人 ・高齢者ミニデイセンター 延参加人数 1,150 人 合計 83,060 人 ○二次予防事業 ・二次予防対象者把握事業 該当者 12,191 人 ・通所型介護予防事 (委託) 実施箇所 4 箇所 実施回数 143 回 延参加人数 1,526 人 (直営) 実施箇所 1 箇所 実施回数 41 回 延参加人数 411 人 ・訪問型介護予防事業 訪問回数 48 回 訪問者数 25 人 	<ul style="list-style-type: none"> ○一次予防事業 ・いきいき健康教室 A ・いきいき健康教室 B ・いきいき健康教室 C ・高齢者ミニデイセンター ※いきいき健康教室は、介護予防普及啓発として継続 ○二次予防事業 介護保険法改正により廃止 	

事業費	計画	67,443千円	67,443千円	67,443千円										
	実績	61,233千円	55,561千円	37,320千円										
数値目標等	いきいき健康教室参加人数(年間)													
	計画	75,000人	75,000人	75,000人										
	実績	80,706人	83,060人	75,000人										
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) C (154,114)千円 / (202,329)千円 = 76.2%													
	■数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) A (238,766人) / (225,000人) × 100 = 106点													
<p>介護保険法改正によって、平成28年度からそれまでの介護予防事業を一般介護予防事業に移行し、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取組を推進する観点から見直した。</p> <p>これに伴い、二次予防事業(通所および訪問介護予防事業)を廃止し、組み換えたことから、事業費が計画額を下回った。</p>														
市民意向調査結果	■事業の取組状況 <table border="1"> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>期待以上</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>62.3%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>30.5%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>1.9%</td> </tr> </table>				取組状況	割合	期待以上	5.3%	期待通り	62.3%	足りない	30.5%	やり過ぎ	1.9%
取組状況	割合													
期待以上	5.3%													
期待通り	62.3%													
足りない	30.5%													
やり過ぎ	1.9%													

大分類	06 社会保障・住まい	中分類	住まいの安心・安全への支援								
小分類	市営住宅の維持管理										
事業名 (所管部署)	10 市営住宅営繕事業 (福祉部 市営住宅課)										
事業概要	入居者の安全性、居住性の向上に努め、市営住宅の維持管理を図るため、「市川市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化した施設の大規模修繕等を計画的に行った。										
年度ごとの事業内容	計画	26 年度 ○大町第二団地 4 号棟 ・エレベーター設置工事 ○曾谷第三団地 ・外壁改修・屋上防水改修工事 ○大町第一団地 A 棟 ・外壁改修・屋上防水改修工事	27 年度 ○大町第二団地 1～3 号棟 ・屋上防水改修 ・排水管改修工事 ○大町第二団地 4, 6～8 号棟 ・外壁改修・屋上防水改修工事 ○柏井第一団地 1～3 号棟 ・外壁改修・屋上防水改修工事 ○北方第二団地 A, B, C 棟 ・外壁改修工事 ○平田団地 ・外壁改修・屋上防水改修工事 ○原木団地 ・外壁改修・屋上防水改修工事 ○相之川第二団地 B 棟 ・外壁改修・屋上防水改修工事	28 年度 ○大町第二団地 5, 6 号棟 ・排水管改修工事 ○柏井第二団地 ・外壁改修・屋上防水改修工事 ○奉免団地 1～5 号棟 ・屋上防水改修工事 ○北方第一団地 1～3 号棟 ・屋上防水改修 ・排水管改修工事 ○宮久保団地 ・外壁改修・屋上防水改修工事 ○東菅野団地 ・屋上防水改修工事 ○稲荷木団地 ・屋上防水改修工事 ○塩浜団地 1～4 号棟 ・屋上防水改修工事							
	実績	○大町第二団地 4 号棟 ・エレベーター設置工事 ○曾谷第三団地 ・外壁改修・屋上防水改修工事 ○大町第一団地 A 棟 ・外壁改修・屋上防水改修工事	○大町第二団地 5, 6 号棟 ・外壁改修・屋上防水改修工事 ○原木団地 ・外壁改修・屋上防水改修工事	○大町第一団地 B 棟 ・外壁改修・屋上防水改修工事 ○相之川第二団地 B 棟 ・外壁改修・屋上防水改修工事							
	事業費	計画 147,600 千円 実績 143,812 千円	450,620 千円 163,080 千円	195,400 千円 281,000 千円							
数値目標等	市川市公営住宅等長寿命化計画における進捗率（年度末）										
	計画	22.4%	46.3%	74.6%							
実績	22.4%	23.4%	26.0%								
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) C (587,892) 千円 / (793,620) 千円 = 74.1%										
	■数値目標等比較 (28 年度末の実績見込み) / (28 年度末の計画) D (26.0%) / (74.6%) × 100 = 35 点										
	修繕周期を超えた団地数が多くあり、公営住宅等長寿命化計画において事業予定として計画をしたが、緊急性や老朽化の程度を勘案して改修工事等を実施したことから、事業費および数値目標ともに計画を下回った。										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 D <table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>期待通り</td> <td>足りない</td> <td>やり過ぎ</td> </tr> <tr> <td>1.4%</td> <td>40.0%</td> <td>54.1%</td> <td>4.4%</td> </tr> </table>			期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	1.4%	40.0%	54.1%	4.4%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ								
1.4%	40.0%	54.1%	4.4%								

大分類	06 社会保障・住まい	中分類	安心して暮らせる社会保障の充実											
小分類	生活困窮者・不安定居住者等への支援と自立の促進													
事業名 (所管部署)	11 生活保護受給者就労支援事業 (福祉部 生活支援課)													
事業概要	生活保護受給者の職業能力が最大限発揮される社会を実現するため、現在の複雑な雇用形態、必要とされる職業スキルの変化等に対応した専門的な就労支援を行った。													
年度ごとの事業内容	計画	26年度 ・就職支援 ・職業紹介 ・就職決定後の支援 ・ケースワーカーへの状況報告 ・業務日報の作成及び提出	27年度 同左	28年度 同左										
	実績	・計画通り事業を実施 支援件数 212件 うち就労件数 133件 就労率 63%	・計画通り事業を実施 支援件数 199件 うち就労件数 111件 就労率 56%	・計画通り事業を実施										
事業費	計画	6,808千円	6,808千円	6,808千円										
	実績	6,808千円	7,892千円	8,254千円										
数値目標等	就労率（支援件数のうち就労した件数／支援件数）													
	計画	60%	61%	62%										
実績	63%	56%	62%											
達成状況等	■ 事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (22,954)千円 / (20,424)千円 = 112.4%													
	■ 数値目標等比較 (3年間の実績平均) / (3年間の計画値平均) A (60.3%) / (61%) × 100 = 99点													
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 C													
		<table border="1"> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>期待以上</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>62.6%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>26.2%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>7.2%</td> </tr> </table>			取組状況	割合	期待以上	4.0%	期待通り	62.6%	足りない	26.2%	やり過ぎ	7.2%
取組状況	割合													
期待以上	4.0%													
期待通り	62.6%													
足りない	26.2%													
やり過ぎ	7.2%													

大分類	07 スポーツ	中分類	スポーツ環境の充実								
小分類	スポーツを支える人材育成、人材確保										
事業名 (所管部署)	12 スポーツ指導者育成事業 (文化スポーツ部 スポーツ課)										
事業概要	指導者の養成・確保と総合型地域スポーツクラブ指導者の育成、スポーツ推進委員の資質と指導力の向上を図り、市川市のスポーツ振興と競技力向上及び生涯スポーツ社会の実現を目標として、市川市公認スポーツ指導者育成講習会を開催した。										
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度								
	計画	同左	同左								
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○市川市公認スポーツ指導者養成講習会 ○(公財)日本体育協会公認スポーツリーダー養成講習会 ○(公財)日本体育協会公認ジュニアスポーツ指導員養成講習会※選択制 ○公認指導者スキルアップ研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ○市川市スポーツ推進委員研修会 ○市川市公認スポーツ指導者養成講習会 ○市川市公認スポーツ指導者スキルアップ研修会 ○(公財)日本体育協会公認スポーツリーダー養成講習会 ○(公財)日本体育協会公認ジュニアスポーツ指導員養成講習会※選択制 	<ul style="list-style-type: none"> ○市川市スポーツ推進委員研修会 ○市川市公認スポーツ指導者養成講習会 ○市川市公認スポーツ指導者スキルアップ研修会 ○(公財)日本体育協会公認スポーツリーダー養成講習会 ○(公財)日本体育協会公認ジュニアスポーツ指導員養成講習会※選択制 								
事業費	計画	1,993 千円	2,289 千円	2,183 千円							
	実績	1,636 千円	1,600 千円	1,724 千円							
数値目標等	市川市公認スポーツ指導者の認定者数 (年間)										
	計画	40 人	40 人	40 人							
実績	25 人	27 人	17 人								
達成状況等	■ 事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) C (4,960) 千円 / (6,465) 千円 = 76.7%										
	■ 数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) D (69 人) / (120 人) × 100 = 58 点										
	講習会の参加者が当初の見込みに到達しなかったことなどから、事業費および数値目標ともに計画を下回った。										
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 D <table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>期待通り</td> <td>足りない</td> <td>やり過ぎ</td> </tr> <tr> <td>0.9%</td> <td>38.3%</td> <td>54.8%</td> <td>6.0%</td> </tr> </table>			期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	0.9%	38.3%	54.8%	6.0%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ								
0.9%	38.3%	54.8%	6.0%								

大分類	08 子どもの教育	中分類	家庭・学校・地域の連携											
小分類	人とのつながりを大切にし、子どもの成長を支える地域の教育力の向上を目指す													
事業名 (所管部署)	13 コミュニティクラブ事業 (生涯学習部 青少年育成課)													
事業概要	人とのつながりを大切にし、子どもの成長を支える地域の教育力の向上を図るため、16 中学校区に設置された「コミュニティクラブ」において、「遊び」を通じた異年齢交流・世代間交流を図る事業を実施した。													
年度ごとの事業内容		26 年度	27 年度	28 年度										
	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○クラブ活動の支援 ・コミュニティクラブ推進会議 ・ボランティア研修会 ○コミュニティクラブの開催 (主な活動) ・グラウンドゴルフ ・和太鼓教室 ・よさこい教室 ・囲碁将棋教室 ・クラフト体験教室 ・科学実験教室 ・読み聞かせ ・キャンプ ・お化け屋敷 ・スケッチ大会 ・ふれあい広場 ・遊びの広場 	同左	同左										
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○計画通り事業を実施 ・活動回数総計 751 回 ・参加人数総計 子ども 25,278 人 大人 9,183 人 ボランティア 4,917 人 合計 39,378 人 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画通り事業を実施 ・活動回数総計 693 回 ・参加人数総計 子ども 24,020 人 大人 8,482 人 ボランティア 4,650 人 合計 37,152 人 	○計画通り事業を実施										
事業費	計画	7,176 千円	7,176 千円	7,176 千円										
	実績	6,712 千円	6,070 千円	6,308 千円										
数値目標等	コミュニティクラブ参加人数 (年間)													
	計画	40,000 人	40,500 人	41,000 人										
	実績	39,426 人	37,152 人	38,000 人										
達成状況等	■事業費比較 B	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) (19,090) 千円 / (21,528) 千円 = 88.7%												
	■数値目標等比較 A	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) (114,578 人) / (121,500 人) × 100 = 94 点												
市民意向調査結果	■事業の取組状況 A	<table border="1"> <caption>事業の取組状況調査結果</caption> <thead> <tr> <th>期待度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期待以上</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>76.4%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>16.7%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>2.9%</td> </tr> </tbody> </table>			期待度	割合	期待以上	4.0%	期待通り	76.4%	足りない	16.7%	やり過ぎ	2.9%
期待度	割合													
期待以上	4.0%													
期待通り	76.4%													
足りない	16.7%													
やり過ぎ	2.9%													

大分類	08 子どもの教育	中分類	家庭・学校・地域の連携									
小分類	家族の心のつながりを大切にし、心身の成長を育む家庭の教育力の充実を目指す											
事業名 (所管部署)	14 家庭教育学級運営事業 (生涯学習部 社会教育課)											
事業概要	子どもの健やかな成長のため、子育てについての諸問題を保護者が一年間計画的に学習し、家庭の役割の重要性について学習する機会を提供した。											
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度									
	<p>計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭教育学級の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の公立幼稚園、小・中学校、特別支援学校の保護者を対象とした家庭教育学級の運営 ○指導員派遣講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育指導員が講師を勤める指導員派遣講座を全学級で展開 	同左	同左									
	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画通り事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級 (62 学級) <ul style="list-style-type: none"> 開催数 345 回 参加者数 延 10,227 人 ・家庭教育振興大会 <ul style="list-style-type: none"> 開催日 H27.2.5 会場 グリーンスタジオ 参加者数 113 人 	<p>計画通り事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級 (62 学級) <ul style="list-style-type: none"> 開催数 347 回 参加者数 延 10,421 人 ・家庭教育振興大会 <ul style="list-style-type: none"> 開催日 H28.2.4 会場 グリーンスタジオ 参加者数 125 人 	<p>○計画通り事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級 ・家庭教育振興大会 <ul style="list-style-type: none"> 開催日 H29.2.2 会場 勤労福祉センター 									
事業費	計画	2,825 千円	3,164 千円	3,164 千円								
	実績	2,767 千円	2,948 千円	3,005 千円								
数値目標等	家庭教育学級参加者数 (年間)											
	計画	10,000 人	10,000 人	10,000 人								
	実績	10,227 人	10,421 人	10,000 人								
達成状況等	<p>■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計)</p> <p>A (8,720) 千円 / (9,153) 千円 = 95.3%</p>											
	<p>■数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計)</p> <p>A (30,648 人) / (30,000 人) × 100 = 102 点</p>											
市民意向調査結果	<p>■事業の取組状況</p> <p>A</p>	<table border="1"> <tr> <th>期待以上</th> <th>期待通り</th> <th>足りない</th> <th>やり過ぎ</th> </tr> <tr> <td>4.5%</td> <td>77.1%</td> <td>15.2%</td> <td>3.2%</td> </tr> </table>			期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	4.5%	77.1%	15.2%	3.2%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ									
4.5%	77.1%	15.2%	3.2%									

大分類	08 子どもの教育	中分類	家庭・学校・地域の連携									
小分類	人とのつながりを大切にし、子どもの成長を支える地域の教育力の向上を目指す											
事業名 (所管部署)	15 校内塾・まなびくらぶ事業 (学校教育部 指導課)											
事業概要	小中学生の学力向上を図るため、退職教員や大学生、地域人材などの「まなびサポーター」を活用し、算数・数学を中心とした基礎的・基本的な内容の学習機会を放課後及び長期休業中等に設けた。											
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度									
	計画	同左	同左									
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校 39 校、中学校 16 校全てに「まなびサポーター」を配置 ○算数・数学を中心とした基礎的・基本的な学習の場を放課後および長期休業中に設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校 39 校、中学校 16 校全てに「まなびサポーター」を配置 ○算数・数学を中心とした基礎的・基本的な学習の場を放課後および長期休業中に設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校 38 校、中学校 15 校、義務教育学校 1 校の全てに「まなびサポーター」を配置 ○算数・数学を中心とした基礎的・基本的な学習の場を放課後および長期休業中に設置 									
事業費	計画	9,911 千円	11,220 千円	13,090 千円								
	実績	8,639 千円	12,539 千円	14,000 千円								
数値目標等	「まなびくらぶに来て、わかった、できるようになったと感じています」と答える児童生徒の割合											
	計画	80%	90%	90%								
実績	83%	85%	90%									
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) A (35,178) 千円 / (34,221) 千円 = 102.8%											
	■数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) A (258%) / (260%) × 100 = 99 点											
市民意向調査結果	■事業の取組状況 A	<table border="1"> <tr> <th>期待以上</th> <th>期待通り</th> <th>足りない</th> <th>やり過ぎ</th> </tr> <tr> <td>8.8%</td> <td>70.1%</td> <td>18.8%</td> <td>2.2%</td> </tr> </table>			期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	8.8%	70.1%	18.8%	2.2%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ									
8.8%	70.1%	18.8%	2.2%									

大分類	08 子どもの教育	中分類	家庭・学校・地域の連携											
小分類	家庭・学校・地域のつながりを大切にし、市川の教育力の向上を目指す													
事業名 (所管部署)	16 学校支援実践講座事業 (生涯学習部 社会教育課)													
事業概要	学校に対する地域支援者の役割を市民に担っていただくため、「学校におけるいじめ問題」をテーマとした社会人向けの人権講座を行った。また、受講者には小・中学生との交流会に参加していただき、「学校におけるいじめ問題」について意見交換をした。													
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度											
	計画	同左	同左											
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人向け人権講座の実施 ・交流会の開設 	同左	同左											
事業費	計画	233 千円	240 千円	250 千円										
	実績	202 千円	208 千円	238 千円										
数値目標等	学校支援実践講座受講者数 (開設学級数)													
	計画	61 人 (30 学級)	70 人 (35 学級)	80 人 (40 学級)										
実績	60 人 (40 学級)	68 人 (43 学級)	80 人 (50 学級)											
達成状況等	■ 事業費比較 B	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) (648) 千円 / (723) 千円 = 89.6%												
	■ 数値目標等比較 A	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) (208 人) / (211 人) × 100 = 99 点												
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 B	<table border="1"> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>期待以上</td> <td>3.6%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>69.3%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>25.0%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>2.1%</td> </tr> </table>			取組状況	割合	期待以上	3.6%	期待通り	69.3%	足りない	25.0%	やり過ぎ	2.1%
取組状況	割合													
期待以上	3.6%													
期待通り	69.3%													
足りない	25.0%													
やり過ぎ	2.1%													

大分類	09 生涯学習	中分類	生涯を通じて学び続けられる学習環境の実現	
小分類	公民館を活用した地域の学習拠点づくり			
事業名 (所管部署)	17 公民館主催講座活動事業 (生涯学習部 社会教育課)			
事業概要	公民館を活用した地域の学習拠点づくりのため、健康・子育て支援・環境問題・国際化等の現代的課題や生活課題を意識した主催講座を実施した。また、受講者が学んだ成果を活用できるよう、サークル活動や地域活動への参加を支援した。併せて、パソコン等を持ち寄って行う学習の環境を整えるため、公衆無線 LAN 環境の整備を進めた。			
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度	
	計画 ○公民館主催講座の実施 ○公衆無線 LAN 環境整備 ・6 館 (全館整備完了)	○公民館主催講座の実施	同左	
実績	○公民館主催講座、文化祭などの実施 延べ ・中央 69回 2,571人 ・鬼高 80回 2,672人 ・信篤 62回 5,571人 ・東部 195回 5,811人 ・柏井 60回 2,005人 ・大野 82回 2,919人 ・若宮 80回 3,773人 ・市川 104回 6,235人 ・西部 171回 4,352人 ・市川駅南 129回 3,040人 ・曾谷 137回 5,995人 ・行徳 122回 6,381人 ・本行徳 62回 1,877人 ・幸 59回 2,161人 ・南行徳 96回 2,974人 ・菅野 52回 1,280人	○公民館主催講座、文化祭などの実施 延べ ・中央 64回 2,320人 ・鬼高 65回 2,678人 ・信篤 66回 5,459人 ・東部 202回 5,457人 ・柏井 75回 2,309人 ・大野 87回 3,106人 ・若宮 46回 2,696人 ・市川 58回 4,566人 ・西部 168回 4,145人 ・市川駅南 136回 3,826人 ・曾谷 90回 5,267人 ・行徳 71回 6,462人 ・本行徳 61回 1,829人 ・幸 60回 2,050人 ・南行徳 106回 4,235人 ・菅野 70回 2,089人	○公民館主催講座、文化祭などの実施	
事業費	計画	10,767 千円	10,767 千円	10,767 千円
	実績	10,263 千円	9,418 千円	8,689 千円
数値目標等	開催講座数 (年間)			
	計画	305 講座	305 講座	305 講座
実績	300 講座	292 講座	300 講座	
達成状況等	■事業費比較 B	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) (28,370) 千円 / (32,301) 千円 = 87.8%		
	■数値目標等比較 A	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) (892 講座) / (915 講座) × 100 = 97 点		
市民意向調査結果	■事業の取組状況 A	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>		

大分類	09 生涯学習	中分類	生涯を通じて学び続けられる学習環境の実現
小分類	生涯学習機会の充実		
事業名 (所管部署)	18 いちかわ市民アカデミー講座事業 (生涯学習部 社会教育課)		
事業概要	恵まれた学習環境の中で新しい知識を身につけ、広く仲間づくりを図るとともに、学習の成果を地域活動で役立てていただくため、市内3大学で市民を対象とした講座を実施した。(昭和学院短期大学、千葉商科大学、和洋女子大学)		
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度
	計画	同左	同左
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○アカデミー講座の開催 ・昭和学院短期大学、和洋女子大学、千葉商科大学 ・各大学10講座 ・受講者数 延2,100人 	<ul style="list-style-type: none"> ○アカデミー講座の開催 ・年間テーマに沿った市民向け講座を開講 ・昭和学院短期大学、和洋女子大学、千葉商科大学 ・各大学10講座 ・受講者数 延1,583人 	<ul style="list-style-type: none"> ○アカデミー講座の開催 ・年間テーマに沿った市民向け講座を開講 ・昭和学院短期大学、和洋女子大学、千葉商科大学
事業費	計画	922千円	922千円
	実績	920千円	912千円
数値目標等	講座参加率(年間) 講座参加者数(延べ) / (定員70人×10講座×3校)		
	計画	74%	75%
実績	61%	75%	76%
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (2,744)千円 / (2,766)千円 = 99.2%		
	■数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) A (212%) / (225%) × 100 = 94点		
市民意向調査結果	■事業の取組状況 A		

大分類	10 雇用・労働	中分類	就労の支援											
小分類	就労機会の充実													
事業名 (所管部署)	19 雇用促進事業 (経済部 商工振興課 雇用労政担当室)													
事業概要	高齢者等の雇用機会の拡大を図るため、市内在住の高年齢者、障害者、母子家庭の母等を公共職業安定所の紹介等で常用雇用した事業主に対し、雇用促進奨励金を交付した。なお、国の高年齢者雇用確保措置の法整備に伴い、高年齢者に対する雇用促進奨励金を、平成27年2月末日までの雇用をもって廃止した。また、障害者の就職促進を図るため、市内在住の障害者を公共職業安定所の斡旋により受け入れ、職場実習を実施した事業主に対し、障害者職場実習奨励金を交付した。併せて、平成27年度よりトライアル雇用奨励金を創設し、公共職業安定所の紹介により、トライアル雇用した方を引き続き常用雇用した場合、事業主に対し奨励金を交付した。													
年度ごとの事業内容	計画	26年度 ○雇用促進奨励金 ・高年齢者 ・障害者 ・母子家庭の母等・重度障害者 ○障害者職場実習奨励金	27年度 同左	28年度 同左										
	実績	○雇用促進奨励金 ・高年齢者 ・障害者 ・母子家庭の母等 ・重度障害者 交付事業所 147 事業所 交付人数 287 人 交付月数 1,678 月 交付金額 34,640 千円 ○障害者職場実習奨励金 交付事業所 70 事業所 交付人数 105 人 交付金額 2,100 千円	○雇用促進奨励金 ・高年齢者(経過措置) ・障害者 ・母子家庭の母等 ・重度障害者 交付事業所 111 事業所 交付人数 168 人 交付月数 982 月 交付金額 20,450 千円 ○障害者職場実習奨励金 交付事業所 89 事業所 交付人数 114 人 交付金額 2,280 千円 ○トライアル雇用奨励金 交付事業所 3 事業所 交付人数 3 人 交付金額 360 千円	○雇用促進奨励金 ・高年齢者(経過措置) ・障害者 ・母子家庭の母等 ・重度障害者 ○障害者職場実習奨励金 ○トライアル雇用奨励金										
事業費	計画	20,904 千円	20,904 千円	20,904 千円										
	実績	36,884 千円	23,165 千円	20,717 千円										
数値目標等	就職者数 (年間・延べ)													
	計画	120 人	120 人	120 人										
実績	143 人	92 人	60 人											
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (80,766) 千円 / (62,712) 千円 = 128.8%													
	■数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) B (295 人) / (360 人) × 100 = 82 点													
	高齢者や障害者の雇用が進み、結果として雇用者に支払われる雇用促進奨励金の申請件数が当初の見込みを超えたことにより、事業費が計画を上回った。													
市民意向調査結果	■事業の取組状況 D													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期待以上</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>55.5%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>38.6%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>4.1%</td> </tr> </tbody> </table>					取組状況	割合	期待以上	1.7%	期待通り	55.5%	足りない	38.6%	やり過ぎ	4.1%
取組状況	割合													
期待以上	1.7%													
期待通り	55.5%													
足りない	38.6%													
やり過ぎ	4.1%													

大分類	10 雇用・労働	中分類	就労の支援									
小分類	就労機会の充実											
事業名 (所管部署)	20 シルバー人材センター事業 (福祉部 地域支えあい課)											
事業概要	高齢者の社会参加と生きがい対策の充実を図るため、健康で働く意欲のある高齢者が知識・経験・技能を活かして働くことができる場を提供している「シルバー人材センター」に対して支援を行った。											
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度									
	計画	27 年度 同左	28 年度 同左									
実績	○計画通り事業を実施	○計画通り事業を実施	○計画通り事業を実施									
事業費	計画	20,000 千円	20,000 千円	20,000 千円								
	実績	20,150 千円	20,150 千円	20,150 千円								
数値目標等	シルバー人材センターを通じて働いた高齢者数 (年間・延べ)											
	計画	191,000 人	193,000 人	193,000 人								
実績	191,657 人	178,403 人	193,000 人									
達成状況等	■事業費比較 A	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) (60,450) 千円 / (60,000) 千円 = 100.8%										
	■数値目標等比較 A	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) (563,060 人) / (577,000 人) × 100 = 98 点										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B	<table border="1"> <tr> <th>期待以上</th> <th>期待通り</th> <th>足りない</th> <th>やり過ぎ</th> </tr> <tr> <td>7.0%</td> <td>68.5%</td> <td>22.0%</td> <td>2.5%</td> </tr> </table>			期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	7.0%	68.5%	22.0%	2.5%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ									
7.0%	68.5%	22.0%	2.5%									

大分類	11 消費生活	中分類	消費者被害の救済
小分類	相談体制の充実		
事業名 (所管部署)	21 消費生活センター相談及び啓発事業 (市民部 総合市民相談課)		
事業概要	消費者被害の相談体制の充実を図るため、消費生活専門相談員による相談を実施するとともに、国の「多重債務問題改善プログラム」に基づき、弁護士による相談を実施した。 また、消費者意識の向上を図るため、消費者被害を未然に防止するための啓発事業を実施した。		
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度
	計画	同左	同左
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○消費生活に関する相談 ○多重債務に関する相談 ○消費生活講座及び出前消費者講座の実施 ○広報等による消費者被害防止に関する情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○消費生活センター(行徳支所含む) 苦情 2,839件 問い合わせ 229件 相談件数計 3,068件 ○弁護士による多重債務専門の法律相談件数 相談日数 27日 相談件数 69件 ○消費生活講座 回数 7回 受講者数 196人 ○出前消費者講座 回数 11回 受講者数 1,106人 ○市川市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定 	<ul style="list-style-type: none"> ○消費生活センター(行徳支所含む)・消費生活に関する相談 ○弁護士による多重債務専門の法律相談 ○消費生活講座 ○出前消費者講座
事業費	計画	14,801千円	14,930千円
	実績	14,327千円	17,037千円
数値目標等	専門相談員配置人数(年度当初)		
	計画	6人	6人
実績	6人	6人	
達成状況等	■事業費比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) (50,254)千円 / (44,661)千円 = 112.5%	
	■数値目標等比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) (18人) / (18人) × 100 = 100点	
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B	<p>期待以上 4.8% 期待通り 72.6% 足りない 18.5% やり過ぎ 4.0%</p>	

大分類	12 人権・男女共同参画	中分類	人権尊重社会の実現	
小分類	相談・救済・支援体制の充実			
事業名 (所管部署)	22 市川市DV対策事業 (総務部 男女共同参画課)			
事業概要	第二次DV防止実施計画を進めるとともに、DV根絶に向け相談・救済・支援体制の充実を図るため、女性相談員を確保しDV被害者に対するきめ細かな支援を行った。			
年度ごとの事業内容	計画	26 年度 ・第二次DV防止実施計画の進捗状況の確認及び評価 ・女性相談員(婦人相談員)の配置 ・配偶者暴力相談支援センター機能の強化 等	27 年度 同左	28 年度 同左
	実績	○計画通り事業を実施 ・DV・一般相談 相談日数 331 日 件数 2,691 件 家族関係 877 件 対人関係 193 件 生活関係 444 件 医療関係 63 件 法律関係 428 件 その他 1,440 件 ・法律相談 相談日数 50 日 件数 196 件 家族関係 225 件 不動産関係 15 件 相隣関係 4 件 取引関係 6 件 事故賠償 6 件 その他 13 件 ・市川市家庭等における暴力対策ネットワーク会議 2 回開催	○計画通り事業を実施 ・DV・一般相談 相談日数 330 日 件数 1,884 件 家族関係 983 件 対人関係 213 件 生活関係 515 件 医療関係 144 件 法律関係 201 件 その他 1,423 件 ・法律相談 相談日数 48 日 件数 133 件 家族関係 170 件 不動産関係 9 件 相隣関係 1 件 取引関係 5 件 事故賠償 3 件 その他 5 件 ・市川市家庭等における暴力対策ネットワーク会議 2 回開催	○計画通り事業を実施 ・DV・一般相談 ・法律相談 ・市川市家庭等における暴力対策ネットワーク会議
事業費	計画	14,122 千円	11,937 千円	11,937 千円
	実績	13,464 千円	11,512 千円	12,881 千円
数値目標等	女性相談員の数(年間・実人数)			
	計画	5 人	5 人	5 人
	実績	5 人	5 人	5 人
達成状況等	■事業費比較 A	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) (37,857) 千円 / (37,996) 千円 = 99.6%		
	■数値目標等比較 A	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) (15 人) / (15 人) × 100 = 100 点		
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B	<p>4.8% 72.2% 20.9% 2.1%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>		

大分類	12 人権・男女共同参画	中分類	男女共同参画社会の実現	
小分類	男女共同参画の意識づくりと教育の推進			
事業名 (所管部署)	23 男女共同参画センター講座事業 (総務部 男女共同参画課)			
事業概要	ワーク・ライフ・バランスの推進をはじめ、男女共同参画の意識づくりと教育の推進のため、男女共同参画に関する正しい知識や理解を深める講座や講演会等を実施した。			
年度ごとの事業内容	計画	26 年度 ○講座・講演会 ・ワーク・ライフ・バランスセミナー ・女性起業塾 ・男性の料理教室等	27 年度 ○講座・講演会 ・ワーク・ライフ・バランスセミナー ・就労支援講座 ・男性の料理教室等	28 年度 同左
	実績	○講座・講演会 参加者 ・女性向け社会復帰支援セミナー 47 人 ・ウイズ・カレッジ' 14 66 人 ・婚活支援セミナー 62 人 ・女性・高齢者再デビュー推進フォーラム 58 人 ・就労支援講座 17 人 ・女性起業塾 126 人 ・Ichikawa ワタシの夢起業塾 11 人 ・WLB 検定&バルーンアート体験 100 人 ・親子 DE クッキング 16 人 ・男性の料理教室 79 人 ・女性のための情報&アートスペースベルメイ 7 人 ・Ichikawa 女性起業家交流会 26 人 ・女性起業チャレンジフェスタ in いちかわ 160 人 ・親子 DE 多文化交流 20 人 ・防災セミナー 52 人 ・相手の心に響く印象力を「表現する力」を身に着けるセミナー 82 人 ・いち☆カフェ@ウイズ 64 人 合計 993 人	○講座・講演会 参加者 ・ウイズ・カレッジ' 15 16 人 ・親子 DE クッキング 19 人 ・男性の料理教室 149 人 ・就労支援セミナー 41 人 ・Web 活用セミナー 72 人 ・婚活支援セミナー 42 人 ・ワーク・ライフ・バランスセミナー 160 人 ・多文化ファミリー交流会 10 人 ・DV 防止講座 24 人 ・ハッピーライフ&キャリアフェスタ 40 人 ・市川女性の集い 150 人 ・女性のための情報&アートスペースベルメイ 51 人 ・いち☆カフェ@ウイズ 53 人 ・公開講座「介護保険制度改正と市民参加の意義」 54 人 ・公開講座「人生 100 年時代の生活設計」 73 人 ・セクシャルマイノリティに関する講演会 27 人 合計 981 人	○計画通り事業を実施
事業費	計画	1,216 千円	1,216 千円	1,216 千円
	実績	1,178 千円	2,064 千円	2,087 千円
数値目標等	ワーク・ライフ・バランスセミナー参加者数 (年間・延べ)			
	計画	50 人	50 人	50 人
実績	100 人	160 人	400 人	
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) A (5,329) 千円 / (3,648) 千円 = 146.1%			
	■数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) A (660 人) / (150 人) × 100 = 440 点			
平成 27 年度より、ワーク・ライフ・バランスセミナーの開催規模を拡大したことにより、事業費および数値目標ともに計画を上回った。				
市民意向調査結果	■事業の取組状況 A			<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>

大分類	13 平和	中分類	平和意識の高揚	
小分類	平和啓発活動の推進			
事業名 (所管部署)	24 平和啓発事業 (総務部 総務課)			
事業概要	「核兵器廃絶平和都市宣言」の主旨に則り、平和意識を広く市民に浸透させる事業を展開した。			
年度ごとの 事業内容	計画	26 年度 ○周年事業 ・平和展 ・平和講演会 ○例年事業 ・平和の折り鶴募集 ・平和の折り鶴展 ・原爆投下日、終戦記念日等における啓発 ・平和啓発パネル展 ・平和寄席 ・平和ポスター展 ・平和カレンダーの作成、配布 ・平和映画会 ・被爆体験講話語り部派遣（市内各所）	27 年度 ○周年事業 ・青少年長崎派遣 ○例年事業 ・平和の折り鶴募集 ・平和の折り鶴展 ・原爆投下日、終戦記念日等における啓発 ・平和啓発パネル展 ・平和寄席 ・平和ポスター展 ・平和カレンダーの作成、配布 ・平和映画会 ・被爆体験講話語り部派遣（市内各所）	28 年度 ○例年事業 ・平和の折り鶴募集 ・平和の折り鶴展 ・原爆投下日、終戦記念日等における啓発 ・平和啓発パネル展 ・平和寄席 ・平和ポスター展 ・平和カレンダーの作成、配布 ・平和映画会 ・被爆体験講話語り部派遣（市内各所）
	実績	○核兵器廃絶平和都市宣言 30 周年事業 ・パネル展・被爆体験講話 ・その他計画通り実施 ○例年事業 ・計画通り実施	○終戦 70 周年事業 ・被爆体験講話 DVD 制作 ・その他計画通り実施 ○例年事業 ・計画通り実施	○計画通り事業を実施
	事業費	計画 5,761 千円 実績 5,337 千円	計画 5,399 千円 実績 5,534 千円	計画 2,300 千円 実績 2,487 千円
数値目標等	平和啓発事業の参加人数(年間・延べ)			
	計画	2,500 人	2,000 人	2,000 人
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) A (13,358) 千円 / (13,460) 千円 = 99.2%			
	■数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) A (12,096 人) / (6,500 人) × 100 = 186 点			
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B			

基本目標2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち

大分類	14 芸術・文化	中分類	豊かな心を育む文化活動の支援	
小分類	芸術・文化事業の振興と文化施設の整備・充実			
事業名 (所管部署)	25「市川の文化人展」等事業 (文化スポーツ部 文化振興課)			
事業概要	芸術・文化事業の振興を図るため、市にゆかりのある文化人や芸術家の功績を顕彰し、広く紹介する「市川の文化人展」等を市民の意見を取り入れて開催した。			
年度ごとの事業内容	計画	26 年度 ○「市川の文化人展」等の実施 ○文化人展選定懇話会の実施	27 年度 同左	28 年度 同左
	実績	○「市川の文化人展」等の実施 ・第 16 回市川の文化人展 「中山忠彦展」 来場者数 2,292 人 ・市川市収蔵作品展 「工芸と書に親しむ」 来場者数 863 人 合計 3,155 人	○「市川の文化人展」等の実施 ・第 17 回市川の文化人展 「市川の匠展－伝統工芸の世界」 来場者数 1,800 人 ・戦後 70 年特別企画 「伊東深水と永井荷風」 来場者数 2,602 人 合計 4,402 人	○「市川の文化人展」等の実施 ・市川の文化人展 ・市川市収蔵作品展
事業費	計画	4,069 千円	4,069 千円	4,069 千円
	実績	3,874 千円	3,747 千円	3,733 千円
数値目標等	「市川の文化人展」等来場者数 (年間・延べ)			
	計画	3,000 人	3,000 人	3,000 人
実績	3,155 人	4,402 人	3,000 人	
達成状況等	■事業費比較 A	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) (11,354) 千円 / (12,207) 千円 = 93.0%		
	■数値目標等比較 A	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) (10,557 人) / (9,000 人) × 100 = 117 点		
市民意向調査結果	■事業の取組状況 A	<p>6.2% 77.5% 8.9% 7.3%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>		

大分類	14 芸術・文化	中分類	豊かな心を育む文化活動の支援		
小分類	芸術・文化事業の振興と文化施設の整備・充実				
事業名 (所管部署)	26 市民会館建替事業 (文化スポーツ部 文化振興課)				
事業概要	施設の老朽化が進んでいるため、市民会館を建て替え、芸術の鑑賞などの文化政策面の機能の充実を図るとともに、市民の交流やにぎわいの創出の場として整備した。				
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度		
	計画	○基本設計 ○実施設計 ○市民会館解体工事	○市民会館新築工事 (～28 年度)	○市民会館新築工事 (28 年 11 月開館予定)	
実績	○基本設計 ○実施設計 ○市民会館解体工事	○市民会館新築工事 ・建替杭工事 ・建替工事 ・建替電気設備工事 ・建替機械設備工事 ・建替舞台照明及び音響設備工事 ・建替貯留浸透槽設置工事 ・建替ガス設備工事	○市民会館新築工事 (29 年 3 月開館予定)		
事業費	計画	236,459 千円	600,000 千円	1,000,000 千円	
	実績	225,097 千円	574,408 千円	1,025,592 千円	
数値目標等	各年度の事業内容の達成率 (年度末)				
	計画	100.0%	100.0%	100.0%	
実績	100.0%	98.6%	101.4%		
達成状況等	■ 事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) A (1,825,097) 千円 / (1,836,459) 千円 = 99.4%				
	■ 数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) A (300%) / (300%) × 100 = 100 点				
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 A				
<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□ 期待以上 □ 期待通り ■ 足りない ■ やり過ぎ</p>					

大分類	15 文化的資産	中分類	地域を彩る文化的資産の保全・活用										
小分類	文化的資産の保全・継承・活用とそのための人材育成												
事業名 (所管部署)	27 東山魁夷記念館管理運営事業 (文化スポーツ部 東山魁夷記念館)												
事業概要	芸術文化に関する市民の意識の向上を図るため、東山魁夷画伯に関する作品その他資料の収集・調査研究を行うとともに、展覧会を開催し、その業績を顕彰しました。また、記念館コンサートやワークショップ等を開催した。												
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度										
	計画	26 年度 ○通常展及び特別展の開催 ○記念館コンサート及びワークショップの開催 ○市民向けの講座等の開催	27 年度 ○通常展及び開館 10 周年記念特別展の開催 ○記念館コンサート及びワークショップの開催 ○開館 10 周年記念特別講演会等の開催	28 年度 ○通常展及び特別展の開催 ○記念館コンサート及びワークショップの開催 ○市民向けの講座等の開催									
実績	○展覧会関係 ・通常展 (6 回) 観覧者数 16,553 人 ・特別展 (1 回) 観覧者数 4,968 人 ○ワークショップ (3 回) 参加者 延 72 人 ○コンサート (1 回) 入場者数 延 124 人	○展覧会関係 ・通常展 (1 回) 観覧者数 3,812 人 ・開館 10 周年記念展 (5 回) 観覧者数 16,358 人 ・開館 10 周年記念特別展 (1 回) 観覧者数 4,703 人 ○ワークショップ (3 回) 参加者 延 73 人 ○コンサート (2 回) 入場者数 延 237 人	○展覧会関係 ・通常展 ・特別展 ○ワークショップ ○コンサート										
事業費	計画	81,752 千円	89,028 千円	81,752 千円									
	実績	76,985 千円	86,251 千円	79,014 千円									
数値目標等	観覧者数												
	計画	30,000 人	33,000 人	30,000 人									
実績	21,521 人	24,873 人	24,060 人										
達成状況等	■ 事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) A (242,250) 千円 / (252,532) 千円 = 95.9%												
	■ 数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) C (70,454) / (93,000) × 100 = 76 点												
施設の修繕や展覧会スケジュールの変更などにより開館日数が少なくなったことなどから、当初計画した観覧者数が計画を下回った。													
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 D												
<table border="1"> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>期待以上</td> <td>2.7%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>49.6%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>28.2%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>19.5%</td> </tr> </table>				取組状況	割合	期待以上	2.7%	期待通り	49.6%	足りない	28.2%	やり過ぎ	19.5%
取組状況	割合												
期待以上	2.7%												
期待通り	49.6%												
足りない	28.2%												
やり過ぎ	19.5%												

大分類	16 文化の創造	中分類	新たな「まちの文化」の構築	
小分類	市民納涼花火大会、市民まつりなどの継続と発展			
事業名 (所管部署)	28 花火大会運営費負担事業 (経済部 観光交流推進課)			
事業概要	新たな「まちの文化」を構築し、市民意識の高揚及び地域経済の活性化を図るため、市民納涼花火大会を主催する市川市民納涼花火大会実行委員会に対し負担金を拠出した。			
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度	
	計画	同左	同左	
実績	・実行委員会に対する負担金の拠出 ○計画通り事業を実施 ・市川市民納涼花火大会 日 時 H26. 8. 2 19:15～20:30 会 場 大洲3丁目地先 江戸川河川敷 打上数 14,000 発	○計画通り事業を実施 ・市川市民納涼花火大会 日 時 H27. 8. 1 19:15～20:30 会 場 大洲3丁目地先 江戸川河川敷 打上数 14,000 発	○計画通り事業を実施 ・市川市民納涼花火大会 日 時 H28. 8. 6 19:15～20:30 会 場 大洲3丁目地先 江戸川河川敷 打上数 14,000 発	
事業費	計画	36,000 千円	35,000 千円	35,000 千円
	実績	36,000 千円	35,000 千円	35,000 千円
数値目標等	花火大会観覧者数（当該年度・延べ）			
	計画	49 万人	49 万人	49 万人
実績	49 万人	49 万人	49 万人	
達成状況等	■事業費比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) (106,000) 千円 / (106,000) 千円 = 100%		
	■数値目標等比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) (147 万人) / (147 万人) × 100 = 100 点		
市民意向調査結果	■事業の取組状況 A	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>		

大分類	16 文化の創造	中分類	新たな「まちの文化」の構築									
小分類	市民納涼花火大会、市民まつりなどの継続と発展											
事業名 (所管部署)	29 市民まつり運営費負担事業 (経済部 観光交流推進課)											
事業概要	新たな「まちの文化」を構築し、市民意識の高揚及び地域経済の活性化を図るため、いちかわ市民まつりを主催するいちかわ市民まつり実行委員会に対し負担金を拠出した。											
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度									
	計画	同左	同左									
実績	・実行委員会に対する負担金の拠出 ○計画通り事業を実施 ・いちかわ市民まつり 日時 H27. 11. 1 10:00~16:00 会場 大洲防災公園	○計画通り事業を実施 ・いちかわ市民まつり 日時 H27. 11. 7 10:00~16:00 会場 大洲防災公園	○計画通り事業を実施 ・いちかわ市民まつり 日時 H28. 11. 3 10:00~16:00 会場 大洲防災公園									
事業費	計画	3,200 千円	3,200 千円	3,200 千円								
	実績	3,200 千円	3,200 千円	3,200 千円								
数値目標等	市民まつり来場者数 (当該年度・延べ)											
	計画	3 万人	3 万人	3 万人								
実績	2 万人	3 万人	3 万人									
達成状況等	■ 事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) A (9,600) 千円 / (9,600) 千円 = 100%											
	■ 数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) B (8 万人) / (9 万人) × 100 = 89 点											
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 B	<table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>5.1%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>72.0%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>15.7%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>7.2%</td> </tr> </table>			期待以上	5.1%	期待通り	72.0%	足りない	15.7%	やり過ぎ	7.2%
期待以上	5.1%											
期待通り	72.0%											
足りない	15.7%											
やり過ぎ	7.2%											

大分類	16 文化の創造	中分類	新たな文化的資源の創出と情報発信								
小分類	PRの積極的展開										
事業名 (所管部署)	30 シティセールス事業 (いちかわ観光・物産案内所運営事業) (経済部 観光交流推進課)										
事業概要	観光資源 PR の積極的展開を図るため、「文化的・歴史的資産」や「伝統行事」、「特産物」など、本市の魅力を市内外に広く紹介した。あわせて、シティセールスをさらに推進する事業を検討し、実施した。										
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度								
	計画	同左	同左								
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・観光スポットや催し物等の紹介 ・物産品の販売 ・観光ガイド希望者へのガイドの仲介 ・公共施設におけるロケ地等の情報の提供 ・民間施設でのロケ地等の情報の収集 ・新規のシティセールス事業の検討 ・施設の管理 	同左	同左								
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○いちかわ観光・物産案内所 開所日数 347 日 来所人数 13,397 人 ・千葉県指定伝統的工芸品の展示・販売 ・市川市観光協会グッズの販売 ・千葉県マスコットキャラクター「チーバくんグッズ」の販売 ・市川地域ブランド協議会による商品の紹介・販売 	<ul style="list-style-type: none"> ○いちかわ観光・物産案内所 開所日数 348 日 来所人数 14,563 人 ・千葉県指定伝統的工芸品の展示・販売 ・市川市観光協会グッズの販売 ・千葉県マスコットキャラクター「チーバくんグッズ」の販売 ・市川地域ブランド協議会による商品の紹介・販売 	<ul style="list-style-type: none"> ○いちかわ観光・物産案内所 ・千葉県指定伝統的工芸品の展示・販売 ・市川市観光協会グッズの販売 ・千葉県マスコットキャラクター「チーバくんグッズ」の販売 ・市川地域ブランド協議会による商品の紹介・販売 								
事業費	計画	3,660 千円	9,460 千円	5,280 千円							
	実績	3,533 千円	3,894 千円	3,634 千円							
数値目標等	市内観光客数										
	計画	340 万人	340 万人	340 万人							
実績	344 万人	343 万人	340 万人								
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) D (11,061) 千円 / (18,400) 千円 = 60.1%										
	■数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) A (1,027 万人) / (1,020 万人) × 100 = 101 点										
	新規のシティセールス事業について、実施内容を精査したことにより、事業費が計画を下回った。										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 <table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>期待通り</td> <td>足りない</td> <td>やり過ぎ</td> </tr> <tr> <td>4.8%</td> <td>62.5%</td> <td>28.0%</td> <td>4.7%</td> </tr> </table>			期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	4.8%	62.5%	28.0%	4.7%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ								
4.8%	62.5%	28.0%	4.7%								

基本目標3 安全で快適な魅力あるまち

大分類	17 危機管理・消防	中分類	危機管理体制の強化								
小分類	総合的な減災対策の推進										
事業名 (所管部署)	31 防災用品備蓄事業 (危機管理室 地域防災課)										
事業概要	防災体制の基本となる自助・共助の取り組みを支援し、効率的・効果的な災害対応を可能とするため、公助としての計画的な食料、医薬品等の備蓄を行った。										
年度ごとの事業内容	計画	26 年度 ・医薬品 ・オストメイト(尿) ・オストメイト(便) ・洗浄クリーム ・汚物処理袋	27 年度 ・医薬品 ・サバイバルフーズ ・おかゆ ・粉ミルク ・哺乳瓶 ・レスキューシート ・汚物処理袋	28 年度 ・医薬品 ・サバイバルフーズ ・おかゆ ・粉ミルク ・哺乳瓶 ・飲料水 ・レスキューシート ・汚物処理袋							
	実績	○購入実績 (主なもの) ・浄水器用備蓄品 (塩素) 78 本 ・備蓄医薬品 縫合セット (10 組入) 30 箱 処置セット D (20 組入) 30 箱 酒精綿 (64 枚入) 60 個 ・長期保存非常食 (アルファ米) 3,000 食 ・粉ミルク用飲料水 (500ml) 1,320 本 ○備蓄内容 (年度末) ・長期保存用クラッカー 166,880 食 ・アルファ米 27,950 食 合計 194,830 食	○購入実績 (主なもの) ・長期保存非常食 (アルファ米) 12,350 食 ・長期保存非常食 (長期保存用クラッカー) 2,880 食 ・備蓄用粉ミルク (キューブタイプ粉ミルク) 132 箱 ・災害救助用毛布 (真空パックフリース毛布) 1,000 枚 ・災害用備蓄医療品 (ヒポジン消毒液 10%ほか) 30 セット ○備蓄内容 (年度末) ・長期保存用クラッカー 133,092 食 ・アルファ米 40,750 食 合計 173,842 食	・医薬品 ・サバイバルフーズ ・粉ミルク ・哺乳瓶 ・飲料水 ・レスキューシート ・汚物処理袋							
事業費	計画	2,800 千円	21,520 千円	22,690 千円							
	実績	2,793 千円	9,959 千円	10,000 千円							
数値目標等	市全体のサバイバルフーズの備蓄量 (年度末)										
	計画	3 食/人以上	3 食/人以上	3 食/人以上							
実績	3 食/人以上	3 食/人以上	3 食/人以上								
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) D (22,752) 千円 / (47,010) 千円 = 48.4%										
	■数値目標等比較 (28 年度末の実績見込み) / (28 年度末の計画) A (3 食) / (3 食) × 100 = 100 点										
	備蓄スペース等を考慮し、購入する備蓄品について精査した結果、事業費が計画を下回った。										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 C										
<table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>55.9%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>37.6%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>0.6%</td> </tr> </table>				期待以上	5.8%	期待通り	55.9%	足りない	37.6%	やり過ぎ	0.6%
期待以上	5.8%										
期待通り	55.9%										
足りない	37.6%										
やり過ぎ	0.6%										

大分類	17 危機管理・消防	中分類	危機管理体制の強化								
小分類	自助・共助を基本とした地域防災力の向上										
事業名 (所管部署)	32 地域防災力強化事業 (危機管理室 地域防災課)										
事業概要	<p>災害発生時における地域住民の自助・共助の意識の向上を図るため、自主防災組織へ防災用品等の購入費用の一部を補助した。</p> <p>また、災害時において有効な防災体制である小学校区防災拠点を整備するため、地域住民、関係団体等で組織する「小学校区防災拠点協議会」の設立を呼びかけ、その活動を支援した。</p>										
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度								
	計画	同左	同左								
実績	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の実施 防災講演会の実施 総合防災訓練の実施 自主防災組織の防災機器材の購入費への補助 自治会が実施する防災訓練、震災防災対策の経費への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の実施 防災講演会の実施 総合防災訓練の実施 自主防災組織の防災資器材の購入費への補助 自治会が実施する防災訓練、震災防災対策の経費への補助 小学校区防災拠点協議会の設立推進、活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の実施 防災講演会の実施 総合防災訓練の実施 自主防災組織の防災資器材の購入費への補助 自治会が実施する防災訓練、震災防災対策の経費への補助 小学校区防災拠点協議会の設立推進、活動支援 								
事業費	計画	8,305 千円	8,305 千円	8,305 千円							
	実績	7,347 千円	5,920 千円	7,337 千円							
数値目標等	小学校区防災拠点協議会の設立数 (年度末)										
	計画	10 組織	17 組織	24 組織							
実績	18 組織	25 組織	31 組織								
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) B (20,604) 千円 / (24,915) 千円 = 82.7%										
	■数値目標等比較 (28年度末の実績見込み) / (28年度末の計画) A (31 組織) / (24 組織) × 100 = 129 点										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 C <table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>期待通り</td> <td>足りない</td> <td>やり過ぎ</td> </tr> <tr> <td>5.0%</td> <td>59.8%</td> <td>35.2%</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>			期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	5.0%	59.8%	35.2%	0.0%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ								
5.0%	59.8%	35.2%	0.0%								

大分類	18 治水	中分類	水害のないまち								
小分類	河川改修										
事業名 (所管部署)	33 都市基盤河川改修事業 (水と緑の部 河川・下水道整備課)										
事業概要	河川改修を推進し、浸水被害の解消を図るため、一級河川大柏川の浜道橋から鎌ヶ谷市境までの 1,621m の区間について、真間川流域整備計画に基づき河道の拡幅整備を行った。										
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度								
	計画	26 年度 ○南山下橋仮設道路整備工事 ○管理用通路整備工事	27 年度 ○南山下橋下部工及び護岸工事	28 年度 ○南山下橋上部工							
実績	26 年度 ○南山下橋仮設道路整備工事 (~27 年度) ○管理用通路整備工事 ・渡戸橋取付道路補修工事 ・大柏川管理用通路整備工事	27 年度 ○南山下橋下部工及び護岸工事 (~28 年度) ・南山下橋仮設道路整備工事 ・南山下橋下部工整備工事	28 年度 ○南山下橋下部工及び護岸工事 ○南山下橋上部工								
事業費	計画	144,000 千円	144,000 千円	99,000 千円							
	実績	91,016 千円	104,211 千円	175,660 千円							
数値目標等	都市基盤河川改修進捗率 (年度末)										
	計画	92.3%	96.0%	96.0%							
実績	92.3%	92.3%	96.0%								
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) A (370,887) 千円 / (387,000) 千円 = 95.8%										
	■数値目標等比較 (28 年度末の実績見込み) / (28 年度末の計画) A (96.0%) / (96.0%) × 100 = 100 点										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 A										
<table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>74.6%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>18.7%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>0.9%</td> </tr> </table>				期待以上	5.8%	期待通り	74.6%	足りない	18.7%	やり過ぎ	0.9%
期待以上	5.8%										
期待通り	74.6%										
足りない	18.7%										
やり過ぎ	0.9%										

大分類	18 治水	中分類	水害のないまち								
小分類	雨水排除、雨水排水施設の整備										
事業名 (所管部署)	34 排水路整備事業 (水と緑の部 河川・下水道整備課)										
事業概要	市内に点在する浸水常襲地域の被害の軽減を図るため、幹線排水路を整備した。										
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度								
	計画	<ul style="list-style-type: none"> 国分第1排水区水路改良工事 [継続費] 曾谷高塚排水区水路改良工事 行徳駅前排水区水路改良工事 北方排水区浸水対策工事 大町第2排水区浸水対策事業 (用地購入、測量、実施設計) 柏井南排水区浸水対策工事 行徳地区既設水路改修実施設計業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> 国分第1排水区水路改良工事 [継続費] 曾谷高塚排水区水路改良工事 行徳地区既設水路改修工事 								
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○計画通り事業を実施 国分第1排水区水路改良工事 [継続費] 曾谷・高塚排水区水路改良工事 (第2701工区) [継続費] 曾谷・高塚排水区実施設計業務委託 行徳地区蓋掛歩道改修実施設計業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> 曾谷・高塚排水区水路改良工事 (第2701工区) [継続費] 								
事業費	計画	153,885 千円	316,420 千円	134,600 千円							
	実績	162,428 千円	281,030 千円	153,584 千円							
数値目標等	排水路整備進捗率 (年度末)										
	計画	58.2%	58.4%	58.4%							
	実績	58.2%	58.2%	58.3%							
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (597,042) 千円 / (604,905) 千円 = 98.7%										
	■数値目標等比較 (28年度末の実績見込み) / (28年度末の計画) A (58.3%) / (58.4%) × 100 = 100点										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B <table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>67.5%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>28.0%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>0.5%</td> </tr> </table>			期待以上	4.0%	期待通り	67.5%	足りない	28.0%	やり過ぎ	0.5%
期待以上	4.0%										
期待通り	67.5%										
足りない	28.0%										
やり過ぎ	0.5%										

大分類	18 治水	中分類	水害のないまち	
小分類	雨水排除、雨水排水施設の整備			
事業名 (所管部署)	35 排水施設整備事業 (水と緑の部 河川・下水道整備課)			
事業概要	市内に点在する浸水常襲地域の被害の軽減を図るため、自然排水のできない低地域にポンプ場・排水機場などを整備した。			
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度	
	計画	○原木第2排水機場実施設計業務委託	○原木第2排水機場ポンプ増設工事[継続費]	○原木第2排水機場ポンプ増設工事[継続費]
実績	○計画通り事業を実施	○計画通り事業を実施	・原木第2排水機場ポンプ増設工事 [継続費] ・大町第1中継ポンプ改修工事	
事業費	計画	11,000 千円	182,400 千円	273,600 千円
	実績	10,350 千円	60,048 千円	277,548 千円
数値目標等	排水機場整備率（年度末） ※全体計画の排水機場・ポンプ場（下水道施設を含む。）の各整備率の平均値 ※排水機場・ポンプ場は26年度は30施設、27、28年度は29施設（1施設廃止のため）			
	計画	52.5%	54.9%	56.7%
実績	52.5%	53.3%	55.1%	
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) C (347,946) 千円 / (467,000) 千円 = 74.5%			
	■数値目標等比較 (28年度末の実績見込み) / (28年度末の計画) A (55.1%) / (56.7%) × 100 = 97 点 工事に関する入札を行った結果、契約額が低く抑えられたことから、事業費が計画を下回った。			
市民意向調査結果	■事業の取組状況			

大分類	19 防犯	中分類	防犯まちづくりの推進									
小分類	住民による自主的な防犯活動の推進											
事業名 (所管部署)	36 防犯対策事業 (市民部 市民安全課)											
事業概要	住民による自主的な防犯活動の推進を図るため、自治会等の自主防犯活動を実施する団体への防犯物品の支援及び「ボランティアパトロール」(オレンジ色の帽子を被りパトロールを行なう)の普及を推進した。また、「街の安全パトロール」の一環として「地域出動式」を実施した。											
年度ごとの事業内容	計画	26年度 ・自治会等の自主防犯活動支援 ・ボランティアパトロール活動の支援と拡充	27年度 同左	28年度 同左								
	実績	○自主防犯活動への支援 ・希望する自治会等 170 団体に防犯活動物品を支援 ○街の安全パトロール ・地域出動式の実施(真間地域) 年1回・参加者 153人 ○いちかわボランティアパトロール ・登録者数(年間・延)2,949人 ○防犯講演会 ・市民防犯講演会 参加者 338人 ○出前防犯講座 ・自治会等の要望により防犯講座を開催 年6回・参加者 延340人	○自主防犯活動への支援 ・希望する自治会等 170 団体に防犯活動物品を支援 ○街の安全パトロール ・地域出動式の実施(国府台地域) 年1回・参加者 115人 ○いちかわボランティアパトロール ・登録者数(年間・延)3,043人 ○防犯講演会 ・市民防犯講演会 参加者 359人 ○出前防犯講座 ・自治会等の要望により防犯講座を開催 年5回・参加者 延430人	○自主防犯活動への支援 ・希望する自治会等に防犯活動物品を支援 ○街の安全パトロール ・地域出動式の実施 ○いちかわボランティアパトロール ○防犯講演会 ○出前防犯講座 ・自治会等の要望により防犯講座を開催								
事業費	計画	8,155 千円	8,155 千円	8,155 千円								
	実績	7,868 千円	7,864 千円	5,045 千円								
数値目標等	ボランティアパトロール登録者数(年間・延べ)											
	計画	3,000 人	3,100 人	3,200 人								
実績	2,949 人	3,043 人	3,200 人									
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) B (20,777) 千円 / (24,465) 千円 = 84.9%											
	■数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) A (9,192 人) / (9,300 人) × 100 = 99 点											
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B											
<table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>期待通り</td> <td>足りない</td> <td>やり過ぎ</td> </tr> <tr> <td>5.2%</td> <td>63.2%</td> <td>30.1%</td> <td>1.5%</td> </tr> </table>					期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	5.2%	63.2%	30.1%	1.5%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ									
5.2%	63.2%	30.1%	1.5%									

大分類	20 交通安全	中分類	道路の安全性の向上											
小分類	道路の改良・拡幅													
事業名 (所管部署)	37 狭あい道路対策事業 (街づくり部 建築指導課、道路交通部 道路安全課)													
事業概要	道路の安全性を向上させるため、市が管理する建築基準法 42 条 2 項道路等においてセットバック部分を市に寄付する場合に、セットバックの整備と寄付に必要な分筆測量作業を市で行うか、またはこれらにかかる費用の一部を補助することで市への寄付の促進を図った。これによりセットバック部分を道路として確保し、狭あい道路における通行や安全性の向上、防災上の問題解消を図った。													
年度ごとの事業内容	計画	26 年度 ・道路後退用地の分筆測量及び道路整備等	27 年度 同左	28 年度 同左										
	実績	○測量分筆登記委託 8 件 (143 ㎡) ○測量分筆登記費用の補助 5 件 (54 ㎡) ○寄付等の手続きが完了した道路用地の整備 18 箇所	○測量分筆登記委託 7 件 (75 ㎡) ○測量分筆登記費用の補助 7 件 (71 ㎡) ○寄付等の手続きが完了した道路用地の整備 8 箇所	○測量分筆登記委託 ○測量分筆登記費用の補助 ○寄付等の手続きが完了した道路用地の整備										
事業費	計画	27,800 千円	27,800 千円	27,800 千円										
	実績	19,841 千円	16,254 千円	20,000 千円										
数値目標等	道路拡幅箇所 (測量分筆登記費用の補助等の件数・年間)													
	計画	20 箇所	20 箇所	20 箇所										
実績	13 箇所	14 箇所	20 箇所											
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) D (56,095) 千円 / (83,400) 千円 = 67.3%													
	■数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) C (47 箇所) / (60 箇所) × 100 = 78 点													
	セットバック部分に係る寄付の申請件数が当初の見込みより少なかったことから、事業費および数値目標ともに計画を下回った。													
市民意向調査結果	■事業の取組状況 <table border="1"> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>期待以上</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>30.1%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>67.0%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>2.0%</td> </tr> </table>				取組状況	割合	期待以上	0.9%	期待通り	30.1%	足りない	67.0%	やり過ぎ	2.0%
取組状況	割合													
期待以上	0.9%													
期待通り	30.1%													
足りない	67.0%													
やり過ぎ	2.0%													

大分類	20 交通安全	中分類	交通安全に関する意識啓発								
小分類	自転車安全利用の推進										
事業名 (所管部署)	38 自転車安全利用等啓発事業 (道路交通部 交通計画課)										
事業概要	「市川市自転車の安全利用に関する条例」に基づき、自転車の安全利用を推進するため、自転車安全教室の開催、自転車安全利用講習の実施等を行った。										
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度								
	計画	同左	同左								
実績	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室 ・スクアード・ストリート方式による自転車安全教室 交通安全指導 街頭指導 安全利用に関する周知 	同左	同左								
事業費	計画	6,641 千円	7,187 千円	7,187 千円							
	実績	6,424 千円	6,680 千円	6,553 千円							
数値目標等	交通安全教室等の受講者数 (年間)										
	計画	20,000 人	20,000 人	20,000 人							
実績	23,041 人	24,496 人	25,000 人								
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) A (19,657) 千円 / (21,015) 千円 = 93.5%										
	■数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) A (72,537 人) / (60,000 人) × 100 = 121 点										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 D <table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>1.5%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>45.5%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>51.3%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>1.7%</td> </tr> </table>			期待以上	1.5%	期待通り	45.5%	足りない	51.3%	やり過ぎ	1.7%
期待以上	1.5%										
期待通り	45.5%										
足りない	51.3%										
やり過ぎ	1.7%										

大分類	21 ユニバーサルデザイン	中分類	まちのユニバーサルデザイン化
小分類	歩行空間の連続的なユニバーサルデザイン化の推進		
事業名 (所管部署)	39 人にやさしい道づくり重点地区整備事業 (道路交通部 道路建設課)		
事業概要	歩行空間の連続的なユニバーサルデザイン化の推進のため、主要駅周辺の重点地区（概ね半径 500m以内）内及び主要な路線の歩道の段差解消・平坦性の確保等バリアフリー化を進めた。		
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度
	計画	実績	
	<ul style="list-style-type: none"> ○市道 0207 号（行徳駅前 2 丁目 16～25 番地先） ・ 施工延長 L=200m ・ 歩道整備 ○市道 0120 号（八幡 3 丁目 3 番地先） ・ 施工延長 L=160m ・ 実施設計委託 	<ul style="list-style-type: none"> ○市道 0207 号（行徳駅前 2 丁目 9～26 番地先） ・ 施工延長 L=140m ・ 歩道整備 ○市道 0120 号（八幡 3 丁目 3 番地先） ・ 施工延長 L=160m ・ 歩道整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工延長 L=200m
	<ul style="list-style-type: none"> ○市道 0207 号（行徳駅前 2 丁目 16～25 番地先） ・ 施工延長 L=211m ・ 歩道整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○市道 0207 号（行徳駅前 2 丁目 9～26 番地先） ・ 施工延長 L=140m ・ 歩道整備 ○市道 0120 号（八幡 3 丁目 3 番地先） ・ 施工延長 L=170m ・ 歩道整備 ○八幡神社参道（八幡 2 丁目 1 番地先） ・ 施工延長 L =90m ・ 歩道整備 ○市道 0101 号（相之川 3 丁目 15 番～南行徳 3 丁目 3 番地先） ・ 施工延長 L =341m ・ 柵渠蓋安全対策 ○市道 0101 号（南行徳 4 丁目 1 番地先） ・ 施工延長 L =160m ・ 柵渠蓋安全対策 ○駅前広場（八幡 2 丁目 17 番地先） ・ 施工延長 L =95m ・ 歩道整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○市道 6055 号（南八幡 4 丁目 4 番～3 丁目 5 番地） ・ 施工延長 L=260m ・ 景観舗装 ○市道 0101 号（南行徳 1 丁目 22 番～2 丁目 19 番地先） ・ 施工延長 L=190m ・ 歩道整備 ○市道 6057 号（南八幡 3 丁目 3～4 番地）（H27 繰越） ・ 施工延長 L=166m ・ 景観舗装

事業費	計画	56,000 千円	152,400 千円	50,000 千円
	実績	54,886 千円	167,853 千円	61,100 千円
数値目標等	歩道整備延長（年間）			
	計画	200m	300m	200m
	実績	211m	996m	616m
達成状況等	■ 事業費比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) (283,839) 千円 / (258,400) 千円 = 109.8%		
	■ 数値目標等比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) (1,823m) / (700m) × 100 = 260 点		
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 D	<p> 2.8% 55.0% 40.5% 1.7% 0% 20% 40% 60% 80% 100% □期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ </p>		

大分類	22 道路・交通	中分類	公共交通の充実	
小分類	公共交通の利用促進			
事業名 (所管部署)	40 コミュニティバス運行事業 (道路交通部 交通計画課)			
事業概要	公共交通の利用促進のため、地域住民・運行事業者・市の三者で構成する「実行委員会」により市北東部及び南部の2地域で運営されるコミュニティバスについて、運行計画の見直し等による経費の削減と増収策を検討しながら運行を継続した。			
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度	
	計画	<p>○コミュニティバス運行負担金の支払い</p> <p>《参考》</p> <p>運行系統</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北東部ルート 29 便 (往復ルート) 10 便 ※10月から松飛台まで延伸予定 (循環ルート) 19 便 ※10月から一部ルート変更予定 ・南部ルート 52 便 	<p>○コミュニティバス運行負担金の支払い</p> <p>《参考》</p> <p>運行系統</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北東部ルート 30 便 (往復ルート) 11 便 (循環ルート) 19 便 ・南部ルート 52 便 	同左
	実績	<p>○コミュニティバス運行負担金の支払い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北東部ルート 30 便 (往復ルート) 11 便 (循環ルート) 19 便 ・南部ルート 52 便 <p>年間利用者数 515,694 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北東部ルート 123,760 人 ・南部ルート 391,934 人 	<p>○コミュニティバス運行負担金の支払い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北東部ルート 30 便 (往復ルート) 11 便 (循環ルート) 19 便 ・南部ルート 52 便 <p>年間利用者数 461,438 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北東部ルート 126,830 人 ・南部ルート 334,608 人 	<p>○コミュニティバス運行負担金の支払い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北東部ルート 30 便 (往復ルート) 11 便 (循環ルート) 19 便 ・南部ルート 52 便
事業費	計画	80,211 千円	72,793 千円	76,533 千円
	実績	74,327 千円	63,453 千円	64,569 千円
数値目標等	年間利用者数			
	計画	535,000 人	535,000 人	535,000 人
実績	515,694 人	461,438 人	470,667 人	
達成状況等	■事業費比較 B	(3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) (202,349) 千円 / (229,537) 千円 = 88.2%		
	■数値目標等比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) (1,447,799 人) / (1,605,000 人) × 100 = 90 点		
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B	<p>6.2% 65.4% 25.6% 2.8%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>		

大分類	22 道路・交通	中分類	環境負荷を低減し都市機能を向上させる道路交通								
小分類	都市計画道路の整備										
事業名 (所管部署)	41 外環関連街路事業 (道路交通部 都市計画道路課)										
事業概要	環境負荷を低減し、都市機能の向上を図るため、外環道路に接続する都市計画道路 3・6・32 号市川鬼高線及び都市計画道路 3・4・12 号北国分線の 2 路線の整備を進めた。										
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度								
	計画	27 年度	28 年度								
計画	・事業化に向けた計画の策定	・用地測量委託	・用地購入（補償費含む）								
実績	・予備設計等業務委託 2 件 ・測量業務委託 1 件	○都市計画道路 3・6・32 号整備事業 ・用地測量業務委託 1 件 ○都市計画道路 3・4・12 号整備事業 ・用地測量業務委託 1 件 ・権利者追跡調査業務委託 1 件	○都市計画道路 3・6・32 号整備事業 ・家屋等補償調査業務委託 ・地下埋設物移設等検討業務委託 ・用地購入（債務負担行為設定・土地開発公社による購入） ○都市計画道路 3・4・12 号整備事業 ・家屋等補償調査業務委託 ・地質・土質調査業務委託 ・用地購入（債務負担行為設定・土地開発公社による購入）								
事業費	計画	10,000 千円	19,000 千円	935,300 千円							
	実績	12,213 千円	17,343 千円	54,692 千円							
数値目標等	事業内容の達成率（年度末）										
	計画	100%	100%	100%							
実績	100%	100%	0%								
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) D (84,248) 千円 / (964,300) 千円 = 8.7%										
	■数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) D (200%) / (300%) × 100 = 67 点										
平成 28 年度に土地開発公社が代行買収した用地の購入費を、翌年度以降に償還することとしたことから、平成 28 年度の実績額が 0 円、達成率の見込みが 0% となった。											
市民意向調査結果	■事業の取組状況 D <table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>期待通り</td> <td>足りない</td> <td>やり過ぎ</td> </tr> <tr> <td>2.1%</td> <td>45.3%</td> <td>50.6%</td> <td>2.1%</td> </tr> </table>			期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	2.1%	45.3%	50.6%	2.1%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ								
2.1%	45.3%	50.6%	2.1%								

大分類	23 下水道	中分類	水環境の良好な保全と整備										
小分類	老朽化した施設の更新と適切な維持管理												
事業名 (所管部署)	42 公共下水道計画策定事業 (水と緑の部 水循環推進課)												
事業概要	大規模地震時における主要な下水道管渠の流下処理機能を確保するため、総合的な地震対策計画を策定し、重点的に耐震化を進めた。												
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度										
	計画	○下水道総合地震対策全体計画の策定	○下水道総合地震対策事業計画の策定	—									
実績	○計画通り事業を実施	○下水道総合地震対策事業計画 全体計画を策定	—										
事業費	計画	9,000 千円	6,500 千円	—									
	実績	6,858 千円	5,324 千円	—									
数値目標等	事業内容の達成率 (年度末)												
	計画	50%	100%	—									
実績	50%	100%	—										
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) C (12,182) 千円 / (15,500) 千円 = 78.6%												
	■数値目標等比較 (27 年度末の実績) / (27 年度末の計画) A (100%) / (100%) × 100 = 100 点												
	計画策定に関する入札を行った結果、契約額が低く抑えられたことから、事業費が計画を下回った。												
市民意向調査結果	■事業の取組状況 <table border="1"> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>期待以上</td> <td>3.6%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>70.4%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>25.7%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>0.3%</td> </tr> </table>			取組状況	割合	期待以上	3.6%	期待通り	70.4%	足りない	25.7%	やり過ぎ	0.3%
取組状況	割合												
期待以上	3.6%												
期待通り	70.4%												
足りない	25.7%												
やり過ぎ	0.3%												

大分類	23 下水道	中分類	水環境の良好な保全と整備								
小分類	老朽化した施設の更新と適切な維持管理										
事業名 (所管部署)	43 下水道施設長寿命化対策事業 (水と緑の部 河川・下水道管理課)										
事業概要	事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図るため、下水道施設の長寿命化計画に基づき、菅野ポンプ場、真間ポンプ場の改築更新工事を行った。										
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度								
	計画	27 年度	28 年度								
計画	○菅野ポンプ場再構築実施設計策定 ○真間ポンプ場再構築実施設計策定	○菅野ポンプ場改築更新工事 ○真間ポンプ場改築更新工事 ○菅野終末処理場再構築実施設計策定	○菅野ポンプ場改築更新工事 ○真間ポンプ場改築更新工事 ○菅野終末処理場改築更新工事								
実績	○再構築実施設計業務委託 対象： 菅野ポンプ場、真間ポンプ場	○長寿命化改修工事委託 対象： 菅野ポンプ場、真間ポンプ場 (ただし、年度内の完成ができなかったため、28 年度へ繰り越し)	○長寿命化改修工事委託 対象： 菅野ポンプ場、真間ポンプ場								
事業費	計画	44,300 千円	167,800 千円	312,500 千円							
	実績	44,300 千円	0 千円	353,200 千円							
数値目標等	事業内容の達成率 (平成 31 年度末)										
	計画	6.5%	15.5%	32.3%							
実績	8.6%	8.6%	32.0%								
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) C (397,500) 千円 / (524,600) 千円 = 75.8%										
	■数値目標等比較 (28 年度末の実績見込み) / (28 年度末の計画) A (32.0%) / (32.3%) × 100 = 99 点 長寿命化改修工事委託について、自家発電装置の故障により予定を変更して整備を行なったため、事業費に変動が生じたもの。なお、27 年度については、千葉県下水道公社との協議に日数を要し年度内に完成出来なかったことにより、翌年度へ繰り越して工事を行ったため事業費が 0 円となった。										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 <table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>期待通り</td> <td>足りない</td> <td>やり過ぎ</td> </tr> <tr> <td>3.0%</td> <td>70.9%</td> <td>25.8%</td> <td>0.3%</td> </tr> </table>			期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	3.0%	70.9%	25.8%	0.3%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ								
3.0%	70.9%	25.8%	0.3%								

大分類	23 下水道	中分類	水環境の良好な保全と整備	
小分類	老朽化した施設の更新と適切な維持管理			
事業名 (所管部署)	44 アセットマネジメント推進事業 (水と緑の部 河川・下水道管理課)			
事業概要	老朽化が進む下水道施設の適切な維持管理や効率的な事業運営を実現するため、ライフサイクルコストの低減、投資の平準化及びリスクのコントロールを図ることを目的としたアセットマネジメントの導入準備(下水道台帳電子化、公営企業会計移行作業)を行った。			
年度ごとの事業内容	計画	26 年度 ・下水道台帳電子化業務 ・下水道事業地方公営企業法適用基本計画策定業務	27 年度 ○下水道台帳電子化業務 ○資産調査及び評価業務企業会計移行支援業務	28 年度 同左
	実績	○下水道台帳電子化業務 ・計画延長 444km のうち、電子化 66.4km (累計 66.4km) ○下水道事業地方公営企業法適用基本計画策定業務 ・下水道事業地方公営企業法適用基本計画を策定	○下水道台帳電子化業務 ・計画延長 444km のうち、電子化 127.9km (累計 194.3km) ○下水道事業地方公営企業法適用支援業務委託(資産調査及び評価業務企業会計移行支援業務) ・法適用の範囲、事業領域・移行スケジュール等基本方針を策定し、資産調査等に着手	○下水道台帳電子化業務 ○下水道事業地方公営企業法適用支援業務委託(資産調査及び評価業務企業会計移行支援業務) ・引き続き資産調査を実施 ・企業会計移行業務については、関係課との協議に加え金融機関等外部関係機関との協議を開始 ・企業会計システムの構築を図る
事業費	計画	16,200 千円	51,000 千円	78,000 千円
	実績	15,120 千円	46,540 千円	60,572 千円
数値目標等	事業内容の達成率 (H30 年度末)			
	計画	1.9%	20.5%	51.5%
実績	6.9%	28.2%	55.8%	
達成状況等	■ 事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) B (122,232) 千円 / (145,200) 千円 = 84.2%			
	■ 数値目標等比較 (28 年度末の実績見込み) / (28 年度末の計画) A (55.8%) / (51.5%) × 100 = 108 点			
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 B			
<p>期待以上 期待通り 足りない やり過ぎ</p>				

大分類	23 下水道	中分類	水環境の良好な保全と整備
小分類	雨水排除		
事業名 (所管部署)	45 公共下水道整備雨水事業 (水と緑の部 河川・下水道整備課)		
事業概要	市街地における浸水被害の軽減を図るため、市川南排水区などの雨水管渠及びポンプ場の整備等を行った。		
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度
	<p>計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和田ポンプ場建設工事委託(継続) ・市川南7号幹線建設工事委託(継続) ・大和田排水樋管建設工事委託(継続) ・高谷排水樋管築造工事(継続) ・高谷・田尻排水区外環内回り雨水管渠築造工事 ・市川南ポンプ場詳細設計業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・大和田ポンプ場建設工事委託(継続) ・市川南7号幹線建設工事委託(継続) ・大和田排水樋管建設工事委託(継続) ・高谷排水樋管築造工事(継続) ・高谷・田尻排水区外環内回り雨水管渠築造工事 ・市川南排水樋管詳細設計業務委託 ・市川南11号幹線築造工事(継続) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市川南ポンプ場建設工事(継続) ・市川南11号幹線築造工事(継続) ・高谷・田尻排水区幹線管渠実施設計委託
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共下水道整備雨水事業に係る建設工事委託 ・大和田ポンプ場建設工事委託(継続費) ・市川南7号幹線建設工事委託その1(継続費) ・市川南7号幹線建設工事委託その2(継続費) ・大和田排水樋管建設工事委託(継続費) ○公共下水道整備雨水事業に係る実施設計 ・市川南ポンプ場実施設計(基本設計)業務委託 ・大和田排水樋管実施設計(詳細設計)業務委託 ○公共下水道整備雨水事業に係る工事請負 ・高谷排水樋管躯体築造工事(継続費) ・高谷排水樋管設備設置工事(継続費) 	<ul style="list-style-type: none"> ○公共下水道整備雨水事業に係る建設工事委託 ・大和田ポンプ場建設工事委託(継続費) ・市川南7号幹線建設工事委託その1(継続費) ・市川南7号幹線建設工事委託その2(継続費) ・大和田排水樋管建設工事委託(継続費) ○公共下水道整備雨水事業に係る実施設計 ・市川南排水区実施設計業務委託 ・市川南ポンプ場実施設計(詳細設計)業務委託 ○公共下水道整備雨水事業に係る工事請負 ・高谷排水樋管躯体築造工事(継続費) ・高谷排水樋管設備設置工事(継続費) ・高谷・田尻排水区外環内回り雨水管渠築造工事 	<ul style="list-style-type: none"> ○公共下水道整備雨水事業に係る建設工事委託 ・大和田ポンプ場建設工事委託(継続費) ・市川南7号幹線建設工事委託その1(継続費) ・市川南7号幹線建設工事委託その2(継続費) ・大和田排水樋管建設工事委託(継続費) ・高谷・田尻排水区外環内回り雨水管渠建設工事委託(継続費) ・市川南11号幹線建設工事委託(継続費) ○公共下水道整備雨水事業に係る実施設計 ・高谷2号幹線実施設計業務委託 ○公共下水道整備雨水事業に係る工事請負 ・高谷・田尻排水区外環内回り雨水管渠築造工事 ・高谷1号幹線建設工事 ・高谷2号幹線建設工事 ・市川南12号幹線建設工事 	

事業費	計画	5,936,051千円	6,239,106千円	4,857,307千円										
	実績	5,185,197千円	5,087,079千円	5,897,108千円										
数値目標等	下水道整備率（雨水整備優先区域：市川南第1・2・4排水区、高谷・田尻排水区）（年度末）													
	計画	8.3%	14.5%	14.5%										
	実績	8.3%	8.3%	8.3%										
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (16,169,384)千円 / (17,032,464)千円 = 94.9%													
	■数値目標等比較 (28年度末の実績見込み) / (28年度末の計画) D (8.3%) / (14.5%) × 100 = 57点													
	東京外かく環状道路整備事業の完成時期の延伸により、外環道路事業地内の雨水整備に1年以上の遅れが生じたことから、数値目標が計画を下回った。													
市民意向調査結果	■事業の取組状況 D <table border="1"> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>期待以上</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>41.5%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>56.3%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>1.4%</td> </tr> </table>				取組状況	割合	期待以上	0.8%	期待通り	41.5%	足りない	56.3%	やり過ぎ	1.4%
取組状況	割合													
期待以上	0.8%													
期待通り	41.5%													
足りない	56.3%													
やり過ぎ	1.4%													

大分類	23 下水道	中分類	水環境の良好な保全と整備
小分類	下水道処理区域の拡大		
事業名 (所管部署)	46 公共下水道整備汚水事業 (水と緑の部 河川・下水道整備課)		
事業概要	下水道供用区域の拡大を図るため、江戸川左岸流域関連処理区及び西浦処理区の整備を進めた。		
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度
	計画	<ul style="list-style-type: none"> 宮久保地区他 7 地区 (処理人口 2,292 人) 	<ul style="list-style-type: none"> 宮久保地区他 7 地区 (処理人口 4,600 人)
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○下水道污水管渠布設工事 ・中山地区 管渠延長 286.5m 整備面積 1.59ha 施工箇所 中山 1～2 丁目 ・南大野地区 管渠延長 519.2m 整備面積 2.06ha 施工箇所 南大野 1～2 丁目 ・国分・須和田地区 管渠延長 407.0m 整備面積 2.04ha 施工箇所 国分 1 丁目～須和田 1 丁目 ・国府台地区 管渠延長 103.0m 整備面積 4.58ha 施工箇所 国府台 6 丁目 (処理人口人 6,100 人) ○下水道污水管渠布設工事に係る実施設計 ・管渠延長 4,368.0m 	<ul style="list-style-type: none"> ○下水道污水管渠布設工事 ・宮久保地区 (5-1 処理分区) 管渠延長 569.3m 整備面積 2.58ha 施工箇所 宮久保 5 丁目 ・北方地区 (5-2 処理分区) 管渠延長 1,438.6m 整備面積 5.48ha 施工箇所 本北方 1～2 丁目 ほか ・大野・柏井 3 地区 (4-3 処理分区) 管渠延長 1,157.8m 整備面積 4.64ha 施工箇所 南大野 2～3 丁目 ・大野・柏井 4 地区 (4-4 処理分区) 管渠延長 1,548.9m 整備面積 5.22ha 施工箇所 柏井町 1 丁目 ・曾谷・国分地区 (1-1 処理分区) 管渠延長 652.0m 整備面積 4.36ha 施工箇所 国分 1～2 丁目 ほか ・中国分地区 (1-3 処理分区) 管渠延長 522.0m 整備面積 0.40ha 施工箇所 中国分 1 丁目 ・中山・若宮地区 (西浦処理区) 管渠延長 203.4m 整備面積 1.10ha 施工箇所 若宮 2 丁目 ・鬼越・高石神地区 (西浦処理区) 管渠延長 208.2m 整備面積 1.42ha 施工箇所 高石神 2 丁目 (処理人口人 8,200 人) ○下水道污水管渠布設工事に係る実施設計 ・管渠延長 9,680.0m 	<ul style="list-style-type: none"> ○下水道污水管渠布設工事 ・宮久保地区他 7 地区 (処理人口 2,047 人)

事業費	計画	2,019,425千円	2,377,370千円	2,315,385千円										
	実績	1,387,693千円	1,903,934千円	3,110,067千円										
数値目標等	下水道普及率（汚水）（年度末）													
	計画	70.4%	70.9%	71.9%										
	実績	70.8%	71.9%	72.3%										
達成状況等	■ 事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (6,401,694)千円 / (6,712,180)千円 = 95.4%													
	■ 数値目標等比較 (28年度末の実績見込み) / (28年度末の計画) A (72.3%) / (71.9%) × 100 = 101点													
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 B <table border="1"> <caption>事業の取組状況調査結果</caption> <thead> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期待以上</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>67.4%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>29.9%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>1.2%</td> </tr> </tbody> </table>				取組状況	割合	期待以上	1.4%	期待通り	67.4%	足りない	29.9%	やり過ぎ	1.2%
取組状況	割合													
期待以上	1.4%													
期待通り	67.4%													
足りない	29.9%													
やり過ぎ	1.2%													

大分類	24 住宅・住環境	中分類	健康で安全・安心して暮らせる住 まいとまちづくりの実現
小分類	地震・災害に強い住宅の供給・住環境の整備		
事業名 (所管部署)	47 耐震診断・改修助成事業 (街づくり部 建築指導課)		
事業概要	住宅等の安全性の向上を図るため、耐震性能の低い昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅及び分譲マンションの耐震診断及び耐震改修の啓発・指導を行うとともに、その費用の一部等を補助した。		
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度
	<p>計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・耐震相談会、講演会の開催、自治会と連携した周知活動 ○助成内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断費用への補助 ・耐震改修設計費用への補助 ・耐震改修工事費用への補助 ・耐震改修工事に伴うリフォーム費用への補助 	同左	同左
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・耐震促進講演会（市民向け） 参加者数 120人 ・耐震講習会（専門家向け） 参加者数 24人 ・無料耐震相談会 相談件数 19回 (46人、38組) ○助成内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断費補助金 12戸 ・木造住宅耐震改修設計費補助金 2戸 ・木造住宅耐震改修工事・工事監理費補助金 1戸 ・木造住宅耐震改修工事に伴うリフォーム工事費補助金 1戸 ・マンション予備診断費補助金 1棟 ・マンション本診断費補助金 1棟 	<ul style="list-style-type: none"> ○啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・耐震促進講演会（市民向け） 参加者数 300人 ・耐震講習会（専門家向け） 参加者数 27人 ・無料耐震相談会 相談件数 17回 (58人、42組) ○助成内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断費補助金 18戸 ・木造住宅耐震改修設計費補助金 2戸 ・木造住宅耐震改修工事・工事監理費補助金 3戸 ・木造住宅耐震改修工事に伴うリフォーム工事費補助金 3戸 ・マンション予備診断費補助金 1棟 ・マンション本診断費補助金 1棟 	<ul style="list-style-type: none"> ○啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・耐震促進講演会（市民向け） 参加者数 300人 ・無料耐震相談会 ○助成内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断費補助金 ・木造住宅耐震改修設計費補助金 ・木造住宅耐震改修工事・工事監理費補助金 ・木造住宅耐震改修工事に伴うリフォーム工事費補助金 ・マンション予備診断費補助金 ・マンション本診断費補助金 ・マンション耐震改修設計費補助金

事業費	計画	11,969 千円	7,720 千円	17,720 千円										
	実績	3,662 千円	5,348 千円	7,720 千円										
数値目標等	市内の民間住宅の耐震化率（年度末） ※H28 年度の数値目標については、H27 年度末に改定した市川市耐震改修促進計画により設定													
	計画	89.1%	90.0%	92.9%										
	実績	88.8%	92.4%	92.9%										
達成状況等	■ 事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) D (16,730) 千円 / (37,409) 千円 = 44.7%													
	■ 数値目標等比較 (28 年度末の実績見込み) / (28 年度末の計画) A (92.9%) / (92.9%) × 100 = 100 点													
	耐震診断・耐震改修補助金の申請件数が当初見込みより少なかったことから、事業費が計画を下回った。													
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 C <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期待以上</td> <td>2.2%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>56.6%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>40.1%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>1.1%</td> </tr> </tbody> </table>				取組状況	割合	期待以上	2.2%	期待通り	56.6%	足りない	40.1%	やり過ぎ	1.1%
取組状況	割合													
期待以上	2.2%													
期待通り	56.6%													
足りない	40.1%													
やり過ぎ	1.1%													

大分類	住宅・住環境	中分類	良好な住まいと地域に根ざしたまちづくりの実現								
小分類	良好な住宅環境の整備支援										
事業名 (所管部署)	48 あんしん住宅推進事業 (街づくり部 住環境整備課)										
事業概要	住宅ストックの良質化に資するため、自身が所有・居住する住宅（戸建て及び分譲マンション専有部）において、バリアフリー、防災性向上、省エネのいずれかの分野で行う改修工事費用の一部を補助した。 また、分譲マンション共用部において、バリアフリー又は浸水対策のいずれかの分野で行う改修工事費用の一部についても補助を行った。										
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度								
	計画	同左	同左								
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○バリアフリー化、防災性の向上、省エネ化のうち1つの分野改修工事補助 ・10万円（上限） ・補助166件 ○昭和56年5月以前着工の木造住宅で耐震性の向上工事 ・30万円（上限） ・補助26件 ○分譲マンション共用部バリアフリー工事 ・100万円（上限） ・補助5件 	<ul style="list-style-type: none"> ○バリアフリー化、防災性の向上、省エネ化のうち1つの分野改修工事補助 ・10万円（上限） ・補助169件 ※H27.7から防災性向上のうち感震ブレイカー設置工事費用の一部についても補助 ○昭和56年5月以前着工の木造住宅で耐震性の向上工事 ・30万円（上限） ・補助35件 ○分譲マンション共用部バリアフリー工事 ・100万円（上限） ・補助3件 	<ul style="list-style-type: none"> ○バリアフリー化、防災性の向上、省エネ化、子育て配慮（H28.8より）のうち1つの分野改修工事補助 ・10万円（上限） ※H28.8から省エネ化のうち節水型便器への変更工事費用の一部についても補助 ○耐震性能の向上工事（上部構造評点が1.0未満で値を向上させる工事）及び昭和56年5月以前着工の住宅で、耐震シェルターの設置工事 ・30万円（上限） ○分譲マンション共用部バリアフリー工事 ・100万円（上限） 							
事業費	計画	27,025千円	27,025千円	27,025千円							
	実績	25,977千円	26,995千円	27,033千円							
数値目標等	あんしん住宅助成件数（年間）										
	計画	152件	160件	160件							
	実績	197件	207件	174件							
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (80,005)千円 / (81,075)千円 = 98.7%										
	■数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) A (578件) / (472件) × 100 = 122点										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B <table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>2.7%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>66.2%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>29.2%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>1.9%</td> </tr> </table>			期待以上	2.7%	期待通り	66.2%	足りない	29.2%	やり過ぎ	1.9%
期待以上	2.7%										
期待通り	66.2%										
足りない	29.2%										
やり過ぎ	1.9%										

大分類	24 住宅・住環境	中分類	良好な住まいと地域に根ざしたまちづくりの実現											
小分類	良好な住宅環境の整備支援													
事業名 (所管部署)	49 空き家対策事業 (街づくり部 住環境整備課)													
事業概要	良好な住環境を保全するため、空家等対策の推進に関する特別措置法及び市川市空家等の適切な管理に関する条例に基づき助言・指導、勧告等を行うとともに、国の「空き家再生等推進事業」を活用し、除却後の跡地を市に対して無償で貸すことを条件として、周辺的生活環境に悪影響を与える特定空家の除却にかかる費用を補助した。													
年度ごとの事業内容	計画	26 年度 ・ 条例に基づく指導等 ・ 空き家の利活用支援 ・ 老朽危険空き家除却支援	27 年度 同左	28 年度 同左										
	実績	○ 条例に基づく指導等 ・ 相談件数 375 件 ・ 指導件数 148 件 ・ 是正件数 89 件 (うち建物除却 59 件) ○ 国の空き家再生等推進事業の活用による除却 ・ 除却件数 0 件	○ 法律に基づく指導等 ・ 相談件数 369 件 ・ 指導件数 81 件 ・ 是正件数 110 件 (うち建物除却 71 件) ○ 国の空き家再生等推進事業の活用による除却 ・ 除却件数 0 件	○ 法律に基づく指導等 ○ 国の空き家再生等推進事業の活用による除却										
事業費	計画	6,804 千円	1,633 千円	1,633 千円										
	実績	103 千円	129 千円	5,882 千円										
数値目標等	除却件数 (年間)													
	計画	4 件	2 件	2 件										
達成状況等	■ 事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) D (6,114) 千円 / (10,070) 千円 = 60.7%													
	■ 数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) D (2 件) / (8 件) × 100 = 25 点													
	条例に基づく指導等を行った結果、空き家所有者自身で除却や是正が行われ、国の空き家再生等推進事業を活用して除却を行った件数が当初の見込みに到達しなかったことなどから、事業費および数値目標ともに計画を下回った。													
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 D <table border="1"> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>期待以上</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>29.3%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>67.4%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>1.7%</td> </tr> </table>				取組状況	割合	期待以上	1.6%	期待通り	29.3%	足りない	67.4%	やり過ぎ	1.7%
取組状況	割合													
期待以上	1.6%													
期待通り	29.3%													
足りない	67.4%													
やり過ぎ	1.7%													

大分類	25 公共施設	中分類	公共施設等の有効的、効率的な活用								
小分類	公共施設等の整備・再編										
事業名 (所管部署)	50 庁舎整備事業 (街づくり部 新庁舎建設課)										
事業概要	利用者の安全と防災拠点機能の確保、さらには質の高い市民サービスを提供するため、本庁舎の建替えに向け、新庁舎の基本設計・実施設計を完成させるとともに、仮庁舎への移転を進め、新第2庁舎の建設に着手した。										
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度								
	<p>計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本設計の完成、実施設計着手 ○南八幡仮設庁舎の供用開始 ○市川南仮設庁舎の設置工事 ○基金への積み立て <p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新庁舎基本設計 <ul style="list-style-type: none"> ・完成 ○仮庁舎への移転 <ul style="list-style-type: none"> ・移転完了日 H26.5.7 ・移転先 南八幡仮設庁舎 ・移転部署 福祉事務所他 10 課 ○市民ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・5 回開催 ・公募市民など 55 人 ○庁舎整備基金 <ul style="list-style-type: none"> ・基金残高 (27 年度末) 2,562,773,801 円 ・積立目標額 (27 年度末) 31.5 億円 	<p>計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施設計の完成 ○市川南仮設庁舎の供用開始 ○南分庁舎の解体、新第2庁舎建設着工 ○基金への積み立て <p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新庁舎実施設計 <ul style="list-style-type: none"> ・完成 ○仮庁舎への移転 <ul style="list-style-type: none"> ・移転完了日 H27.7.6 ・移転先 市川南仮設庁舎 ・移転部署 環境政策課他 20 課 ○市民ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・4 回開催 ・公募市民など 53 人 ○南分庁舎解体工事・新第2庁舎整備 <ul style="list-style-type: none"> ・H27.7 から解体工事着手 (同年 12 月完了) ・新第2庁舎整備工事着手 ○庁舎整備基金 <ul style="list-style-type: none"> ・基金残高 (27 年度末) 4,548,856,333 円 ・積立目標額 (27 年度末) 31.5 億円 	<p>計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新第2庁舎の完成 ○新第1庁舎建設用地の取得 <p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新第2庁舎建設工事の実施 ○新第1庁舎建設工事の準備 ○市民ワークショップ 								
事業費	計画	825,597 千円	2,984,730 千円	3,614,160 千円							
	実績	823,502 千円	3,121,614 千円	5,124,343 千円							
数値目標等	各年度の事業内容の達成率 (年度末)										
	計画	100%	100%	100%							
達成状況等	<p>■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計)</p> <p>A (9,069,459) 千円 / (7,424,487) 千円 = 122.2%</p>										
	<p>■数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計)</p> <p>A (300%) / (300%) × 100 = 100 点</p> <p>当初の予定を超えて庁舎整備基金への事前の積み立てを行ったことで将来負担の軽減を図る一方、建設工事の進捗にあわせて前払い金の支払い等を行い、当初の計画より前倒しで支出したことから、事業費が計画を上回った。</p>										
市民意向調査結果	<p>■事業の取組状況</p> <p>B</p> <table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>69.2%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>9.7%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>17.1%</td> </tr> </table>			期待以上	4.0%	期待通り	69.2%	足りない	9.7%	やり過ぎ	17.1%
期待以上	4.0%										
期待通り	69.2%										
足りない	9.7%										
やり過ぎ	17.1%										

大分類	25 公共施設	中分類	公共施設等の有効的、効率的な活用									
小分類	公共施設等の整備・再編											
事業名 (所管部署)	51 公共施設マネジメント推進事業 (経営改革室 経営改革課)											
事業概要	ファシリティマネジメントの推進により、公共施設の適正な維持・管理の基礎となる公共施設データの収集・整備を進めるとともに、公共施設の現状及び課題を把握するため、公共施設白書を作成した。また、この白書から見えた課題・問題点を解決し公共施設の総合的かつ計画的な管理・運営を図るため、公共施設等総合管理計画を策定し、これを推進した。											
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度									
	計画	○公共施設白書の作成 ○公共施設台帳の整備 ・公共施設データの収集、更新	○長期保全計画の策定 ○公共施設台帳の整備 ・公共施設データの収集、更新	○長期保全計画の推進 ○公共施設台帳の整備 ・公共施設データの収集、更新								
実績	○公共施設白書の作成 ○公共施設台帳の整備 ・BIMMS への基本入力作業 建物基本情報登録数 558 棟	○公共施設等総合管理計画の策定	○公共施設等総合管理計画の周知及び推進 ・個別計画の策定支援及び推進									
事業費	計画	10,202 千円	10,000 千円	1,000 千円								
	実績	7,507 千円	7,415 千円	0 千円								
数値目標等	事業内容の達成率 (年度末)											
	計画	100%	100%	100%								
実績	100%	100%	100%									
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) C (14,922) 千円 / (21,202) 千円 = 70.4%											
	■数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) A (300%) / (300%) × 100 = 100 点 公共施設白書および公共施設等総合管理計画策定に関する入札を行った結果、契約額が低く抑えられたことから、事業費が計画を下回った。											
市民意向調査結果	■事業の取組状況 A <table border="1"> <tr> <th>期待以上</th> <th>期待通り</th> <th>足りない</th> <th>やり過ぎ</th> </tr> <tr> <td>3.1%</td> <td>77.2%</td> <td>13.1%</td> <td>6.6%</td> </tr> </table>				期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	3.1%	77.2%	13.1%	6.6%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ									
3.1%	77.2%	13.1%	6.6%									

大分類	26 土地利用	中分類	都市経営の観点から効率的で適切な土地利用の誘導	
小分類	市街化調整区域における適切な土地利用			
事業名 (所管部署)	52 J R 武蔵野線周辺調査事業 (街づくり部 都市計画課)			
事業概要	北東部地域の土地の有効活用を図るため、地域の課題解決と新駅設置を含めた魅力ある土地利用への誘導策、可能性について判断した。			
年度ごとの事業内容		26 年度	27 年度	28 年度
	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事業区域の設定 ・まちづくり案の事業性検討 ・官民連携スキームの構築に向けた検討 ・新駅関連整備による事業効果の検討 	—	—
	実績	○計画通り事業を実施 ※本実績により本事業を次段階につなぐことができた	—	—
事業費	計画	8,000 千円	—	—
	実績	7,992 千円	—	—
数値目標等	事業内容の達成率 (年度末)			
	計画	100%	—	—
	実績	100%	—	—
達成状況等	■ 事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) A (7,992) 千円 / (8,000) 千円 = 99.9%			
	■ 数値目標等比較 (26 年度末の実績) / (26 年度末の計画) A (100%) / (100%) × 100 = 100 点			
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 B			

大分類	26 土地利用	中分類	地域毎の特性を活かした持続可能な地域づくり											
小分類	北部地域の土地利用													
事業名 (所管部署)	53 道の駅整備事業 (街づくり部 街づくり推進課)													
事業概要	北西部地域の既存資源を活かした土地の有効活用を図るため、「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」「防災機能」を併せ持った道の駅の整備を進めた。													
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度											
	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○用地取得（公社債務） ○事業計画等策定委託 ○地質調査委託 	<ul style="list-style-type: none"> ○用地取得（買戻し） ○実施設計委託 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域振興施設建設 ○防災施設建設 ○外構工事（H28～H29） 										
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○不動産鑑定 ○(仮称)道の駅「いちかわ」基本設計業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> ○構造計算適合性判定(手数料) ○(仮称)道の駅「いちかわ」実施設計業務委託 ○埋蔵文化財試掘調査(重機借上) 	<ul style="list-style-type: none"> ○道の駅施設建設工事 ○用地購入（土地開発公社より） 										
事業費	計画	16,000 千円	30,000 千円	514,000 千円										
	実績	13,023 千円	19,762 千円	518,701 千円										
数値目標等	事業内容の達成率（年度末）													
	計画	100%	100%	30%										
	実績	100%	100%	30%										
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (551,486) 千円 / (560,000) 千円 = 98.5%													
	■数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) A (230%) / (230%) × 100 = 100 点													
市民意向調査結果	■事業の取組状況 C <table border="1"> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>期待以上</td> <td>3.1%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>65.0%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>22.5%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>9.4%</td> </tr> </table>				取組状況	割合	期待以上	3.1%	期待通り	65.0%	足りない	22.5%	やり過ぎ	9.4%
取組状況	割合													
期待以上	3.1%													
期待通り	65.0%													
足りない	22.5%													
やり過ぎ	9.4%													

大分類	27 景観	中分類	「水と緑」・「歴史と文化」を活かした景観の形成										
小分類	歴史的風情を残すまち並みづくり												
事業名 (所管部署)	54 中山参道地区街なみ環境整備事業 (街づくり部 まち並み景観整備課)												
事業概要	歴史的な風情を残す景観まちづくりを推進するため、中山法華経寺につながる参道の整備及び参道に接する住宅・店舗等の新築・改修、その他整備など修景費用の一部を補助した。												
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度										
	計画	同左	同左										
実績	<ul style="list-style-type: none"> 民間修景工事 街づくり協定運営委員会との連携 まちづくり協議会への参加 	同左	同左										
事業費	計画	2,800 千円	2,500 千円	2,500 千円									
	実績	2,800 千円	1,200 千円	10,330 千円									
数値目標等	建物修景（中山参道地区）の進捗率（年度末）												
	計画	76%	88%	100%									
実績	76%	84%	96%										
達成状況等	■事業費比較	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計)											
	A	(14,330) 千円 / (7,800) 千円 = 183.7%											
市民意向調査結果	■数値目標等比較	(28 年度末の実績見込み) / (28 年度末の計画)											
	A	(96%) / (100%) × 100 = 96 点											
市民意向調査結果	当初の見込みを超えて補助限度額が高い建築物の民間修景工事が行われたことから、事業費が計画を上回った。												
	■事業の取組状況	<table border="1"> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>期待以上</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>74.6%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>6.4%</td> </tr> </table>			取組状況	割合	期待以上	4.0%	期待通り	74.6%	足りない	15.0%	やり過ぎ
取組状況	割合												
期待以上	4.0%												
期待通り	74.6%												
足りない	15.0%												
やり過ぎ	6.4%												

大分類	27 景観	中分類	まちの個性に彩られた表情豊かな景観の形成										
小分類	市民や地域が主体となる景観のまちづくり												
事業名 (所管部署)	55 都市景観形成事業 (街づくり部 まち並み景観整備課)												
事業概要	市民や地域が主体となる景観まちづくりを推進し、良好な景観形成を図るため、懇話会等の開催や景観活動団体への補助金の交付、各イベントにおける景観啓蒙活動を行った。												
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度										
	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○景観まちづくりの啓発 ○景観活動団体の支援 ○景観審議会の開催 ○景観賞 ○景観協定 ○景観懇話会の開催 ○景観計画、景観条例の運用 ○80 周年記念事業 (景観 100 選) (イルミネーション) 	<ul style="list-style-type: none"> ○景観まちづくりの啓発 ○景観活動団体の支援 ○景観審議会の開催 ○景観賞 ○景観協定 ○活動団体等との懇話 ○景観計画、景観条例の運用 	同左									
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○景観まちづくりの啓発 ・景観シンポジウムの開催 ・景観アドバイザーの派遣 2 回 ○景観活動団体の支援 ・団体への補助 5 件 ○景観審議会の開催 3 回 ○景観賞 3 件 ○景観協定 1 件 ○景観懇話会の開催 1 回 ○景観計画、景観条例の運用 ・景観届及び通知受理 197 件 ○80 周年記念事業 ・「いちかわ景観 100 選」の決定及びマップの作成 ・文化会館プロムナードにイルミネーション設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○景観まちづくりの啓発 ・パンフレットの作成 ・「市景瓦版」の発行 2 回 ・景観アドバイザーの派遣 3 件 ○景観活動団体の支援 ・団体への補助 6 件 ○景観審議会の開催 3 回 ○景観賞 3 件 ○景観協定 0 件 ○活動団体等との懇話 ・景観活動団体同士の交流会の開催 4 回 ○景観計画、景観条例の運用 ・景観届及び通知受理 179 件 	<ul style="list-style-type: none"> ○景観まちづくりの啓発 ・「市景瓦版」の発行 ・景観アドバイザーの派遣 ○景観活動団体の支援 ・団体への補助 ○景観審議会の開催 ○景観賞 ○景観協定 ○活動団体等との懇話 ○景観計画、景観条例の運用 ・景観届及び通知受理 									
事業費	計画	5,970 千円	480 千円	480 千円									
	実績	5,793 千円	428 千円	216 千円									
数値目標等	景観懇話会等の参加者数 (年間・延べ)												
	計画	100 人	100 人	100 人									
実績	65 人	111 人	100 人										
達成状況等	■ 事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) A (6,437) 千円 / (6,930) 千円 = 92.9%												
	■ 数値目標等比較 (28 年度末の実績見込み) / (28 年度末の計画) A (276 人) / (300 人) × 100 = 92 点												
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 B <table border="1" style="display: none;"> <thead> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期待以上</td> <td>7.0%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>72.3%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>18.6%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>6.4%</td> </tr> </tbody> </table>			取組状況	割合	期待以上	7.0%	期待通り	72.3%	足りない	18.6%	やり過ぎ	6.4%
取組状況	割合												
期待以上	7.0%												
期待通り	72.3%												
足りない	18.6%												
やり過ぎ	6.4%												

大分類	27 景観	中分類	まちの個性に彩られた表情豊かな景観の形成	
小分類	市民や地域が主体となる景観のまちづくり			
事業名 (所管部署)	56 ガーデニング・シティ いちかわ事業 (景観) (街づくり部 まち並み景観整備課)			
事業概要	市民発の花と緑が豊かなまちづくりを進めるため、「コンテスト」や「まちなかガーデニングフェスタ」など、市民が主役となる取り組みを本市の魅力として発信するとともに、市民や事業者など多様な主体との協働により景観の向上に寄与する取り組みを進めた。			
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度	
	計画	同左	同左	
	実績	同左	同左	
事業費	計画	6,800 千円	7,350 千円	7,350 千円
	実績	6,064 千円	7,633 千円	8,988 千円
数値目標等	サポーター数 (年度末)			
	計画	700 人	750 人	800 人
	実績	716 人	750 人	800 人
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) A (22,685) 千円 / (21,500) 千円 = 105.5%			
	■数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) A (800 人) / (800 人) × 100 = 100 点			
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B			
	<p>7.2% 68.9% 14.2% 9.7%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

大分類	28 商工業	中分類	商工業の活性化
小分類	企業誘致の促進及び既存企業の支援		
事業名 (所管部署)	57 企業・産業間連携支援事業 (経済部 商工振興課)		
事業概要	市内中小企業の新製品や優れた技術を積極的にアピールし、企業・産業間の技術連携や販路拡大に向けたマッチングの機会創出を図るため、全国規模の展示会への出展等を支援した。		
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度
	計画	同左	同左
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○全国規模の展示会に共同出展 ・展示名 エヌプラスー新たな価値をプラスする材料と技術の複合展ー ・開催日 H26.9.17～19 ・開催場所 東京ビッグサイト ・市川市ブース来場者数 約1,450人 ・出展企業 8社(8ブース) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国規模の展示会に共同出展 ・展示名 エヌプラスー新たな価値をプラスする材料と技術の複合展ー ・開催日 H27.9.30～10.2 ・開催場所 東京ビッグサイト ・市川市ブース来場者数 約1,000人 ・出展企業 7社(8ブース) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国規模の展示会に共同出展 ・展示名 エヌプラスー新たな価値をプラスする材料と技術の複合展ー ・開催日 H28.9.28～30 ・開催場所 東京ビッグサイト
事業費	計画	2,326 千円	3,189 千円
	実績	2,263 千円	3,494 千円
数値目標等	出展したことにより、技術提携または、販路拡大した企業数		
	計画	8 社	8 社
実績	8 社	7 社	8 社
達成状況等	■事業費比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) (9,259) 千円 / (8,704) 千円 = 106.4%	
	■数値目標等比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) (23社) / (24社) × 100 = 96点	
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>	

大分類	28 商工業	中分類	商工業の活性化										
小分類	起業の促進												
事業名 (所管部署)	58 女性起業家支援事業 (経済部 商工振興課)												
事業概要	産業の新陳代謝を促し、地域経済の活性化を図るため、女性の起業家や起業予定者に対して起業相談やセミナー、起業時の資金面の支援等を行い、女性が起業しやすく、また経営の安定化を図ることができる環境づくりを推進した。												
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度										
	計画	同左	同左										
実績	○創業支援事業計画に基づく事業を実施 ・女性起業相談 ・女性起業セミナー ・レディースビジネスコンテスト ・女性等創業支援補助金等の実施及び交付 ○創業支援事業計画に基づく事業を実施 ・女性起業相談 延相談件数 45 件 ・女性起業セミナー 受講者数 54 人 ・女性等創業支援補助金 4 件 (応募件数 9 件) ・レディースビジネスコンテスト 応募者数 11 人	○創業支援事業計画に基づく事業を実施 ・女性起業セミナー 受講者数 59 人 ・女性等創業支援補助金 6 件 (応募件数 10 件) ・女性起業塾 受講者数 22 人 ・レディースビジネスコンテスト 応募者数 9 人 (起業相談は別の事業により実施)	○創業支援事業計画に基づく事業を実施 ・女性起業セミナー ・女性等創業支援補助金 ・女性起業塾 ・レディースビジネスコンテスト (起業相談は別の事業により実施)										
事業費	計画	5,858 千円	11,460 千円										
	実績	4,858 千円	6,861 千円										
数値目標等	市内で起業した女性の起業件数												
	計画	25 件	25 件										
実績	15 件	10 件	25 件										
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) D (17,841) 千円 / (28,778) 千円 = 62.0%												
	■数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) D (50 件) / (75 件) × 100 = 67 点												
	女性等創業支援補助金について、当初の見込みより採択基準を満たす事業が少なかったことから、事業費が計画を下回った。また、さまざまな起業支援を行ったが、起業までに多くの時間を要するなどの理由により、当初の想定より起業件数が少なかったことから、数値目標も計画を下回った。												
市民意向調査結果	■事業の取組状況 D <table border="1"> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>期待以上</td> <td>1.3%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>40.2%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>51.4%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>7.1%</td> </tr> </table>			取組状況	割合	期待以上	1.3%	期待通り	40.2%	足りない	51.4%	やり過ぎ	7.1%
取組状況	割合												
期待以上	1.3%												
期待通り	40.2%												
足りない	51.4%												
やり過ぎ	7.1%												

大分類	29 都市農業	中分類	活力に満ちた農業の推進
小分類	農業経営等の支援		
事業名 (所管部署)	59 都市農業振興支援事業 (経済部 農政課)		
事業概要	都市化が進む中での本市の都市農業の健全な維持と発展のため、農業者への各種支援を行うとともに、新鮮で安心・安全な市川産農産物の普及を図った。また、環境保全型農業の推進のため、減農薬・減化学肥料等による持続性の高い農業生産方式と農薬の飛散防止などの事業に対し、補助金を交付した。		
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度
	計画	同左	同左
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸用廃プラスチック処理事業 ・減農薬栽培推進事業 ・農薬飛散防止施設設置事業 ・市川地域ブランド化推進事業 ・農業用灌漑用水設備設置事業 ・ちばの園芸産地整備支援事業など 	<ul style="list-style-type: none"> ○負担金・補助等 ・農産物PRイベント ソラマチひろばにて市川産農産物等のPR事業を実施 ・ちばの園芸産地整備支援事業 生産力強化支援型4件 ・減農薬栽培推進事業 減農薬栽培実施面積 67.3ha ・農薬飛散防止施設設置事業 農薬飛散防止ネット設置 99m ・園芸用廃プラスチック処理事業 処理実績 8.72 t ・市川地域ブランド化推進事業 アラブ首長国連邦ドバイ王国内における梨の海外輸出環境の調査事業に補助 ・農業青少年グループ活動育成事業 ・農産物PR事業 ・鳥獣被害防止対策 4件 ○委託 ・鳥獣被害防止対策業務 処理数 ハクビシン 23頭 ホンダタヌキ 6頭 ・放射能濃度測定システム点検整備業務 	<ul style="list-style-type: none"> ○負担金・補助等 ・農産物PRイベント ソラマチひろばにて市川産農産物等のPR事業を実施 ・ちばの園芸産地整備支援事業 生産力強化支援型4件 ・減農薬栽培推進事業 減農薬栽培実施面積 66.6ha ・農薬飛散防止施設設置事業 農薬飛散防止ネット設置 26m ・園芸用廃プラスチック処理事業 処理実績 7.02 t ・市川地域ブランド化推進事業 アラブ首長国連邦ドバイ王国内における梨の海外輸出環境の調査事業に補助 ・被災農業者向け経営体育成支援事業 農業用ハウス再建・修繕 3件 倒壊した農業ハウスの撤去 4件 ・農業青少年グループ活動育成事業 ・農産物PR事業 ・防鳥網等設置事業 ○委託 ・鳥獣被害防止対策業務 処理数 ハクビシン 23頭 ホンダタヌキ 1頭

事業費	計画	19,759 千円	27,161 千円	28,000 千円
	実績	26,230 千円	16,863 千円	27,339 千円
数値目標等	減農薬栽培実施面積（年間）			
	計画	77.0ha	77.0ha	77.0ha
	実績	66.6ha	67.3ha	67.3ha
達成状況等	■ 事業費比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) (70,432) 千円 / (74,920) 千円 = 94.0%		
	■ 数値目標等比較 B	(28年度末の実績見込み) / (28年度末の計画) (67.3ha) / (77ha) × 100 = 87 点		
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 C	<p>1.3% 60.9% 35.1% 2.7%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>		

大分類	30 水産業	中分類	持続可能な漁業環境及び経営・流通環境の整備								
小分類	漁業環境の整備										
事業名 (所管部署)	60 市川漁港整備事業 (行徳支所 地域整備課)										
事業概要	漁業環境の整備を図るため、整備後約 40 年経ち、老朽化が進む市川漁港について、親水空間の確保の視点も盛り込み、平成 42 年度の完成を目標に整備を行った。										
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度								
	計画	○国・県との協議 ○事業計画の承認	○実施設計等	○工事着手							
実績	○国・県との協議	○事業計画の承認 ○実施設計等 ・市川漁港整備実施設計等業務委託 実施設計業務 測量業務 地質調査業務 ・特殊資材等単価調査業務委託 資材調査 工事費調査	○工事着手 ・市川漁港整備工事(防波堤等) ・市川漁港整備委託(環境モニタリング調査、磁気探査調査等)								
事業費	計画	0 千円	33,000 千円	320,000 千円							
	実績	0 千円	37,123 千円	405,225 千円							
数値目標等	市川漁港の整備										
	計画	協議の継続	実施設計	工事着手							
実績	協議の継続	実施設計	工事着手								
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) A (442,348) 千円 / (353,000) 千円 = 125.3%										
	■数値目標等比較 (28 年度末の実績見込み) / (28 年度末の計画) A (工事着手) / (工事着手) × 100 = 100 点										
	平成 27 年度に実施設計を行った結果、当初予定していた施設の構造を変更して工事を行う必要が生じたことから、事業費が計画を上回った。										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B <table border="1"> <tr> <th>期待以上</th> <th>期待通り</th> <th>足りない</th> <th>やり過ぎ</th> </tr> <tr> <td>3.1%</td> <td>73.7%</td> <td>17.2%</td> <td>5.9%</td> </tr> </table>			期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	3.1%	73.7%	17.2%	5.9%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ								
3.1%	73.7%	17.2%	5.9%								

基本目標4 人と自然が共生するまち

大分類	31 自然環境	中分類	生物多様性の確保										
小分類	市内の自然環境の実態把握												
事業名 (所管部署)	61 自然環境推進事業 (環境部 自然環境課)												
事業概要	生物多様性の保全と自然環境の持続可能な利用を推進するため、自然環境政策専門員を活用して自然環境の実態把握を行うとともに、モニタリングを進めるためのシステム構築、シンポジウムの開催等を行った。												
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度										
	計画	実績	計画										
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○自然環境の実態把握の実施とモニタリング手法の構築 ○庁内推進組織の構築 ○生物多様性の市民、事業者等多様な主体への普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然環境の実態把握とモニタリング調査の実施 ○庁内推進組織の運営 ○生物多様性の普及促進と多様な主体による協働の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然環境の実態把握とモニタリング調査の実施 ○庁内推進組織の運営 ○生物多様性の普及促進と多様な主体による協働の推進 										
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○生物多様性モニタリング調査 ・市民参加型の生物多様性モニタリングシステムを構築 ○生物多様性セミナー 参加者 28人 (市内事業者を対象) ○巨樹・巨木等の調査及び環境団体との意見交換会 3回 ○図書(発見 市川の自然)の販売 44冊 	<ul style="list-style-type: none"> ○生物多様性モニタリング調査 ・自然環境政策専門員による専門的調査(鳥類ルートセンサス調査) ・市民参加型調査(いちかわ生きものマップ調査) モニタリング調査員 66人 ○生物多様性セミナー 参加者 51人 (事業者と緑のボランティアを対象) ○生物多様性いちかわ戦略推進会議 1回開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○生物多様性モニタリング調査 ○生物多様性セミナー ○生物多様性いちかわ戦略推進会議 										
事業費	計画	2,101 千円	3,000 千円										
	実績	2,051 千円	1,266 千円										
数値目標等	参加者数(26年度はシンポジウム、27年度以降はモニタリング調査)(年間・延べ)												
	計画	150 人	100 人	150 人									
実績	160 人	117 人	155 人										
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) D (5,361) 千円 / (8,101) 千円 = 66.2%												
	■数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) A (432 人) / (400 人) × 100 = 108 点												
	モニタリング調査について、当初予定していた調査方法などを精査した結果、事業費が計画を下回った。												
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B <table border="1"> <caption>事業の取組状況調査結果</caption> <thead> <tr> <th>取組状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期待以上</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>74.0%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>22.3%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>1.6%</td> </tr> </tbody> </table>			取組状況	割合	期待以上	21%	期待通り	74.0%	足りない	22.3%	やり過ぎ	1.6%
取組状況	割合												
期待以上	21%												
期待通り	74.0%												
足りない	22.3%												
やり過ぎ	1.6%												

大分類	32 公園・緑地	中分類	花と緑が豊かなまちづくり								
小分類	花と緑が豊かな公共施設づくり										
事業名 (所管部署)	62 ガーデニング・シティ いちかわ事業（整備） (水と緑の部 公園緑地課)										
事業概要	市民が健やかにいきいきと暮らせる「健康都市いちかわ」を実現するため、市民との協働により市の花であるバラや四季の草花で市内各所の要所を彩ることに より、「花と緑の街いちかわ」を目指した取り組みを行った。										
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度								
	計画	実績	計画	実績							
事業費	計画	14,900 千円	16,400 千円	12,500 千円							
	実績	12,156 千円	10,995 千円	8,000 千円							
数値目標等	花壇整備面積（年間）										
	計画	890 m ²	1,080 m ²	1,825 m ²							
達成状況等	■ 事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) C (31,151) 千円 / (43,800) 千円 = 71.1%										
	■ 数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) D (1,226 m ²) / (3,795 m ²) × 100 = 32 点										
現地調査などの結果、低木植栽を花壇設置等へ変更したことにとともない、整理面積が見直されたことから、事業費および数値目標ともに計画を下回った。											
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 D										
<table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>3.2%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>45.2%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>41.6%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>10.0%</td> </tr> </table>				期待以上	3.2%	期待通り	45.2%	足りない	41.6%	やり過ぎ	10.0%
期待以上	3.2%										
期待通り	45.2%										
足りない	41.6%										
やり過ぎ	10.0%										

大分類	32 公園・緑地	中分類	水と緑のネットワークの形成	
小分類	地域の資産活用と健康増進の場の提供			
事業名 (所管部署)	63 国分川調整池上部活用事業 (水と緑の部 公園緑地課)			
事業概要	水辺の環境の保全を図り、自然と触れ合える場を創造するため、国分川調節池を有効活用し、上部に散策・休息する広場やスポーツ広場等を整備した。			
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度	
	計画	実績	計画	
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・中池広場・駐車場整備(2.3ha) ・トイレ・給水工事 ・給水施設設計委託 ・草刈・単価調査委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・中池広場整備(1.0ha) ・トイレ・仮設事務所整備 ・下池広場設計(2.1ha) ・草刈・単価調査委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・下池広場整備(2.1ha) ・下池広場設計(2.8ha) ・草刈・単価調査委託 	
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○設計・調査 ・単価特別調査 ○整備(中池広場・駐車場整備1.83ha) ・中池広場除草委託 ・緑地サイン製作委託 ・緑地開園式典営業務委託 ・中池広場仮設立入防止柵設置委託 ・中池広場給水設備実施設計業務委託 ・中池広場整備工事その1 ・中池広場整備工事その2 ・中池広場整備工事その3 ・中池広場可動式便所整備工事 ・給水設備整備工事 ・給水申込給付金 	<ul style="list-style-type: none"> ○設計・調査 ・緑地(下池広場)上部活用整備実施設計(2.1ha) ・中池広場地質調査 ・単価特別調査 ○整備(中池広場整備1.76ha) ・多目的広場草刈等業務委託 ・多目的広場芝散水業務委託 ・立入防止柵移設等業務委託 ・仮設柵設置業務委託 ・中池広場除草委託 ・中池広場高木支柱設置業務委託 ・仮設柵撤去業務委託 ・中池散策休息広場整備工事 ・中池遊具広場整備工事 ・中池広場植栽整備工事 ・中池広場可動式便所整備工事 ・防球ネット整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> ○設計・調査 ・下池広場設計(約2.8ha) ・下池広場地質調査 ・単価特別調査 ○整備(下池広場整備2.1ha) ・下池散策休息広場整備工事 ・下池広場植栽整備工事 	
事業費	計画	107,136 千円	85,500 千円	84,000 千円
	実績	108,596 千円	74,175 千円	70,322 千円
数値目標等	整備率(年度末)			
	計画	40%	55%	74%
実績	33%	51%	72%	
達成状況等	■ 事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (253,093) 千円 / (276,636) 千円 = 91.5%			
	■ 数値目標等比較 (28年度末の実績見込み) / (28年度末の計画) A (72%) / (74%) × 100 = 97 点			
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 A			

大分類	33 河川・水辺	中分類	水辺の環境の保全、三番性の再生・保全	
小分類	多自然の河川の整備、三番瀬の干潟化の推進			
事業名 (所管部署)	64 三番瀬保全再生 (行徳支所 地域整備課)			
事業概要	三番瀬の再生・保全を図るため、干潟化の推進と市民が海辺に親しめる海辺づくりを進めた。			
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度	
	計画	同左	同左	
実績	○計画通り事業を実施	○計画通り事業を実施	○計画通り事業を実施	
事業費	計画	0 千円	0 千円	0 千円
	実績	0 千円	0 千円	0 千円
数値目標等	干潟的環境の拡大や自然再生の実現に向けた県や関係者との協議などの取り組み			
	計画	協議の継続	同左	同左
実績	協議の継続	同左	同左	
達成状況等	■事業費比較	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計)		
	—	(0) 千円 / (0) 千円 = 0%		
市民意向調査結果	■事業の取組状況	4.6% 67.7% 27.2% 0.5%		
	B	<p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>		

大分類	34 地球環境	中分類	地球温暖化への対応								
小分類	新エネルギー利用の推進										
事業名 (所管部署)	65 住宅用太陽光発電システム設置助成事業 (環境部 環境政策課)										
事業概要	再生可能エネルギーの利用を促進するため、住宅用太陽光発電システムの設置に要する費用の一部を助成した。										
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度								
	計画	同左	同左								
実績	○住宅用太陽光発電システムの設置助成 ○広報、Web、講座等による事業の周知 ○住宅用太陽光発電システムの設置助成 ・2.0kW 以下 9 件 補助額 240,000 円 ・2.1～2.5kW 以下 10 件 補助額 363,000 円 ・2.6～3.0kW 以下 27 件 補助額 1,155,000 円 ・3.1～3.5kW 以下 21 件 補助額 1,036,500 円 ・3.6～4.0kW 以下 22 件 補助額 1,222,500 円 ・4.1kW 以上 82 件 補助額 4,920,000 円	○住宅用太陽光発電システムの設置助成 ・2.0kW 未満 4 件 補助額 93,000 円 ・2.0～2.5kW 未満 9 件 補助額 312,000 円 ・2.5～3.0kW 未満 11 件 補助額 451,500 円 ・3.0～3.5kW 未満 28 件 補助額 1,345,500 円 ・3.5～4.0kW 未満 22 件 補助額 1,224,000 円 ・4.0kW 以上 99 件 補助額 5,940,000 円	○住宅用太陽光発電システムの設置助成								
事業費	計画	20,013 千円	20,013 千円								
	実績	8,997 千円	9,396 千円								
数値目標等	設置出力値 (年度末)										
	計画	1,330kW	1,330kW								
実績	712kW	760kW	819kW								
達成状況等	■事業費比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) D (35,492) 千円 / (60,039) 千円 = 59.1%										
	■数値目標等比較 (3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) D (2,291kW) / (3,990kW) × 100 = 57 点										
	国による補助事業の受付が平成 25 年度で終了となったこと、また消費税の引き上げの影響などにより、申請件数が当初の見込みに到達しなかったことなどから、事業費および数値目標ともに計画を下回った。										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 D <table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>期待通り</td> <td>足りない</td> <td>やり過ぎ</td> </tr> <tr> <td>1.0%</td> <td>34.1%</td> <td>57.2%</td> <td>7.7%</td> </tr> </table>			期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	1.0%	34.1%	57.2%	7.7%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ								
1.0%	34.1%	57.2%	7.7%								

大分類	34 地球環境	中分類	地球温暖化への対応								
小分類	温室効果ガスの排出抑制										
事業名 (所管部署)	66 住宅用省エネルギー設備導入促進事業 (環境部 環境政策課)										
事業概要	地球温暖化対策の推進とクリーンで自立・分散型エネルギーの利用を促進するため、住宅用燃料電池コージェネレーションシステムをはじめとした省エネルギー設備の設置費用の一部を助成した。										
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度								
	計画	同左	同左								
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅用省エネルギー設備の設置助成 ・燃料電池（エネファーム） 78件 補助額 7,800,000円 ・リチウムイオン蓄電池 14件 補助額 1,400,000円 ・HEMS 25件 補助額 250,000円 ・電気自動車充電設備 0件 補助額 0円 	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅用省エネルギー設備の設置助成 ・燃料電池（エネファーム） 110件 補助額 11,000,000円 ・リチウムイオン蓄電池 42件 補助額 4,200,000円 ・HEMS 38件 補助額 380,000円 ・電気自動車充電設備 1件 補助額 50,000円 ・太陽熱利用 0件 補助額 0円 	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅用省エネルギー設備の設置助成 ・燃料電池（エネファーム） ・リチウムイオン蓄電池 ・HEMS ・電気自動車充電設備 ・太陽熱利用 								
事業費	計画	9,619千円	16,819千円	16,819千円							
	実績	9,456千円	15,692千円	13,775千円							
数値目標等	設備導入世帯数（年度末）										
	計画	230世帯	230世帯	230世帯							
実績	97世帯	160世帯	167世帯								
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (38,923)千円 / (43,257)千円 = 90.0%										
	■数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) D (424世帯) / (690世帯) × 100 = 61点										
	申請件数が見込みより少なかったことから、数値目標が計画を下回った。なお、申請件数については、見込みより少なくなっているものの、補助単価の高い設備の導入が多かったことから、事業費については概ね計画通りとなった。										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 D <table border="1"> <tr> <th>期待以上</th> <th>期待通り</th> <th>足りない</th> <th>やり過ぎ</th> </tr> <tr> <td>1.0%</td> <td>34.0%</td> <td>57.8%</td> <td>7.2%</td> </tr> </table>			期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	1.0%	34.0%	57.8%	7.2%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ								
1.0%	34.0%	57.8%	7.2%								

大分類	35 生活環境		中分類	身近な環境の保全		
小分類	大気環境の保全					
事業名 (所管部署)	67 大気常時監視整備事業 (環境部 環境保全課)					
事業概要	大気汚染状況の常時監視を行うため、測定局および親局において、大気汚染自動測定機を計画的に設置・更新し、適正な管理を行った。					
年度ごとの事業内容	計画	26 年度 (更新機器：計3機) ・風向風速計：2機 ・気象観測計：1機	27 年度 (更新機器：計3機) ・窒素酸化物自動測定機：1機 ・浮遊粒子状物質自動測定機：1機 ・炭化水素自動測定機：1機	28 年度 (更新機器：計1機) ・オキシダント自動測定機：1機		
	実績	(更新機器：計4機) ○一般環境大気測定局 ・二酸化硫黄自動測定機 3機 ・窒素酸化物自動測定機 5機 ・オキシダント自動測定機 3機 ・炭化水素自動測定機 1機 ・浮遊粒子状物質自動測定機 5機 ・微小粒子状物質自動測定機 2機 ・風向・風速計 5機 (うち2機更新) ・気象計 1機 (うち1機更新) ○自動車排出ガス測定局 ・窒素酸化物自動測定機 3機 (うち1機更新・27年度更新予定分) ・一酸化炭素自動測定機 3機 ・炭化水素自動測定機 1機 ・浮遊粒子状物質自動測定機 3機 ・微小粒子状物質自動測定機 1機	(更新機器：計2機) ○一般環境大気測定局 ・二酸化硫黄自動測定機 3機 ・窒素酸化物自動測定機 5機 ・オキシダント自動測定機 3機 ・炭化水素自動測定機 1機 (うち1機更新) ・浮遊粒子状物質自動測定機 5機 (うち1機更新) ・微小粒子状物質自動測定機 2機 ・風向・風速計 5機 ・気象計 1機 ○自動車排出ガス測定局 ・窒素酸化物自動測定機 3機 ・一酸化炭素自動測定機 3機 ・炭化水素自動測定機 1機 ・浮遊粒子状物質自動測定機 3機 ・微小粒子状物質自動測定機 1機	(更新機器：計1機) ○一般環境大気測定局 ・二酸化硫黄自動測定機 3機 ・窒素酸化物自動測定機 5機 ・オキシダント自動測定機 3機 (うち1機更新) ・炭化水素自動測定機 1機 ・浮遊粒子状物質自動測定機 5機 ・微小粒子状物質自動測定機 2機 ・風向・風速計 5機 ・気象計 1機 ○自動車排出ガス測定局 ・窒素酸化物自動測定機 3機 ・一酸化炭素自動測定機 3機 ・炭化水素自動測定機 1機 ・浮遊粒子状物質自動測定機 3機 ・微小粒子状物質自動測定機 1機		
事業費	計画	9,416 千円	12,824 千円	6,414 千円		
	実績	9,154 千円	9,491 千円	7,920 千円		
数値目標等	測定機器の更新率					
	計画	100%	100%	100%		
実績	133%	67%	100%			
達成状況等	■ 事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (26,565) 千円 / (28,654) 千円 = 92.7%					
	■ 数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) A (300%) / (300%) × 100 = 100 点					
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 A					
<p>期待以上 期待通り 足りない やり過ぎ</p>						

大分類	35 生活環境	中分類	市民の健康と安全で清潔な生活環境の保持	
小分類	市民・事業者の生活環境の保持に関する活動支援			
事業名 (所管部署)	68 市民マナー条例推進事業 (市民部 市民安全課)			
事業概要	受動喫煙等から市民の健康被害を防ぎ、安全で清潔な生活環境を守るため、「市民マナー条例」(通称)を推進し、巡回指導や啓発活動等を実施した。			
年度ごとの事業内容	計画	26年度 ・市民マナー協力団体登録団体数の拡大 ・市民マナーサポーター活動の拡充 ・健康・安全・清潔な地域づくり協議会の活動支援	27年度 同左	28年度 同左
	実績	○路面シートの貼付 598枚 ○啓発シールの配布 2,191枚 ○市民マナー条例推進指導員の巡回 ・市民マナー条例推進指導員 12人(警察OB) ・過料件数 1,891件 ○市民マナー条例啓発ポスター・標語コンクール ○啓発標語優秀作品の懸垂幕設置 ・3箇所(本庁舎、行徳支所、大柏出張所) ○横断幕の設置(12箇所) ○市民マナーサポーター ・登録者数(H27.3末時点) 199人 ○市民マナー協力団体 ・登録団体数(H27.3末時点) 9団体(民間企業、大学、高齢者クラブ等)	○路面シートの貼付 898枚 ○啓発シールの配布 1,319枚 ○市民マナー条例推進指導員の巡回 ・市民マナー条例推進指導員 12人(警察OB) ・過料件数 1,936件 ○市民マナー条例啓発ポスター・標語コンクール ○啓発標語優秀作品の懸垂幕設置 ・3箇所(本庁舎、行徳支所、大柏出張所) ○市民マナーサポーター ・登録者数(H28.3末時点) 196人 ○市民マナー協力団体 ・登録団体数(H28.3末時点) 15団体(民間企業、大学、高齢者クラブ等)	○路面シートの貼付 ○啓発シールの配布 ○市民マナー条例推進指導員の巡回 ○市民マナー条例啓発ポスター・標語コンクール ○啓発標語優秀作品の懸垂幕設置 ○市民マナーサポーター ○市民マナー協力団体(民間企業、大学、高齢者クラブ等)
事業費	計画	45,178千円	45,178千円	45,178千円
	実績	43,982千円	45,362千円	44,818千円
数値目標等	市民マナー協力団体の登録数			
	計画	10団体	15団体	20団体
実績	9団体	15団体	20団体	
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (134,162)千円 / (135,534)千円 = 99.0%			
	■数値目標等比較 (28年度末の実績見込み) / (28年度末の計画) A (20団体) / (20団体) × 100 = 100点			
市民意向調査結果	■事業の取組状況 C			
<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>				

大分類	36 資源循環型社会	中分類	3 Rの推進									
小分類	廃棄物の発生の抑制											
事業名 (所管部署)	69 ごみ発生抑制等啓発事業 (清掃部 循環型社会推進課)											
事業概要	ごみの発生の抑制を図るため、ごみ分別ガイドブックや小学生用副読本等を配布し市民に情報を提供するとともに、市民が集まるイベントでの啓発活動や各地域での説明会を実施した。											
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度									
	計画	同左	同左									
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ分別ガイドブック・チラシや小学生用副読本等の配布 ・イベントでの啓発活動や各地域での出前説明会の実施 	同左	同左									
事業費	計画	3,422 千円	3,422 千円	3,422 千円								
	実績	3,319 千円	3,683 千円	4,899 千円								
数値目標等	説明会参加者数 (年間・延べ)											
	計画	1,000 人	1,000 人	1,000 人								
実績	2,958 人	3,132 人	7,500 人									
達成状況等	■事業費比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) (11,901) 千円 / (10,266) 千円 = 115.9%										
	■数値目標等比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) (13,590 人) / (3,000 人) × 100 = 453 点										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B	<table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>6.5%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>67.3%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>23.3%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>2.9%</td> </tr> </table>			期待以上	6.5%	期待通り	67.3%	足りない	23.3%	やり過ぎ	2.9%
期待以上	6.5%											
期待通り	67.3%											
足りない	23.3%											
やり過ぎ	2.9%											

大分類	36 資源循環型社会	中分類	3 Rの推進	
小分類	資源の循環的な利用の促進			
事業名 (所管部署)	70 分別収集促進事業 (清掃部 循環型社会推進課 清掃事業課)			
事業概要	資源の循環的な利用の推進のため、市民への排出ルールへの周知・啓発を行うとともに、分別収集体制を維持し、ごみの減量と資源化を進めた。			
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度	
	<p>計画</p> <p>○12 分別収集の維持と適正排出の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃やすごみ ・燃やさないごみ ・有害ごみ ・大型ごみ ・プラスチック製容器包装類 ・ビン ・カン ・新聞 ・雑誌 ・ダンボール ・紙パック ・布 	同左	同左	
実績	<p>○12 分別ごみ・資源物の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃やすごみ 79,561t ・燃やさないごみ・有害ごみ 3,821t ・大型ごみ 1,633t ・ビン・カン 4,067t ・プラスチック製容器包装類 5,754t ・紙類・布類 8,594t ・小型家電 2t <p>12 分別収集等の総排出量 108,081 t (集団資源回収量 4,651t 含み小型家電 2t 除く)</p>	<p>○12 分別ごみ・資源物の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃やすごみ 78,735t ・燃やさないごみ・有害ごみ 3,765t ・大型ごみ 1,729t ・ビン・カン 4,044t ・プラスチック製容器包装類 5,869t ・紙類・布類 8,412t ・小型家電 2t <p>12 分別収集等の総排出量 107,139 t (集団資源回収量 4,585t 含み小型家電 2t 除く)</p>	<p>○12 分別ごみ・資源物の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃やすごみ ・燃やさないごみ・有害ごみ ・大型ごみ ・ビン・カン ・プラスチック製容器包装類 ・紙類・布類 ・小型家電 	
事業費	計画	2,062,795 千円	2,062,795 千円	2,062,795 千円
	実績	2,062,050 千円	2,146,025 千円	2,158,174 千円
数値目標等	一日一人当たりの排出量 (年間)			
	計画	840 g	835 g	830 g
実績	828 g	814 g	814 g	
達成状況等	<p>■ 事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計)</p> <p>A (6,366,249) 千円 / (6,188,385) 千円 = 102.9%</p>			
	<p>■ 数値目標等比較 (28年度末の実績見込み) / (28年度末の計画)</p> <p>A 200- (814 g) / (830 g) × 100 = 102 点</p>			
市民意向調査結果	<p>■ 事業の取組状況</p> <p>B</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□ 期待以上 □ 期待通り ■ 足りない ■ やり過ぎ</p>			

※ごみの排出量については減少することが目指していることから、減少の度合いを評価するように点数化した

基本目標5 市民と行政がともに築くまち

大分類	37 協働・市民参加	中分類	協働によるまちづくりの推進								
小分類	協働の仕組みづくりの推進										
事業名 (所管部署)	71 大学との連携 (企画部 企画課)										
事業概要	協働によるまちづくりを推進するため、大学と行政の双方が持つ資源を相互に活用して、地域への貢献など広範な連携事業を推進した。										
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度								
	計画	27年度 同左	28年度 同左								
	○事業計画に基づき連携事業を実施・検証										
	○計画通り事業を実施	○計画通り事業を実施	○計画通り事業を実施								
事業費	計画	0千円	0千円								
	実績	0千円	0千円								
数値目標等	包括協定連携事業実施率(実施事業数/計画事業数)(年間)										
	計画	80%	90%								
	実績	87%	118%								
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) — (0)千円 / (0)千円 = 0%										
	■数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) A (305%) / (270%) × 100 = 113点										
市民意向調査結果	■事業の取組状況 A <table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>5.6%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>75.6%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>15.9%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>2.9%</td> </tr> </table>			期待以上	5.6%	期待通り	75.6%	足りない	15.9%	やり過ぎ	2.9%
期待以上	5.6%										
期待通り	75.6%										
足りない	15.9%										
やり過ぎ	2.9%										

大分類	38 情報の発信・提供	中分類	市民と行政の情報の共有化	
小分類	広報活動の充実			
事業名 (所管部署)	72 インターネット放送局運営事業 (企画部 広報広聴課)			
事業概要	市の事業や行政活動を市民に広く紹介するとともに、本市の魅力在全国に配信するため、インターネットを活用した情報提供を行った。			
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度	
	計画	同左	同左	
	実績	実績	実績	
事業費	計画	1,846 千円	1,846 千円	1,846 千円
	実績	1,822 千円	1,731 千円	1,382 千円
数値目標等	視聴者数 (年間・延べ再生回数)			
	計画	15,000 件	15,500 件	16,000 件
	実績	18,145 件	15,788 件	16,000 件
達成状況等	■ 事業費比較 B	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) (4,935) 千円 / (5,538) 千円 = 89.1%		
	■ 数値目標等比較 A	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画数値目標計) (49,933 件) / (46,500 件) × 100 = 107 点		
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 B	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□ 期待以上 □ 期待通り ■ 足りない ■ やり過ぎ</p>		

大分類	39 地域コミュニティ・市民活動	中分類	地域コミュニティの活性化	
小分類	自治会活動への支援			
事業名 (所管部署)	73 自治会総合支援事業 (市民部 地域振興課)			
事業概要	市民協働の主体である自治会が永続的に運営できるようにするため、「自治会の加入促進」「加入者へのインセンティブを広げる」「PRの強化」「活動支援」の4本柱で、総合的に支援した。			
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度	
	計画	同左	同左	
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会の加入促進 <ul style="list-style-type: none"> ・加入促進マニュアル作成 ○加入者へのインセンティブ拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ポイント制度との連携 ○PRの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会PR映像の作成及び公共施設等での放映 ○活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会のイベントの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会の加入促進 <ul style="list-style-type: none"> ・花の種の袋に自治会加入のPRを掲載して、各自治会に配布 ・懸垂幕を本庁前に設置 ・自治会連合協議会と連携して、市民まつり、行徳まつり等で加入促進リーフレット及び啓発グッズを配布、自治会活動を紹介するDVD放映・パネル展示を実施 ○PRの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・市公式 Web サイトで自治会行事の紹介 ・市民課等の待ち時間やイベント等で自治会活動紹介DVD放送 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会の加入促進 <ul style="list-style-type: none"> ・花の種の袋に自治会加入のPRを掲載して、各自治会に配布 ・懸垂幕を本庁前に設置 ・自治会連合協議会と連携して、市民まつり、行徳まつり等で加入促進リーフレット及び啓発グッズを配布、自治会活動を紹介するDVD放映・パネル展示を実施 ○PRの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・市公式 Web サイトで自治会行事の紹介 ・市民課等の待ち時間やイベント等で自治会活動紹介DVD放送回数が増 ○活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動育成塾（年3回） 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会の加入促進 ○PRの強化 ○活動支援

事業費	計画	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円								
	実績	622 千円	453 千円	689 千円								
数値目標等	自治会アンケートで自治会総合支援事業について効果があるとの回答した割合(年度末)											
	計画	60%	70%	80%								
	実績	50%	50%	60%								
達成状況等	■ 事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) D (1,764) 千円 / (3,000) 千円 = 58.8%											
	■ 数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) C (160%) / (210%) × 100 = 76 点											
自治会加入促進のためのリーフレット印刷数の精査、またパネルの作成が平成26年度に終了したこと、地域活動育成塾など講師費・会場費の見直しを行ったことから、経費を抑えることができ、事業費について計画を大幅に下回ることができた。 また、自治会加入促進のための取り組みを行ったが、新規加入につなげるためのPRについて更なる工夫が求められていることなどから、数値目標についても計画を下回った。												
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 D <table border="1"> <caption>事業の取組状況調査結果</caption> <thead> <tr> <th>期待以上</th> <th>期待通り</th> <th>足りない</th> <th>やり過ぎ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.1%</td> <td>48.2%</td> <td>45.8%</td> <td>4.9%</td> </tr> </tbody> </table>				期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	1.1%	48.2%	45.8%	4.9%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ									
1.1%	48.2%	45.8%	4.9%									

大分類	40 政策展開	中分類	法務能力の向上	
小分類	法制実務研修の実施			
事業名 (所管部署)	74 職員研修事業 (総務部 人事課)			
事業概要	時代の変化や市政の課題に的確に対応できる知識・能力を持った職員を育成するため、『市川市人材育成基本方針』及び『職員研修基本方針』に基づき、階層別研修などの集合研修を実施した。特に、政策形成能力の基礎となる法的知識を高めるため、階層別の必修研修として法令研修を実施した。			
年度ごとの事業内容	26年度	27年度	28年度	
	計画	同左	同左	
	実績	同左	同左	
事業費	計画	12,422千円	12,422千円	12,422千円
	実績	11,299千円	10,602千円	11,668千円
数値目標等	法令研修受講者数(年間・延べ)			
	計画	190人	190人	190人
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (33,569)千円 / (37,266)千円 = 90.1%			
	■数値目標等比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計) A (855人) / (570人) × 100 = 150点			
市民意向調査結果	■事業の取組状況 <p>期待以上 期待通り 足りない やり過ぎ</p>			

大分類	41 行政体制	中分類	民間活力の活用	
小分類	PPPの推進			
事業名 (所管部署)	75 民営化推進事業 (経営改革室 経営改革課)			
事業概要	効率的な行政運営を推進するため、直営で管理している公の施設の経営手法の見直しや、経営主体の民営化等を進めた。			
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度	
	計画	実績	計画	
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○地方卸売市場 <ul style="list-style-type: none"> ・民営化のロードマップの再構築 ○保育園 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度の保育園の私立化支援 ○自転車等駐車場 <ul style="list-style-type: none"> ・民営化支援 ○保健医療福祉センター <ul style="list-style-type: none"> ・経営効率化支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○地方卸売市場 <ul style="list-style-type: none"> ・民営化支援 ○保育園 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度の保育園の私立化(4園) ○自転車等駐車場 <ul style="list-style-type: none"> ・民営化支援 ○保健医療福祉センター <ul style="list-style-type: none"> ・経営効率化支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○地方卸売市場 <ul style="list-style-type: none"> ・民営化支援 ○保育園 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度の保育園の私立化(2園) ○自転車等駐車場 <ul style="list-style-type: none"> ・民営化支援 ○保健医療福祉センター <ul style="list-style-type: none"> ・経営効率化支援 	
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○地方卸売市場 <ul style="list-style-type: none"> ・民営化準備会設立 ○自転車等駐車場 <ul style="list-style-type: none"> ・市営駐輪場の運営手法検討 ○保健医療福祉センター <ul style="list-style-type: none"> ・取組状況および進捗状況の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ○地方卸売市場 <ul style="list-style-type: none"> ・民営化準備会開催 ○保育園 <ul style="list-style-type: none"> ・3園の民営化 ○自転車等駐車場 <ul style="list-style-type: none"> ・市営駐輪場の使用料の見直し ○保健医療福祉センター等運営手法見直し施設への支援 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉施設3施設の民営化が決定 	<ul style="list-style-type: none"> ○地方卸売市場 <ul style="list-style-type: none"> ・民営化を推進 ○保育園 <ul style="list-style-type: none"> ・3園の民営化 ○自転車等駐車場 <ul style="list-style-type: none"> ・市営駐輪場の経営状況を分析 ○保健医療福祉センター <ul style="list-style-type: none"> ・介護老人保健施設ゆうゆうの民営化 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉施設南八幡ワークスの民営化 	
事業費	計画	0千円	0千円	0千円
	実績	0千円	0千円	0千円
数値目標等	民営化した施設数			
	計画	—	4施設 (保育園4園)	2施設 (保育園2園)
実績	—	3施設 (保育園3園)	5施設 (保育園3園、介護老人保健施設ゆうゆう、南八幡ワークス)	
達成状況等	■事業費比較	(3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計)		
	—	(0)千円 / (0)千円 = 0%		
市民意向調査結果	■数値目標等比較	(3年間の実績計) / (3年間の計画数値目標計)		
	A	(8施設) / (6施設) × 100 = 133点		
市民意向調査結果	■事業の取組状況			
		<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>		

大分類	42 窓口・相談機能	中分類	市民相談機能の充実	
小分類	市民の目線に立った相談の充実			
事業名 (所管部署)	76 総合市民相談・案内事業 (市民部 総合市民相談課)			
事業概要	市民の目線に立った相談の充実を図るため、市民相談員及び弁護士等の専門家による相談を実施した。			
年度ごとの事業内容	計画	26 年度 ・民事一般相談及び法律相談などの特別相談	27 年度 同左	28 年度 同左
	実績	○一般相談 ・市政相談 464 件 ・民事相談 4,152 件 ・簡易相談 495 件 ○特別相談 ・弁護士法律相談 745 件 ・司法書士法律相談 333 件 ・行政相談 6 件 ・不動産取引相談 183 件 ・登記相談 100 件 ・税金相談 110 件 ・交通事故相談 124 件 ・行政書士相談 73 件 合計 6,785 件	○一般相談 ・市政相談 258 件 ・民事相談 3,194 件 ・簡易相談 350 件 ○特別相談 ・弁護士法律相談 754 件 ・司法書士法律相談 331 件 ・行政相談 3 件 ・不動産取引相談 195 件 ・登記相談 130 件 ・税金相談 94 件 ・交通事故相談 107 件 ・行政書士相談 55 件 合計 5,471 件	○一般相談 ・市政相談 ・民事相談 ・簡易相談 ○特別相談 ・弁護士法律相談 ・司法書士法律相談 ・行政相談 ・不動産取引相談 ・登記相談 ・税金相談 ・交通事故相談 ・行政書士相談
事業費	計画	15,020 千円	15,020 千円	15,020 千円
	実績	12,895 千円	13,498 千円	10,019 千円
数値目標等	市民相談件数 (年間・延べ)			
	計画	9,000 件	9,000 件	9,000 件
実績	6,785 件	5,471 件	6,000 件	
達成状況等	■事業費比較 B	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) (36,412) 千円 / (45,060) 千円 = 80.8%		
	■数値目標等比較 A	(3 年間の実績平均) / (3 年間の計画数値平均) 200- (6,085 件) / (9,000 件) × 100 = 132 点*		
市民意向調査結果	■事業の取組状況 A	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>		

※相談件数については減少することを目指していることから、減少の度合いを評価するように点数化した

大分類	43 財政運営	中分類	自主財源の充実・確保									
小分類	税財源の確保											
事業名 (所管部署)	77 納税環境整備事業 (財政部 納税・債権管理課)											
事業概要	納税者の利便性向上を図るため、マルチペイメントネットワークを活用し、コンビニエンスストアにおける納税やインターネット上での納税、クレジットカードによる納税、口座振替を実施した。											
年度ごとの事業内容	計画	26年度 ・コンビニ納税の実施 ・インターネット上での納税の実施 ・クレジットカード納税の実施 ・口座振替の実施	27年度 同左	28年度 同左								
	実績	・コンビニ納税 ・インターネット納税 ・クレジットカード納税 ・口座振替 による納付利用件数 895,704件	・コンビニ納税 ・インターネット納税 ・クレジットカード納税 ・口座振替 による納付利用件数 903,615件	・コンビニ納税 ・インターネット納税 ・クレジットカード納税 ・口座振替 による納付を実施								
事業費	計画	93,741千円	95,803千円	97,910千円								
	実績	93,846千円	102,188千円	100,968千円								
数値目標等	コンビニ納税、インターネット納税、クレジットカード納税、口座振替における納付利用件数（年間延べ件数）											
	計画	890,000件	910,000件	930,000件								
実績	895,704件	903,615件	930,000件									
達成状況等	■ 事業費比較 A	(3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) (297,002)千円 / (287,454)千円 = 103.3%										
	■ 数値目標等比較 A	(3年間の実績平均) / (3年間の計画数値平均) (909,773件) / (910,000件) × 100 = 100点										
市民意向調査結果	■ 事業の取組状況 A	<table border="1"> <tr> <td>期待以上</td> <td>8.5%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>75.3%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>13.1%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>3.0%</td> </tr> </table>			期待以上	8.5%	期待通り	75.3%	足りない	13.1%	やり過ぎ	3.0%
期待以上	8.5%											
期待通り	75.3%											
足りない	13.1%											
やり過ぎ	3.0%											

大分類	44 広域行政	中分類	広域行政の推進
小分類	広域行政の調査・研究		
事業名 (所管部署)	78 広域行政推進事業 (企画部 企画課)		
事業概要	近隣自治体等との連携の推進を図るため、情報交換や共通課題の解決に向けた調査・研究などを行います。また、必要に応じ国や県への働きかけを行った。		
年度ごとの事業内容	26 年度	27 年度	28 年度
	計画	同左	同左
実績	○京葉広域行政連絡協議会 ・広域行政事業の調査・研究 ・県への要望活動 等	○京葉広域行政連絡協議会 船橋市および浦安市と連携 (主な取り組み) ・広域行政事業の調査・研究 ・広域行政課題への対応 ・県に対する要望活動 ・広域行政問題研修会の開催	○京葉広域行政連絡協議会 船橋市および浦安市と連携 (主な取り組み) ・広域行政事業の調査・研究 ・広域行政課題への対応 ・県に対する要望活動 ・広域行政問題研修会の開催
事業費	計画	150 千円	150 千円
	実績	150 千円	150 千円
数値目標等	国・県への要望に対する前向きな回答の件数 (年間・延べ)		
	計画	7 件	7 件
実績	7 件	7 件	7 件
達成状況等	■事業費比較 A	(3 年間の実績計) / (3 年間の計画事業費計) (450) 千円 / (450) 千円 = 100.0%	
	■数値目標等比較 A	(3 年間の実績平均) / (3 年間の計画数値平均) (7 件) / (7 件) × 100 = 100 点	
市民意向調査結果	■事業の取組状況 A	<p>2.2% 77.4% 19.2% 1.2%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>	

大分類	45 情報化	中分類	ICTを生かした行政事務の効率化の推進									
小分類	情報システムの調達の最適化											
事業名 (所管部署)	79 個人番号制度に対応するための基幹系システム改修事業 (企画部 情報システム課)											
事業概要	社会保障・税制度で個人番号の利活用を図るため、自治体間の枠を超えた情報共有・情報連携できる仕組みの構築(既存基幹系システムの改修)を行った。											
年度ごとの事業内容		26 年度	27 年度	28 年度								
	計画	○住民記録システム等の改修等を実施	○国の法令に基づきシステム改修等を実施 ・10月に住民票を有する全ての市民に1人1つの番号(12桁)を通知 ・1月に個人番号カードを交付	○国の法令に基づき情報連携テスト及び運用テストを実施								
	実績	○計画通り事業を実施	○国の法令に基づきシステム改修を行った ○団体内統合宛名システムの構築及び連携テストを実施した	○計画通り事業を実施								
事業費	計画	108,600 千円	274,727 千円	68,451 千円								
	実績	81,009 千円	271,653 千円	68,451 千円								
数値目標等	事業内容の達成率(年度末)											
	計画	100.0%	100.0%	100.0%								
	実績	77.9%	99.1%	100.0%								
達成状況等	■事業費比較 (3年間の実績計) / (3年間の計画事業費計) A (421,113) 千円 / (451,778) 千円 = 93.2%											
	■数値目標等比較 (3年間の実績平均) / (3年間の計画数値平均) A (92%) / (100%) × 100 = 92 点											
市民意向調査結果	■事業の取組状況 B <table border="1"> <tr> <th>期待以上</th> <th>期待通り</th> <th>足りない</th> <th>やり過ぎ</th> </tr> <tr> <td>2.8%</td> <td>69.4%</td> <td>18.1%</td> <td>9.7%</td> </tr> </table>				期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	2.8%	69.4%	18.1%	9.7%
期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ									
2.8%	69.4%	18.1%	9.7%									

